

演劇ぶっく

Entertainment Photo Mag No.28
'90 **12** DEC
620 yen

NAGOYA都市演劇遊戯祭
虎★ハリマオ



特集

すじみちがとおらない

不条理演劇ってなんだ?

木野花×ケラ 別役実×安田雅弘 鴻上尚史 蛭子能収

飛龍伝'90インタビュー 富田靖子×笈利夫×春田純一
遊●機械／全自動シアター「マジックタイム」

場所 日時
 90年11月29日(木)〜12月3日(月)
 こどもの城青山山形劇場

KAITEI GUNKAN-1990

海底軍艦

作・演出: うちやま きよつぐ

players
 阿部 由香子 / かとう みゆき
 坂田 祥一郎
 野呂 初美
 湯浅 美奈
 山中 紳一 / 橋本 淳
 荻原 賢三
 高橋 幸子
 うちやま きよつぐ
 明日香 尚(特別出演)

イラスト: 開田 裕治
 the crew
 振付/夏まゆみ
 美術デザイン/キヤマ 界二
 照明デザイン/戸谷 義
 音響デザイン/井出 比呂之
 衣装コーディネート/能美 清
 イラスト/開田 裕治
 宣伝デザイン/W I T
 舞台監督/土居 三郎
 制作協力/Be F FILM
 企画・制作/劇団冒険物語



前売開始 10月10日(水) 全席自由席 3,000円(定員制)

●チケットのお求めは電話予約が便利です。 ●ご予約の際は、ご来場の日時をご指定ください。
 電話予約/劇団冒険物語03-634-7352 チケットぴあ03-5237-9988 チケットセゾン03-5990-9999 青山劇場チケット予約センター03-797-1361
 お問い合わせ/劇団冒険物語 03-634-7352

Shinglong
 Lip skip!
 ニベア花王は劇団冒険物語を応援しています。



東京国際演劇祭'90

1990年10月26日(金)〜12月2日(日)

東京芸術劇場、サンシャイン劇場、池袋西口公園テント劇場、他

古典に、歴史に、伝統に、街に……。様々な角度から現代の光を当てる。「テキストの読み直し」を軸に、いろんな顔が集まって、ジャンルを越えて創り出す多彩な舞台。刺激的な体験。



演劇団クリベ(韓国)
 『オグーある死の儀式』(作・演出=イ・ユンテク)

釜山出身で、韓国の小劇場を代表する演劇団クリベ。上演作品「オグー」は、韓国各地で大ヒットしたクリベの代表作。靈魂をあの世へ葬送し、極楽往生を祈願する伝統的な死の儀式をコミカルに描き出す。(イヤホンガイド付)



トリアンゲル人形劇場(オランダ)
 『二十の小さなお話』(作=ヘンク・ボーウィンクル)

一切の言葉を排した幻想的な音と光の世界で、怪しげな人形達が誘う想像とファンタジーの世界。「夢」「変身」など20の短篇集で、人生の不条理や不可思議な現象をブラックユーモアを込めて描き出す。



アショク・チャテルジー バントマイム公演(インド)
 『シータとハヌマン』『誕生から死まで』『無言劇』他

西洋生まれのバントマイムに高度な様式美を誇るインド古典舞踊の型を取り入れ、独自のスタイルを確立したアショク・チャテルジー。古今の幅広いレパートリーで、インドの身体表現を現代に読み直す。



アサナ・ダンス・カンパニー(マレーシア)
 『スリラマ・シティデヴィ(ラマ王子とシーター姫)』
 (演出・振付=アザニン・アフマド)

マレーシア舞踊界をリードするアサナ舞踊団。香り高いマレー宮廷舞踊、ガムラン音楽など伝統的な様式をふんだんにとり入れ、古代長編叙事詩「ラマヤナ」の世界をドラマチックに描き出す。



カリヌ・サボルタ/国立カーン・コレグラフィセンター(フランス)
 『母に捧げる』『森の中の許婚者』

フランス現代舞踊界の期待のホープ、カリヌ・サボルタ。88年アヴィニョン演劇祭初演で注目を集めた「森の中の許婚者」は、母なるロシアのイメージの中で、女性の内面感情を鋭く描き出す。

イ・マガツィーニ(イタリア)
 『ハムレットマシーン』
 (作=H・ミューラー/演出=F・ティエツツィ)

ヨーロッパで最も強い衝撃力をもった東欧の劇作家ハイナ・ミューラー。歴史へ、そして自己への挑戦的批評を込めて描かれたこの代表作を、先鋭劇団イ・マガツィーニが極めて美しい舞台で描き出す。(イヤホンガイド付)

宮本亜門演出作品(日本)
 『メアリー・ステュアート』もしかしたらわたしたちは愛しあえたかもしれない

16世紀実在の女王メアリー・ステュアート(麻実いい)とエリザベス(白石加代子)。2人の女王の誇りと孤独、そして悲しみ…。歴史に新たな光を当て、現代に生きるすべての女性に語りかける。

岸田事務所+楽天団(日本)
 『糸地獄』(作=岸田理生/演出=和田喜夫)

劇団合併後、第1回公演作品として上演され、そのスケールと独創性で大きな反響を呼んだ「糸地獄」。座付き作家岸田理生は第29回岸田國士戯曲賞を受賞。来年の海外公演に向け新バージョンで待望の再演。

木野花構成・演出作品(日本)
 『O×式ゴドーを待ちながら』(脚本=川崎徹)
 出演=池田成志、つみきみほ、久本雅美、他

オモシロCMの元祖・川崎徹と気鋭の演出家木野花。異色の2人のコンビによる新たな「ゴドーを待ちながら」。川崎徹の独自のコトバ感覚とおかしさを木野花の演出で自由に遊ぶ期待の舞台。

TITF '90 THEME PRODUCE 『新・東京物語』 11月10日〜13日(劇団ショーマ)/16日〜18日(劇団☆新感線)/21日〜23日(MODE)

おそろしく多面的な顔を持ち、熱いエネルギーの渦巻く「東京」。この「東京」を現代劇の世界に鋭敏に反映させるメイン企画。いまや人気上昇中の意欲的な気鋭3劇団が自由な発想で書き下ろしの新作劇を競演。「東京」という「テキスト」を現代の目で創造的に読み直す。東京の2劇団に大阪の人気劇団が加わることで、「東京」に対する見方は豊かな多面性をおびることだろう。

主催 東京国際演劇祭'90実行委員会、(財)東京都文化振興会 ■後援 外務省、文化庁、国際交流基金、フランス大使館、インド大使館、イタリア大使館、大韓民国大使館文化院、マレーシア大使館、オランダ王国大使館、東京都、東京芸術劇場開館記念事業実行委員会、東京商工会議所、豊島区、港区、台東区、北区、練馬区、日本放送協会、日本民間放送連盟、(財)国際演劇協会日本センター、新劇団協議会、(財)都民劇場、(財)日本演劇協会、(財)日本演劇興行協会、(財)日本芸能実演家団体協議会
 ■協賛 東武グループ(株)東武百貨店・東武鉄道(株)・東武ストア・東武食品サービス(株)・池袋西口駐車場(株)・日本停車場(株)・(株)東武クレジット、セゾングループ(株)西武百貨店・(株)パルコ・(株)池袋ショッピングパーク、トヨタオートサロン(株)東京(株)アムラックス(株)ヨコタ、(株)丸井、(株)サンシャインシティ、(株)三越池袋店 ■協力 富士写真フイルム(株)、NTT豊島支店
 チケット取り扱い=都民劇場(03-572-4311)/チケットセゾン(03-5990-9999) チケットぴあ(03-5237-9999/演劇専用03-5237-9988)/CNプレイガイド(03-257-9999) 丸井チケットガイド(03-363-9999)
 東京国際演劇祭'90上演日程 入場料=上演日程表を参照下さい。海外劇団の限定スペシャルチケット2種を発売します。(但し自由席のみ。ワークショップは除く。)
 通し券=12,000円(50枚限定)/ペア券=5,000円(各公演25枚限定・各々海外公演のみ。)

	上 演 日 程			11月2日																															入場料金(円)	チケット発売中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	劇 団	演 目	会場	11月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12月1日			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
海外作品	演劇団クリベ(韓国)	『オグーある死の儀礼』	(A)						*	*	*	*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

地区祭 ●池袋演劇祭11/1〜11/30(03-985-0960) ●みなと演劇祭10/30〜12/2(03-583-5487) ●下町演劇祭10/30〜12/2(03-288-5939)
 TITF'90は、この他にも、自主参加公演、ワークショップ、シンポジウムなど、多彩なプログラムを予定。
 ①東京芸術劇場 ②サンシャイン劇場 ③池袋西口公園テント劇場 ④練馬文化センター ⑤北とびあ
 ※東京芸術劇場での公演はすべて開館記念公演です。
 ●印:マチネ2:00開演 ●星印:ソワレ7:00開演 ●印:ワークショップ2:00開演(開場は各30分前) 入場料金:指=指定席/自=自由席/⑦=ワークショップ/記載のないものはすべて自由席
 池袋西口公園テント劇場公演及び「糸地獄」、「百年の悦楽」は、チケットに記載されています。整理番号の順にご入場下さい。 ※海外作品自由席は開演90分前より整理券を配布します。
 ■お問い合わせ 東京国際演劇祭'90インフォメーションセンター TEL.(03)590-1091

NAGOYA都市演劇遊戯祭メインプロジェクト

勇★ハリマオ

夕陽が赤く、TANKを染める。
開演前の一刻、ゴムマリの野球に興じる役者達。
和やかな雰囲気は開幕と共に激しいアクションの場に変わる。

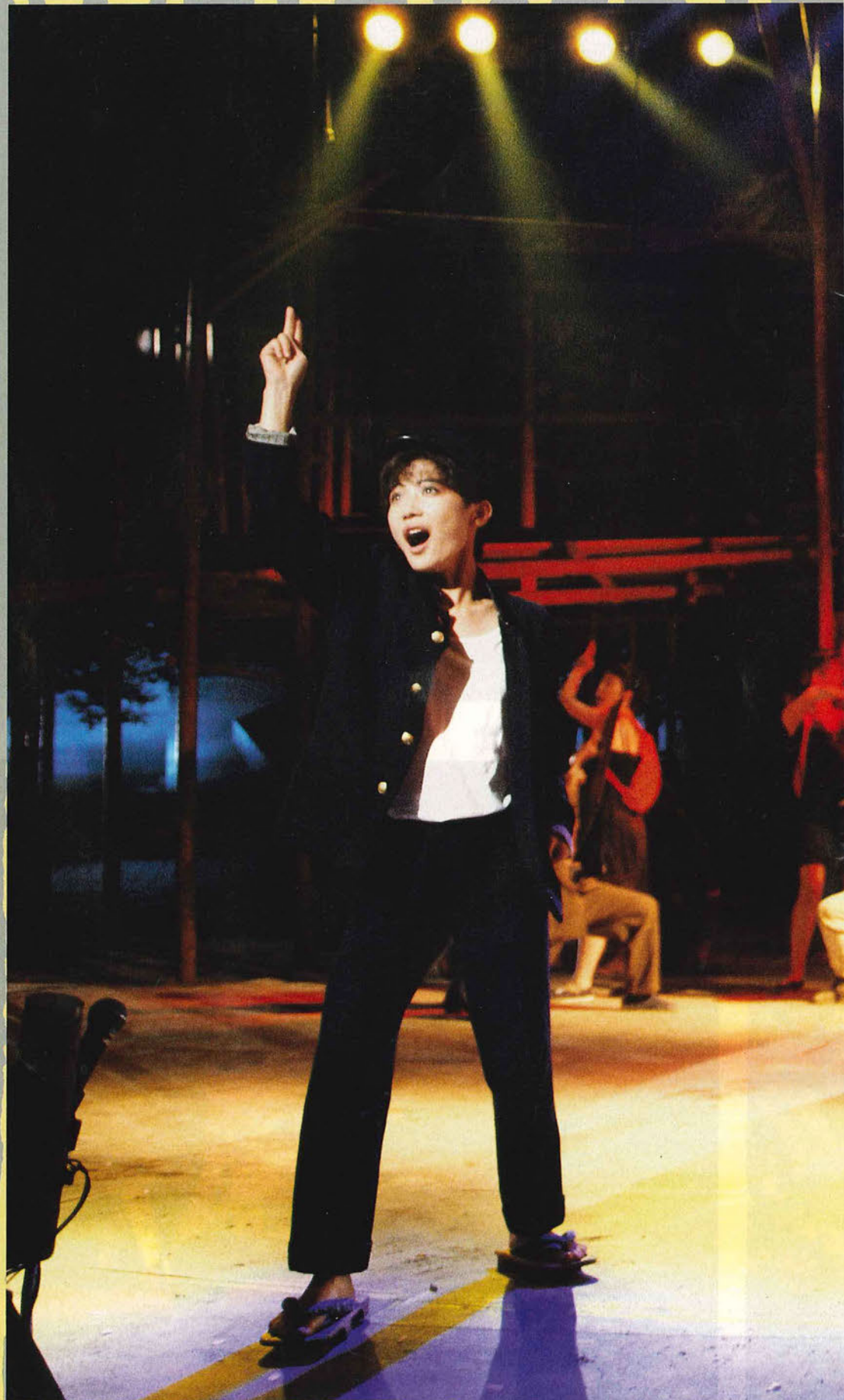
そして詩情溢れる少年の日が甦る。
北村想の少年時代を描いた私戯曲が、
名古屋演劇シーンにしなやかな息吹きを吹き込んだ。

演劇がここがやりたかった

北村 想

アングラやって遊ぼうと思ったんです。遊戯祭ですから、一番遊べそうな作品を選んだ。11年前の初演は狭い所でやったけど、広い場所で行ったら面白そうと思ってました。芝居の演出方針は二つだけ決めておいた。ひとつはハワード・ホークスの映画のようにスピーディーな場面の面白さ、もうひとつは、演劇をつくるとか芝居にすることじやなくて、演劇がここをやるつもりで役者がや

ってればいいんじゃないか、それにそって演出したから、そうなるんじゃないかな。本番を見てみたんですが、これは面白い芝居ですね。こういう芝居ってのは場面の面白さで見せてるから、何回見ても飽きない。役者が破けてても、この小屋(TANK)だったら面白くなりますよ。ただ、今はこういう作り方でものを書いてないから、次にこういう場所で行うのは考えてません。



小学生の双樹^{そうじゆ}は貸本屋で冒険読物に熱中している。空想癖のある双樹は、貸本屋の奥の檻の中にいた虎の肩に乗って、大好きだった、今は亡き祖母光江の若かった時代へ、時空を越えて遠足にでかける。

そこでは光江達が囚われて地下鉄工事現場で強制労働をさせられながら、正義の味方ハリマオの助けを待っている。ハリマオは何人もいて、ニセ物、本物入り乱れて、ゲリラ狩り隊との活劇シーンや歌などイマジネーション豊かな世界が繰り広げられる。その物語の中で光江によって語られる言葉、「人は血よりも骨でつながっている。

骨が人類の歴史を語っている」。世代を超えた双樹と光江の肉身の絆が骨を通して浮かびあがる。

やがて、冒険読物の世界は佳境となる。ワクワクする場面で「次号特大号に続く」のパターン通り、夕方5時の鐘の音と共に双樹は現実世界へ引き戻される。

ラスト、ズック靴を空に向かって突きあげ、喜ぶ双樹の姿に、祖母の慈愛と、純粋な少年性が伝わってくる。

この戯曲は少年の中の冒険性と、ハリマオが実在の人物で、祖母がハリマオを知っていたという三点を結んで書いた北村の私戯曲だ。

吹けよ正義の嵐!

囚われた人々を救えるか、正義の味方ハリマオ。世にあたま悪人共を吹き飛ばせ。冒険の後に訪れる静寂。少年の傷み、今は亡き祖母の慈愛。人は骨と骨でつながる。



祖母の死の哀しみに耐える小学生双樹(高橋響子)。後で少年の気持ちを歌う佳穂かこ。

地下鉄工事現場。囚われた人達に強制労働をしいる片眼(ジャイアント茶所)

花束を手にキザに光江(速見圭)にせまるゲリラ狩隊長神竜蛇の介(矢野健太郎)。

真面目に遊ぶ役者たち。



伊沢 勉

オープニング。ハリマオのスタイルで格好良く登場したニセハリマオ、実はニセ医者田宮役の伊沢勉。劇が進むにつれて尻は出ず、オカマは掘られるわ、タンポンをお尻に突っこむわと、三枚目を通り越して「こんでもないバカ」ぶりを発揮。役者としてのスケールの大きさを見せてくれた。

「ぼくの場合、役者というより、客が喜んでくれるナンボのものという芸人に近い所がありますからね。今回の芝居で高校生のファン、みんななくしちゃいましたからね。オカマの人がファンになったりしてるんですよ(笑)。自虐的ですね、お前らシラフでここまでできねえだろうって、自分で自分をいじめる快感ありま



佃 典彦

すよ(笑)。

TANK作りの作業をやっているうちに興奮してきてね。今まで芝居をやっている一番楽しいですよ。体の疲れはあってもストレスないもん。発散しちゃっているでしょう。劇場ではエピソードになるようなことがここではならないですよ」

大きな入れ歯をかかえて、タワシで気持ち良さそうに歯を磨いて笑いを誘う、貸本屋のおタツ婆さん役の佃典彦、B級遊撃隊の作家でもある。駆け回ったり走ったり、何とも身軽なバアさんだ。夜はTANKに寝泊りしてる。

「矢野健太郎さんが大好きで一緒にやれたことが大きいです。矢野さんのアクション凄いやないですか。ぼくより14才も年上のおっさんが体がきれる。矢野さんの演技に少しでも近づきたいですね

自分で作品を書くと言いたいことを守ろうとしてこじんまりとしちゃう。想さんの昔の作品は破れまくったりして勉強になる。この戯曲は雰囲気的に七輪でサシマを焼いている感じがしますね」

センターの奥から、トロッコに乗って、赤い花束を手に颯爽と登場する、ゲリラ狩りの隊長神竜蛇の介役の矢野健太郎。



矢野健太郎

少しカン高い声で、歌うようにリズムを作って、流麗にしやべり、ブレイクダンスのように動きまわる。

「TANK作りは久々に面白かったな。一番上まで登ったの、名古屋では俺だけじゃないのかな。風が吹いて気持ち良かった。昔からつきあっているけど、北村は冒険とか、こういう芝居の要素、かなり持っているんじゃないのかな。舞台では俺の相手をやった奴がやりにくかったと思

う。対話するようなセリフの出し方をしないから」

気がしつかり強く、孫の双樹に対する思いだけは慈愛に満ちて、苦難の時代を駆け抜けた女、光江役の速見圭。東京からの参加だ。

「名古屋の方のパワーの凄さにびっくり。人のセリフを聞いてくれないんです(笑)。自分のやりたいことをやってウワァーとセリフをいわれちゃうから、最初はひいてたんですけど、もう一歩もひけないという感じで、絶対に負けたくないなあと、稽古中は凄くライバル意識を燃やしました。矢野さんも伊沢さんも凄いものをもっていて、お客さんによってフツと変って見えるし、必ずセリフを忘れてしまわれるタイプの方だし。セリフをと



速見 圭

ばされても何とかついていけるようになりました(笑)」

北村想の少年時代と重なる双樹役の高橋響子。学生帽に学生服の前をはだけ、ゲタ履き。バンカラストایلが新鮮で可愛い。ラストのズック靴を空に突きあげるシーン、感動的だった。



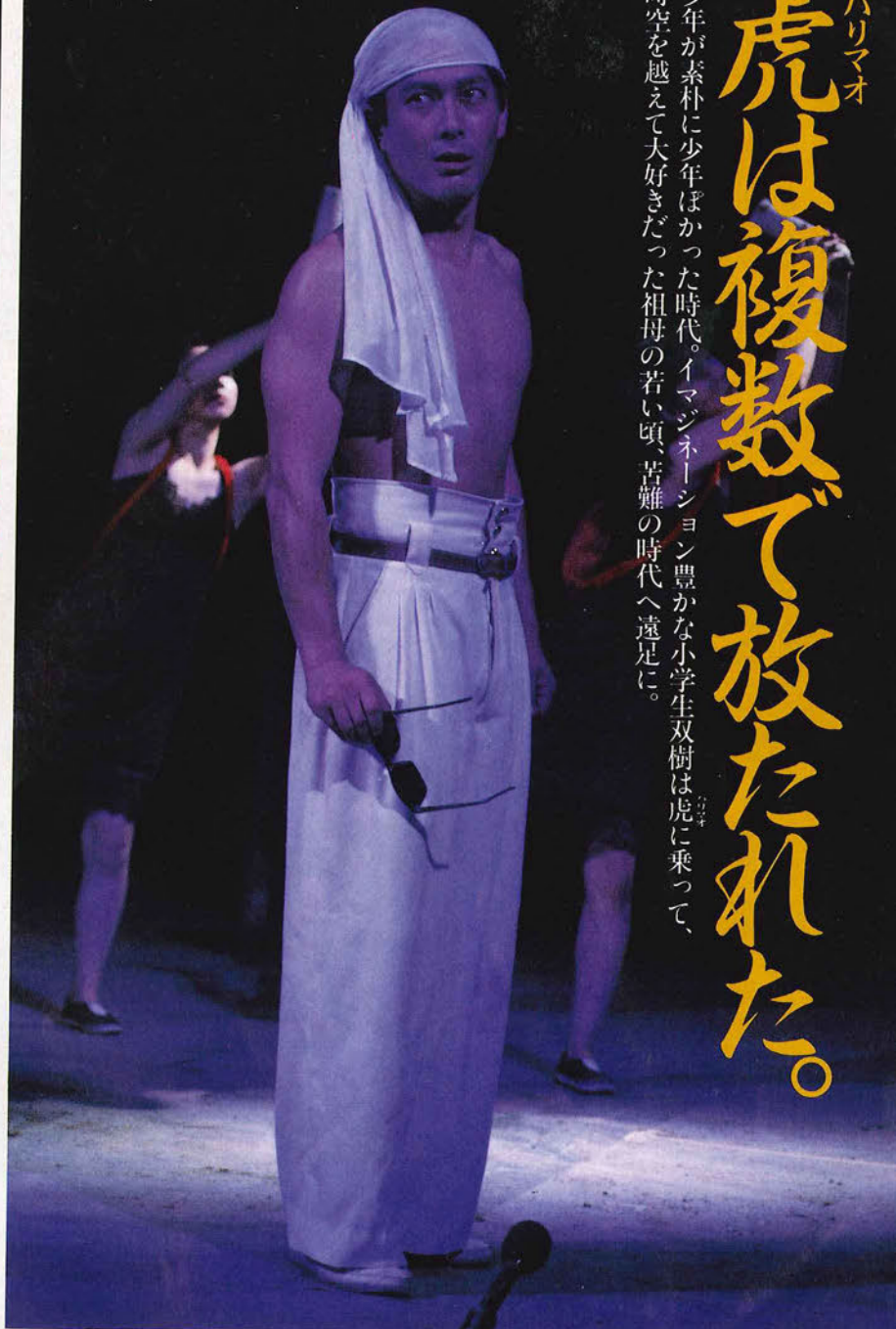
高橋響子

「想さん未だに少年みたいだし、普段の想さんを見てて感覚的に取り入れようかなと思うところはあります。私も、おばあちゃん子だったんです。舞台では話が殺伐として血なまぐさい所があるんで、自分がでてきた時に、キレイで透明感を出していきたいなと」

役者全員が劇場作りに参加。自分達の作った小屋なので、装置と芝居が自分達の時間の中で消化され、劇場との融和した一体感が感じられる舞台だった。

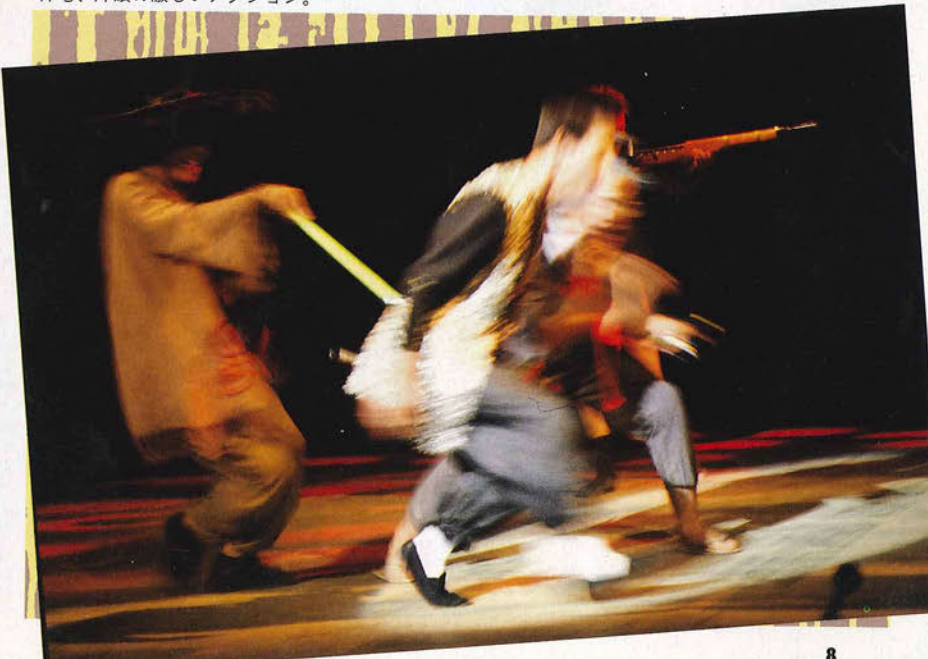
虎は複数で放たれた。

少年が素朴に少年ぽかった時代。イマジネーション豊かな小学生双樹は虎に乗って、時空を越えて大好きだった祖母の若い頃、苦難の時代へ遠足に。

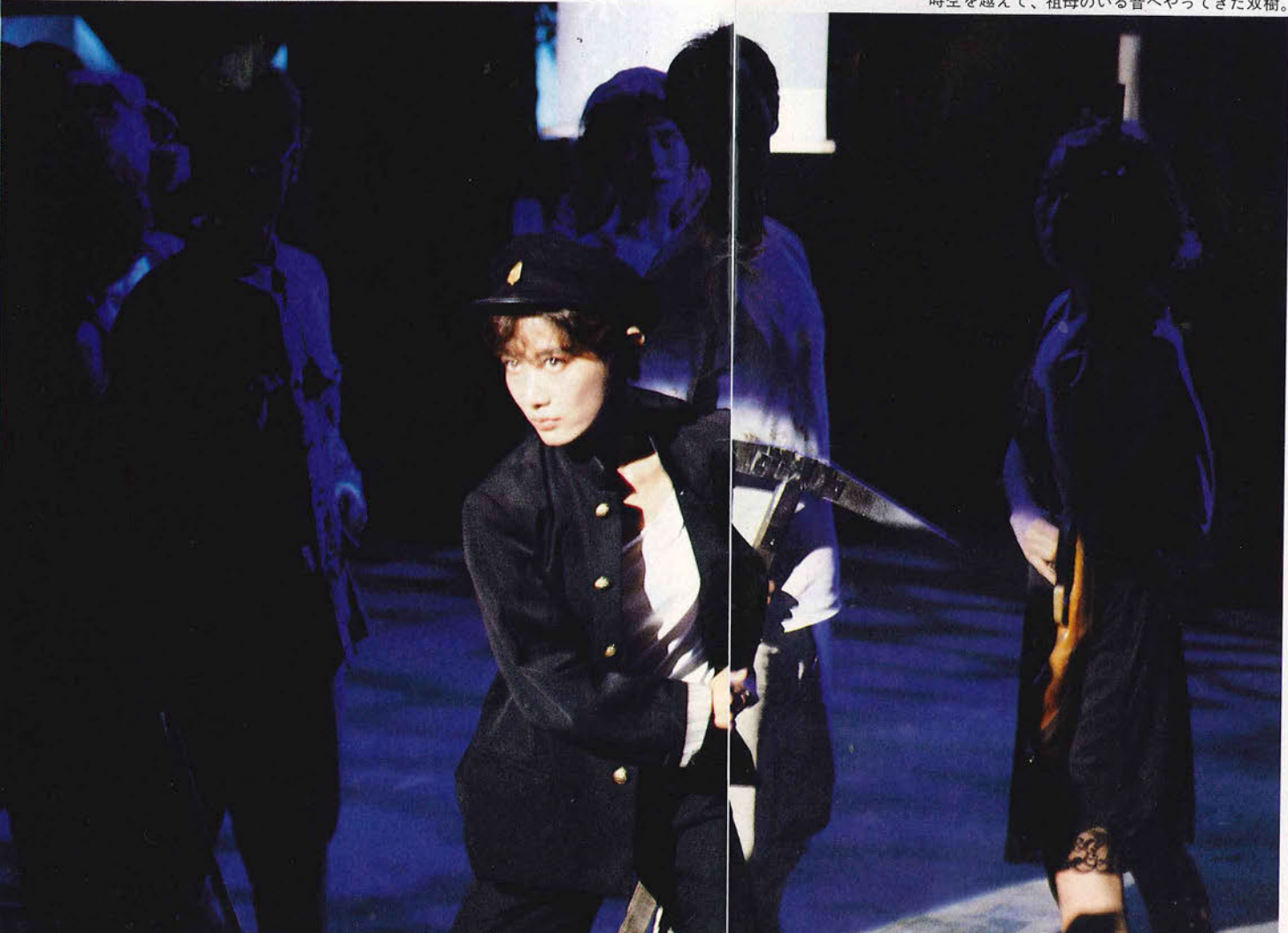


ニセハリマオでニセ医者の田宮(伊沢勉)。

神竜、片眼の激しいアクション。



時空を越えて、祖母のいる昔へやってきた双樹。



赤いリュックを背負ったサラマンダゲリラ少女軍。

遊戯祭の為に建てたTANK(劇場)は
忽然と現れて、やがて消える。



「TANK」とはこの5月に、維新派が大阪公園に建てた一公演限りの手作りの円筒形劇場。数千本の丸太を太い番線をつなぎ、4階建ての高さになる。今回の名古屋では一階分低くなり、そのかわりスペースが広くなっている。外から見ると密閉された建物に見えるが、絵を描いたパネルで構成されている内壁にはすき間があって、外の闇や木々が舞台装置の役目を果たしている。エネルギーのある小屋だと、今回、舞台に立った役者達は言う。

遊戯祭のプロデューサーでもあり、今回、歌だけで出演している女優の佳穂かさんは、「去年の遊戯祭は手製のテントで一会場でした。反省として、劇場の演劇祭と

どこが違うのか。なぜ、外でやるのかというのがあった。それをふまえて、今年は何をやったら私達が面白く遊べて、お客さんに楽しんでもらえるかというのでTANKを建てたんです。維新派の松本雄吉さんも私も考えていたことは、この遊戯祭の為に、普段は自分の現場を持つてる色んな劇団の人が集って、丸太を運んでTANKを作るのと同じ集中力で芝居をやれないか。お祭りだからできるのではないかという思いがあって、プロデューサー公演にしようと思ったんです。役者がTANK作りに参加することによって、それが芝居にも帰っていくし、そうなると思いますね」

NAGOYA都市演劇遊戯祭

虎★ハリマオ

特集

すじみちがとおらない

——不条理演劇ってなんだ？——

対談・木野花×ケラ	12
日本不条理年表	14
ボーイフレンド／手塚とおる	16
眠れる森の美女／三谷昇	18
Sports／清水宏	19
対談／別役実×安田雅弘	20
SANDSTORM／天久聖一	22
絶妙な関係／松尾すずき	23



Front Face

高泉淳子



今年の高泉淳子の仕事といえば、なんといっても「ムーンライト」。初めての台本書きに挑んだことは彼女にとっても画期的なことだったといえよう。シェイクスピアの「夏の夜の夢」を下敷きに、大家族の恋愛騒動を描いてみせたこの作品は水戸を皮きりに、3ヵ月にわたって全国を巡演、「原作を知らない人にも楽しんで見てもらえる芝居にしたい」といっていただけに、シェイクスピアのエッセンスともいえる人間の不思議さ可笑しさが、遊●機械流に楽しく演出された舞台だった。

その「ムーンライト」でも成長が目立った遊●機械の若手俳優陣たちががんばった9月のシアターらいぶ「マジックタイム」は、歌と踊りがいっぱいのライブショー。今回は若手を中心に作ったというこのライブで、しかし客の男に扮した高泉淳子が出てきたりヘンな英語を喋ったりすると、客席はひときり湧き上がる。「一番前の席でお客さんのふりして座っててくれるだけで安心感があった」と若手俳優が言っていたが、高泉淳子という役者は観客にとっても、舞台上に出てきてくれただけで、なぜかほっとする優しさを感ぜさせてくれる。まさに天性の舞台人なのである。

●表紙Photograph笹谷高弘
Hair & make 宮田和 Direction 落合星文
Design 八瀬良二 Titlelogo 松本昇

ゴドーを待ちつかれて／真壁茂夫	24
東京乾電池	25
ゴドーを待った6人	26
白井晃・鈴木勝秀・すまけい・芹川藍・知念正文・松本修	
鴻上尚史インタビュー	28
漫画・お父さんのおバカさん／蛭子能収	30
冒険する劇場一連載⑦	32
オーディションニュース	36
飛龍伝'90一稽古場レポート	38
つかこうへいへ……	40
座談会 富田靖子・寛利夫・春田純一	
遊●機械／全自動シアター マジックタイム	43
松本一朗・飯島由美・木下真紀・小山彰一・富沢薫	
KILLING TIMES	48
小須田康人 生瀬勝久 山下千景 柳美里 ひさうちみちお	
古田新太の青春110番	49
一人二役	50
歌川稚子インタビュー	
プレゼント大作戦	53
恋すれば何でもあり 飯島早苗	54
初級カブキ講座	56
中村健二郎・市川笑也インタビュー	
高校演劇100%	59
パフォーマンス・ファイル	62
川霧の橋／剣 幸	64
サド侯爵夫人／ソフィ・ルカシェフスキー	66
寝物語／丹野久美子	68
Juvenile／高田聖子	69
ハムレット／デクラン・ドネラン	70



SEEK THE STAGE BOMB	71
文化座 加藤健一事務所 舞楽法会 月蝕歌劇団	
発見の会 ベルナルダアルバの家	
“演劇おたく”の隠微な悦楽④	76
関東中央劇団 オブチカル・マリソカ クアトロ・ガトス	
プランニングニュース	80
フロム・リーダーズ	82
Colored Voice	
東京愛情研究会／河合みなど 他	83
レボルシオン／マギー・マラン	84
劇団パノラマ☆アワー／右来左往	86
ワハハの極楽てんやわらんやカーニヴァル	88

特集

すじみちがとおらない

かとおらない

私と不条理は易しい関係
木野花

不条理の理論とか何も知らずにベ
ケットの戯曲を読んだら、すごく面
白かった。ウチの田舎のおじいちゃん
おばあちゃんが縁側で日なたぼっ
こしてるときの会話みたいで、身近
に感じたんです。それまで芝居って
物語があつて主人公を中心に筋が展
開していくものだと思つてたから、
アラこんなんじゃないわけ、自分の
まわりのこと話すだけでもいいんだ
って、自分の中の芝居のイメージ
が広がってラクになったんですよ。
人って、しょつ中なんてこんなこ
としちゃうのかしらってこととしてウ
ロウロしてるでしょ、でもそういう
説明つかないこと、恰好つかないこ

とって昔は芝居にならなかつた。と
ころが、観客にわかつてもらふこと
は、この次、芝居の約束事なんか無
視して自分の書きたいことだけ書い
てしまったのがベケットなんですね。
私も、自分は絶対面白いと思うけど、
客にウケるかどうかわからないって
ことを、怖いものみださの誘惑に勝
てなくて、つい舞台にのせてしまふ
ことがあります。やつたことがない
事、見たことのないものを舞台に
のせるというのは、とてもスリリン
グな快感ですよ。

文・構成▽藤田雅子 撮影▽赤池洋光

木野花 With ケツ

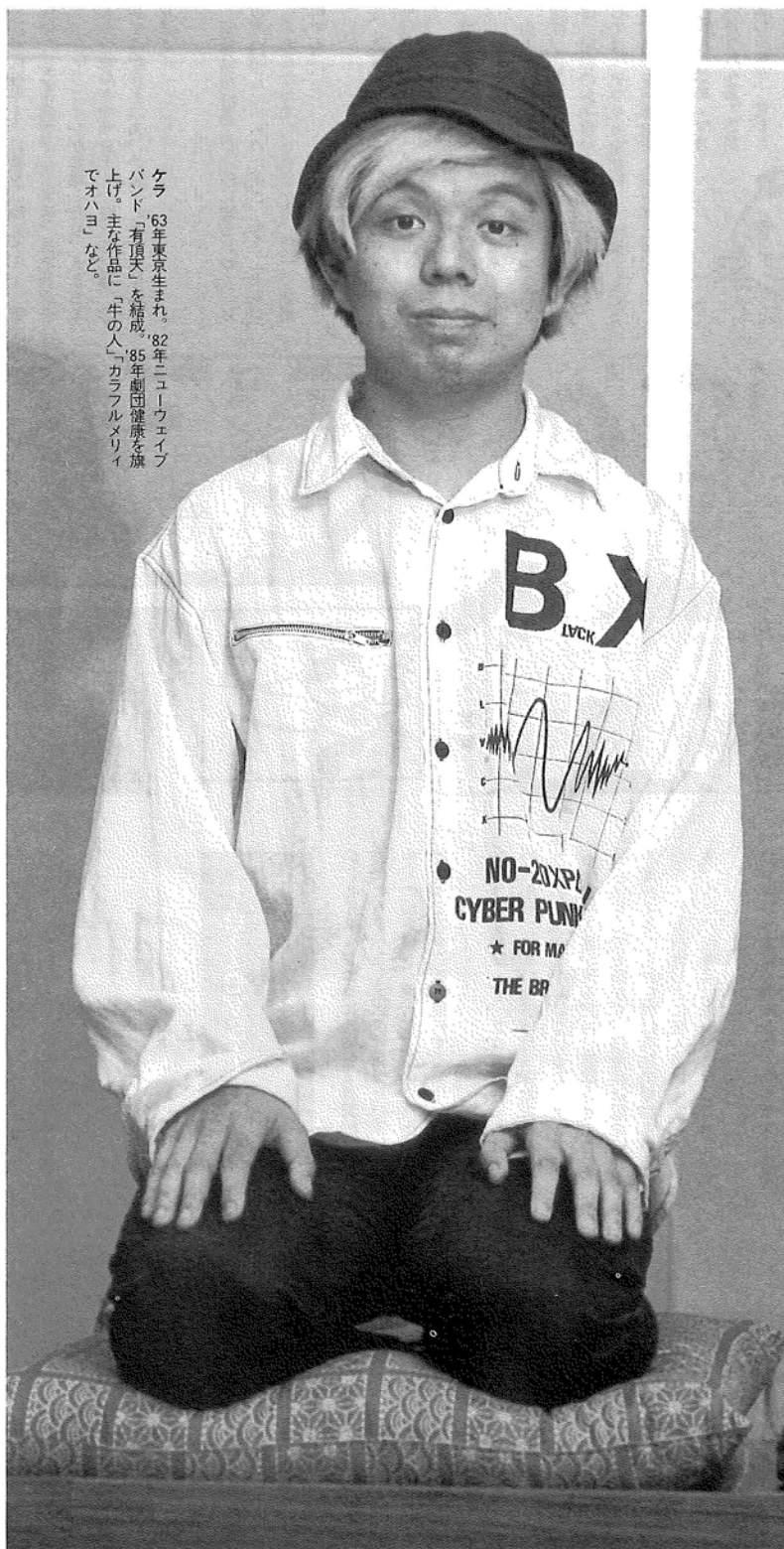
「〇X式ゴドーを待ちながら」では、川崎徹と組んでベケットに挑戦する木野花。ベケットや不条理演劇から生まれたモンティ・パイソンの笑いを追求し続けているケラ。それぞれ自分の感覚で作ってきた二人がいつのまにかアクセス!! 初めての対談。

文・構成▽藤原美穂子 撮影▽赤澤光

木野花 48年青森県生まれ、舞芸芸術学院東京演劇専門学校養成所を経て、74年劇団青い鳥を創設。86年退団後フリーの演出家・役者として活躍中。



退屈、ムダ、何でもあり。
生理感覚で作れば不条理演劇。



ケラ 63年東京生まれ、82年ニューウェーブバンド「有頂天」を結成。85年劇団健康を旗上げ。主な作品に「牛の心」「カナルメリーでオハヨ」など。

ものを、片すかしのためにあえて入れたりするんです。そうすると客は読めないし、笑っていいのかわかんなくなるとどんな不安になる。それが楽しいな。笑わせることを第一目的とするならすごくマインスなだけで、僕の中には、客を笑わせることと同じくらいのレベルで、客を不安な状態にもっていくっていうのがあるから。その辺のバランスのと

り方が面白いんですよ。
木野 「青い鳥」の頃、これを30分やったら退屈だろうなっていうのをあえてやったことある。見た人には30分は縮まるねって言われたけど、そういうの好きでした。ね。そういうのがないともっとトントンとやってしまっただけ、生理的に不安になるんですよ。不条理っていうか、行きつまたったり辻褄があわなかつ

たりって現実には絶対あるものだから、芝居であんなにスムーズに事が運ぶと嘘ついてるみたいで、居心地悪くなっちゃうんだよね。で、ついムダなことやってしまう。
ケラ でも、昔はどんなメディアにしろわかりやすくなきゃダメだったのが、今はわかんなくてもヘンだから面白いとか、そういう面白がり方をする人が

何も起、こらない、舞台

ケラ なんて皆「ゴドーを待ちながら」やるんですかね？好きなのかな？

木野 私は台本読んで好きだった。

ケラ 僕は最初台本読んでたとき寝ちゃった。でも、僕、別役実さんが猛烈に好きで、別役さんがベケットに傾倒してるって知って読み直したら、密度の濃いエンターテインメントとは違ってた。退屈が気持ちいい。

木野 いいでしよう？私すごい影響受けましたよ。ベケットができてから芝居のワクが広がって、大胆になった。こんなの芝居なのっていういいかげんさ、そこが好きですね。

ケラ 何も起こらなくてもいい。

木野 芝居はこうしなきゃいけないってのがなくなっちゃった。

ケラ 僕は舞台で何が起こらなきゃいけないってのがすごく恥ずかしいんですよ。

木野 はじめからそう思った？はじめは何か起きるもんだって思ってたんじゃない？

ケラ はじめは過剰さを求めて。僕は、あたり前じゃないことを出すっていうのが常であって、はじめはそれをとまかく頑張ることで出そうとしてた。

でもそれは欠落でもいいじゃないか、力を抜いてオリジナルなものをつくることもできるんじゃないかって思ったのがここ2年くらい。もともと整理されたものより混沌としたものが好きだし……

木野 感覚的なんじゃないかな。私も本能的に感覚優先にしちゃう。理論から入るって、あえて落し穴に足を踏み込む感じじゃない？不条理演劇とは何かって理論書読んで詰めてから上演する人がいたら、勇気あるなって思う。自分の感覚に頼った方が気楽でいいじゃない。

面白さが多面化してる

ケラ 笑いのトーンが一定になっちゃうとつまんないから、楽屋オチとか自分でつままないと思ってる

増えたんじゃないですか。
木野 最近退屈を楽しむところまで枠が広がった感じがする。ベケットのあたりから何でもありってなってきたにしても、まだ退屈は許されてなかった気がする。退屈なのは芸がない、怠慢だとか。ケラ 最近退屈さもまた面白くなって。面白さが多面化してる。

木野 だから不条理っていうのも皆が普通に受けとめるようになって、「不条理演劇」って冠がついたところから、もつと日常的なものとして浸透してきたんじゃないかな。

ごっこに見え方が問題

木野 「ゴドー」でやりたいことはいろいろあるんだけど、今回はそのうちのひとつ、若者版ゴドー。待ってる間何するかってのは川崎徹さんにアイデア出してもらって。川崎さんって意味を求めない怖さがあるんですよ。アイデアをポンと出してこっちはどうするかみてる。こっちはセンスが試されるって感じ。そういう怖い思いしたくて川崎さんをお願いしたところありますね。

ケラ 川崎さんがやってたコマースシャルの15秒、30秒の世界って芝居とは全然違うと思うけど、15秒、30秒の世界の集合体になるのが、全く違う長距離の発想になるの、その辺が面白いんじゃないですかね。でも、「ゴドー」をやるって、待つ間のこっこの世界に入りがちですよ。こっこの見せ方ですね。

木野 でも、もう何やっても許されちゃってるからやりづらいのよ。そういう意味では「ゴドー」もかなり煮詰まってるなって思う。私はいざ「ゴドー」を全くテキストとどりでやってみたいの。はたして成立するかどうか。何か一点、これねっていうのがわかってそこを切り口にすれば、小細工しないでバージョンとできるんじゃないか、今私たちがやってるよりもスリリングなものができるんじゃないかって思うの。今はその切り口がみえないからとてもできないけど。そこに近づきたくてやってるって感じですね。

comic novel

昭和20年代後半、杉浦茂『弾丸トミー』、猿飛佐助『少年兇鬼』など発表。忍者西部劇にジョン・ウェインが登場したり、人とも動物ともいえないキャラクターが溢れる脱線、混乱ぶりは赤塚不二夫、かんべむさしに影響を及ぼす。

62 安倍公房『砂の女』 砂に埋もれゆく、海辺の家に閉じ込められた男が、砂とこの家の女にがんじがらめにされながら、脱出に悪戦苦闘する。

67 赤塚不二夫『天才バカボン』 『れつらゴン』

68 つけ義春『ねじ式』

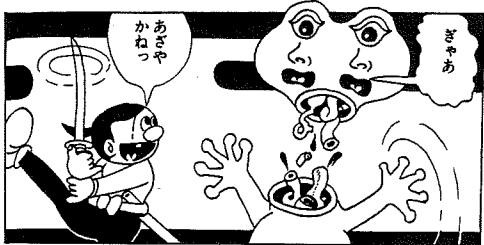
74 山上たつひこ『がきデカ』 小学生なのに性欲が異常で、警官の制服を着た「まわり君」は、昭和のお子様サドよろしく、悪戯をつくしては「アフリカ象が好き」「死刑」などと呼び、周囲を阿鼻地獄に突き落とす。

77 鴨川つばめ『マカロニほうれん荘』 落第を重ねる中年、青年と少年の高校生トリオの破天荒な下宿生活とスクールデイズを描く。

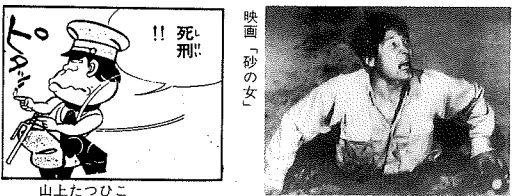
82 蛭子能収『私の彼は意味がない』

84 小林恭二『電話男』 雑誌のためにかかってくる電話の応対だけを生活の糧に生きている電話男の物語。

89 吉田戦車『鋼の人、天久聖一』『やんちゃブック』など刊行される。



杉浦茂



山上たつひこ

「幸福と不条理は同じ一つの大地から生まれたふたりの息子である。不条理を発見したものは、誰でも幸福の手引きといったものを書きたくなる」カミュ



television film

51 ルイス・ブニエル監督『昼時、危篤の母のもとへ』急ぐ主人公を乗せたバスは、車中での出産騒ぎ、悪天候、牛の立往生、宴会に次々と巻き込まれ難行する。

67 フィリップ・ド・プロカ監督『まぼろしの市街戦』 独軍の仕掛けた爆弾撤去にパリ北方の村に伝令兵が駆けつける。そこには、動物と狂人達が残るだけ。避難させようにも彼らはどこも動かず、伝令兵は懸命に作業を遂行する。しかし村は英雄の相討ちの場となり、バカバカしさに狂人達さえ立ち去る始末。ついに伝令兵は狂い裸になって走り出す。

67 ガブリエル・ガルシア・マルケス『百年の孤独』 孤獨、孤獨の町マコンドの盛衰百年間の数々の奇譚事件の年代記。

69 健康の手塚とあるに影響を与えた、バカ歩き。脈絡なく現れるスペイン宗教裁判なるグループなどBBCで放送されたナンセンスの洪水番組で知られるモンティパイソン結成される。

66 『ウルトラマン』放映。ある日、空から降ってきた怪獣スカイドンは、ビクトルとせず、科学特捜隊が飛行機で移動しようとしても



不条理黎明期 実存主義の時代

38 アントワーヌ・ロカンタン『マロニエの樹を登る』吐き気を催す。サルトル「嘔吐」

42 ムルソー『太陽の眩しさにアラビヤ人を殺す。カミュ 異邦人』



「不条理とは何かが理解不能といふことかもしれない。私の意志と世界の意志との葛藤、様々な意図相互の相剋、矛盾した衝動が不条理が生み出されるのです」イヨネスコ

theater

60 『ゴドーを待ちながら』を本邦初翻訳した安堂信也演出で、文学座アトリエにて「ゴドー」初演。

65 状況劇場『ミシンとこうり傘の別離』

66 別役実 鈴木忠志ら早稲田小劇場結成『マッチ売りの少女』

70 『アヘアヘア、ウヘハ、アヘマ』だけで2時間舞台をもたず間寛平、吉本新喜劇に入団。

72 以後15年間、中村伸郎・ジアンで『授業を断続的に公演』すまけいと仲間の「原作ゴドー待ち」



73 つかこうへい事務所『やさしいゴドーの待ち方』その傾向と対策 74『松ヶ浦ゴドー』を上演。

78 別役実 文学座アトリエにて『天才バカボンのパパなのだ』

80 秘法堂書館『あの大猿 さえも』

80 星セント・ルイス、紀伊國屋ホールにて本質的喜劇『ゴドーを待ちながら』

不条理な先人たち

文化期 頭山 嘆み込んださくらんぼが頭から発芽し、桜の名所頭山となった男が、たまりかねて木を抜くと、窪みが池になり恰好の釣り場となってしまう自らの池に身投げする。

30 山椒魚 棲み処の岩屋の出入りに頭がつかえ監禁状態となり、迷い入った蛙と牽制し合いながら月日を送る。井伏鱒二『山椒魚』を抱き、頭をから割る。夢野久作『山芋蠅集』

42 李徴子 旅先の汝水のほとりて目撃め、呼び声に応じて山野を駆け上るうちに虎に变身。中島敦『山月記』

ヘラクレス 鎧に繋がれたうえに赤鷹に肝臓を啄まれるも、すぐに肝臓が増えて啄まれ続ける。『ギリシア神話』

1797 ジュスチヌ 室を襲殺しに誘う宿屋に招かれた信心深い美少女ジュスチヌは、犠牲者を救おうとするが、散々犯され、血を抜かれ、鞭打たれた揚げ句に、雷に打たれ死んでしまう。サド『新ジュスチヌ』他

1895 鼻 ペテルブルグの八等官コリヨフの鼻、顔から抜け出し五等官の制服を着て馬車を乗り回す。『コリヨフの鼻』

1912 クレーゴルザムザ 朝夢から醒めると寢床の中で巨大な毒虫となっていた。カフカ『変身』ヨゼフ・K 1912 朝身に見えないまま、逮捕され、殺される。カフカ『審判』

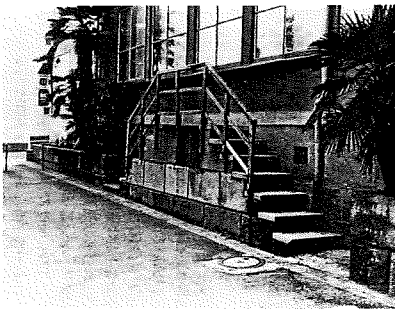
1920 ルイ・サラヴァン 勤め先の商會主の耳をひっぱりたい衝動に駆られ、実行し退職に追いやられる。デュアメル『サラヴァンの生涯と冒険』

戦後不条理事件の数々

- 46 極東軍事裁判で大川周明は立ち上がりざまに、前席の東条英機の坊主頭を平手打ちする。
- 48 忠犬ハチ公の孫「鉄」、ハチ公像除幕式出席を目前に、スキヤキにされる。
- 49 浜松にて指紋のない母子発見される。



大川周明



四谷階段



モンティパイソン



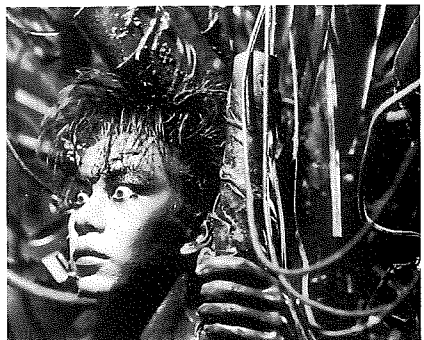
79 75年から始まったタイムボカン・シリーズの第三弾『ゼンダマン』放映。ゼンダマンがアクタマンに必ず勝利するという筋書きもさることながら、『不条理メカ』なる喋る野菜などの型をしたメカが大量に進行し、闘うのが一興であった。

73 『8時タヨ！全員集合』で金つちの音などトットしたきっかけからタング「タブー」が流れると加藤茶が、ちよっとだけ、をやる。

72 赤瀬川源平 超芸術トマンソン第一号として四谷階段を発見。これは、建物に付随した両サイドとも階段の滑り台型のもので有用性の全くない純粋階段である。トマンソンとは貴重な無用の長物ともいえる。

85 小泉今日子主演、大映ドラマ『少女に何が起ったか』放映。出生の秘密をもつ少女が、知らぬ間に音楽教授一家のお手伝いとして内情をさせられる。夜毎、ヤクザな嗜好をした刑事が現れ、『うす汚いシンデレラ』となじったり、寒空のよガラス越に彼女を見守る謎の男が付きまとう。

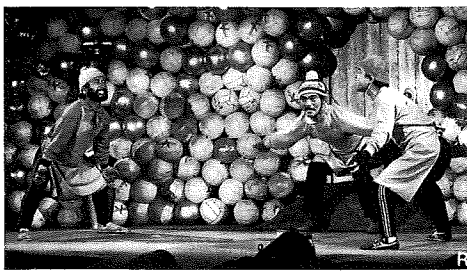
89 塚本晋也監督『鉄男』 金属に体を侵食され、鋼の人。となった主人公の甲斐ない抵抗をヴァイオレンスタッチに描くインディーズ映画。



鉄男



不条理編者 中山睦弓
不条理鑑定士 雲丹多岐一
不条理収集家 染谷彰 岡田裕子 菅谷淳夫



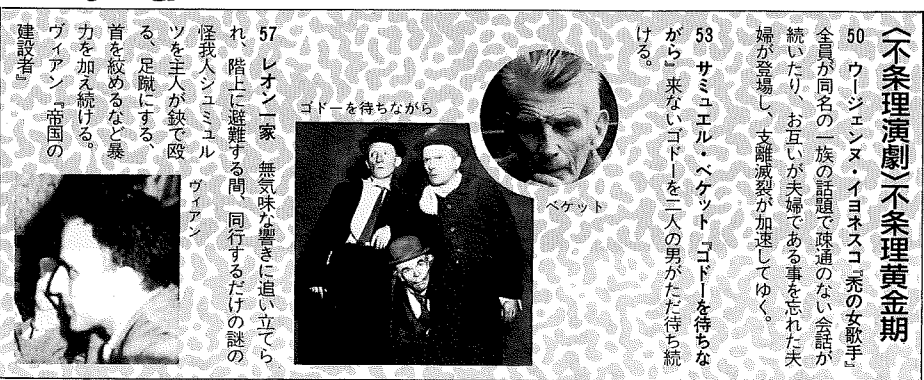
「あの大猿さえも」



イヨネスコの「椅子」を原作とする「コンニチワしてサヨウナラ」すまけい、



間寛平



ベケット

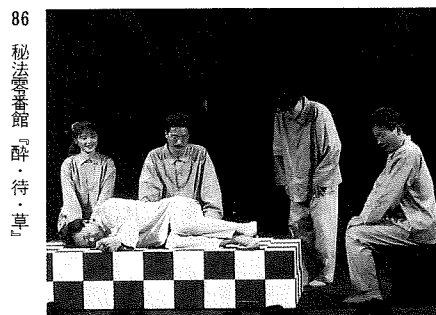
50 ウィジェンヌ・イヨネスコ『糸の女歌手』 全員が同名の一族の話題で疎通のない会話が続いたり、お互いが夫婦である事を忘れた夫婦が登場し、支離滅裂が加速してゆく。

53 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』来ないゴドーを二人の男がただ待ち続ける。

57 レオン・ヌー 無意味な書きに追い立てられ、階上に避難する間、同行するだけの謎の怪我人ユミョル ヴィアンソを主人公が鉄砲の足蹴にする。首を絞めるなど暴力を加え続ける。ヴィアンソ 描画の建設者

89 健康 ナンセンスの極致『マナナ』 大計画『絶妙な関係2』より『アクション・ベケット』 木野花 子供による『マナナ』上演。

88 マシマロウエーブの爆弾小僧『HAT TRICK』で『やうやうつめ』を演じる。



ラジカル・ガジベリピンバ・システム'88年「最後の正月」

85 シティボーイズを中心にラジカル・ガジベリピンバ・システムが宮沢章夫脚本で活動を開始。

82 劇団青い鳥『青い鳥ゴドー・ある日せつせ』

82 鈴木勝秀 吉田紀之（サズウシヤク）岩谷真哉（第三舞臺）の三人で、ラッキー・ロック・ベルと称しイヨネスコの不条理演劇を大隈で上演。

81 早大演劇にて、第三舞臺、第一回公演『朝日のような夕日をつれて』ゴドーより愛をこめて。伝説の丸い四角を求めさまよう人々が置き去りにした「ゴドー」の愛を受けるみよ子の物語。

シーン・ハーローにメイクアップ指導をするマックス ファクター 1世



MAKE-UP

メイクアップとは、その人のもっている美しさをさらに引きだすという意味でマックス ファクター 1世が化粧用語としてはじめて使いました。



マックスファクター 映画・演劇化粧用品

映画・舞台に賭けた美しさへの情熱を、あなたに。

MAX FACTOR

〒141 東京都品川区西五反田2-12-3

TEL.03-492-9838



作・演出▶ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演▶大堀秀一 みのすけ 犬山犬子 まつおあきら
手塚とおる 渡辺信子 秋山奈津子 ケラ 他
8月25日～9月7日◎シアタートップス

てづかとおる 「モンティ・パイソン」のシリーズ・ワーク（馬鹿歩き）をさせたら右に出る者はいない。夜中にビデオをコマ落としで見て、研究したという28歳。



平安時代の女（渡辺信子）まで出てきて入り乱れる恋愛模様。



求愛する男達。それを受ける女達。無関係に自己主張する制作者達。



なぜか突然踊り始めるシーンまで。この真顔を見よ。得した気分。

文・構成▽田中裕子



ラストシーン。*演劇らんど*を手にした男（ケラ）が芝居の冒頭同様登場し、劇評を読み始めるが…。



「SHOW ME」に乗って現われる電話捜しマン（三宅弘城）の電話は、はたしてアキラ（みのすけ）につながるのか？

来たるべきへ本当のでたらめに向かつて——手塚とおる

ボーイフレンド 健康

劇団健康から健康へ——。
改名後、初めての公演は恋愛がテーマ。
身近な問題だけに興味は尽きないが——。

「僕たち、あまり恋愛論みたいなことを話したことはない、ケラの書く脚本も、わりとそういうのが欠如しているというが、除いたものが多かったんです。それで、まあ今回あえてやってみようかという感じになって」挑んだという健康初の恋愛物。

物語は『男女七人秋物語』を基にした、最終回になっても出会えない恋人たちの話である。そこに、あまりの無関係さゆえに笑いがとまらないといういかにも健康的ギャグがついてまわるのは、テーマが恋愛でも同じこと。話の筋など、あつて、ないようなもので、そこに手塚とおるはサムライ、デニーズの店員、ドラマの演出家と手を変え品を変え、姿を現わす。ことに、後半の、山の手事情社を意識したようなマッド・ディレクターのシーンや、後ろから不敵な視線で役者たちをなめまわすシーンなど、手塚とおるという人のもつ知的な冷やかさ、ねっとりとした恐ろしさがしつかり表われていた。

ただ、意外性という点では、もつと裏切られたかたという気もある。それは彼ひとりに限ったことではない。「あの健康が恋愛物をする」という意外性だけではちよつと大変かも、と思う。舞台の上で演劇論や恋愛をパロディにすることで、どんな意味をなくして、いこうとする姿勢は相変わらず嬉しいのだが、なぜか後半にいくにしたがつて、それがあいまいになってしまふのだ。

「そうですね。本当はもつと違うふうにやりたかったというのがありますね。たとえば、もつとわかりやすい、笑える方向とか、もつと気持ちの悪いものに追い込んでいくとか。そのでたらめ方向をもつと散らしていければよかったんじゃないかな」

ところで、でたらめといえば、健康の芝居には欠かせない要素。それを不条理という人も多いときく。

「わりと言われやすいとは思いますが。でも、僕らはそういうことをあまり思っていない、むしろ不条理というものを、もつとでたらめにしような、基本となるものすらない、そんなものができるというんじゃないか、とは思っていますけど」

つまり、それは八本当のでたらめというところかもしれない。「もつと、もつと」と語る手塚とおるにそんな思いを見る気がした。

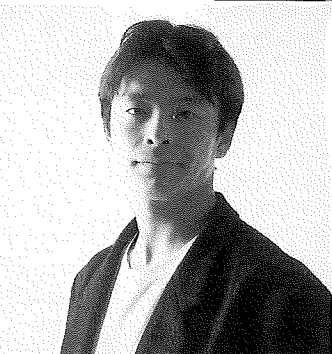


色とりどりのユニークな衣装に身をつつみ、役者達がロケにモノローグをはじめ。

マイクを握りしめ、清水宏の独壇場。



構成・演出・出演▶安田雅弘
出演▶清水宏 柳岡香里 山本芳郎 山田宏平 他
7月18日～25日◎下北沢本多劇場



しみずひろし 早稲田演劇研究会出身。その個性あふれる演技が際立つ存在。長野里美プロデュース公演への出演が刺激的だったと語る、これから楽しみな24歳。

自由奔放ナンセンスなパワーの全開！

独自の路線を貫きながら、様々な模索を続けてきた山の手事情社の切り開いた、新たな境地に注目！

清水 宏



男が眠り続ける少女に花束を手渡す。少女は一時、目を醒まし最後の血を一滴したたせて死ぬ。クライマックスシーンだ。



みたにのぼる '32年広島生まれ。53年文学座入団。劇団を経て75年演劇集団円設立参加。そのひょううとした演技は別役作品には欠かせない存在。



病院の人の患者なのか、わけのわからない人達に翻弄される男。

作▶別役実
演出▶岸田良二
出演▶三谷昇 佐々木敏 福井裕子 岸田今日子 他
9月14日～23日◎シアターサンモール

眠り続けることが生きてることなのか？——三谷昇

不思議な登場人物達が交わす不思議な会話。話はいくち違い、すれ違って、いつのまにか物語の核心へ。

「舞台上立つて別役さんの空間が好きなのね。役者と役者の後ろに一番大きな主役がいるみたい。いつも思ってる。そういう詩情みたいなものがありますね」

三谷昇さん演じる男Iは、母親に言われてまだ会ったことのない婚約者の見舞いに、かつて森の中の城だった病院にやってくる。

「別役さんほとんどん変わってるみたいね。ぼくはいつも皆に殴られちゃう役で、トランクにコーモリ傘を手にした男ってのは、今までだと少しくたびれた中年男だった。だけど、今回は花束を持たされてWの背広でしょ。イタリヤ人みたいに陽気になって言われて、びくくりしましたよ（笑）。台本にはオズオズって書いてありますよって言ったら、そっけなくて笑ってました（笑）」

男は患者なのか、病院の人のかわからない、怪しげな人達に振り回される。言おうとすることは伝わらずに、なかなか婚約者の娘に会えない。会話のズレが笑いを誘う。

「別役さんの芝居をやってチエーホフとか他の芝居をやる、実にセリフが入りやすいのね。別役さんのセリフは日常的だけど、組み合わせ方が非日常的で、ひとつの言葉があると、次に反対というふうには不連続ですよ。普通のリアルな生理ではないから、言葉を体にしみつけさせないよね。役を横に抜けるんじゃないって、自分の中で立て掘りの作業ですね。いわゆる……を表現する垂直のエネルギーがある気がする」

男の見舞う娘は百年も眠り続けている王女で、男こそがその目をさませる王子なのだという。何が何だか理解できぬままに、花束を娘に手渡す。娘は目覚め、体の中の最後の血を一滴落として死ぬ。童話「眠れる森の美女」をなぞりながら、王女が王子に出会ってハッピーエンドではなく。眠り続ける少女（植物人間とも見てとれる）を死なせる理由が必要で、その為に男がやってきて、周囲の人達も、娘を死なせる役目を果たしたことが明らかになる。一人取り残される男の寂寥感。

「別役さんの芝居は戯曲に素直にやれば成立するんですよ。言葉を素直に自分の中で消化して出せば、それを拡大したり、説明する必要はないみたいな気がします。戯曲の構造がそうなので、素直にやれば不条理の構図はちゃんとお客さんに伝わる気がしますね」

文・構成▼片岡仁

山の手事情社ほど、斬新というところの似合う劇団は他にない。もともと、観客を翻弄し、演劇という分野の限界へ挑戦しようという試みながらも、これまではその思いというが理論の方が先走っている、という印象が強かった。それは、シニカルな笑いを追求する、個性的な劇団健康が一定の距離をおいた作りをしているのとは対照的に、いわばメイキングの状態をそのまま舞台でみせてきたからなのかもしれない。

しかし、今回はこれまでの成果が見事に実を結び、観客側からみても納得のいく作品を呈示してくれた。なんといっても特に圧巻だったのは最後、無意味な人生の案内人がフリをつけていく過程とその完成を見せるシーン。

「こわい演出家がメチャクチャな演出をするんだけど、あんまりこわいからみんな言うとおりにやらなきゃいけないっていうのがもとの案だったんです」

そのこわい演出家に扮する清水が「えーっ」と思わず奇声をあげてしまうような動作をまず示し、他の役者が一人一人とまどいながら従う。個々に見るとバラバラに思えたものが最後の最後に通してやることで不思議に調和を生み出すさまは、オーケストラにも似ていて知らないうちに引きこまれてしまう。

「やって面白かったですね。体はきつかったんですけど、今までやってきたことがやっとなったから自信があったし、気持ち的には楽しかった」

主力だった池田成志不在の公演だったが、その分山の手の新入パワーと底力を見た思いがある。

「新しい人も自分の得意ワザを持ってやってほしいですね。安田の思惑通りやらされているのでは、あまり面白くないと思うんですよ。早く安田の考えを超える、自分のアイデアを出してあげてほしい。これからは山の手はどんどん過激にやってほしいんじゃないか、と思います」

別役実インタビュー

聞き手 安田雅弘



撮影：草野

べつやくみのる 37年満州生まれ。早稲田大学政経学部卒業。自由舞台、早稲田小劇場現SCOTを経て、現在日本を代表する不条理作家として活躍中。マッチ売りの少女で岸田戯曲賞。童話の著作も多い。

日本を代表する劇作家として、執筆活動に多忙な別役実のもとに、押しかけインタビューとなった山の事情社の安田雅弘。不条理演劇の現在とは？ そのドラマツルギーで現代社会を解説するとしたら？ 知的探求者たちの話題は多岐に広がる。

やすたまきひろ 62年東京生まれ。早稲田大学政経学部卒。81年、83年第三舞台在籍。84年、池田成志らと山の事情社結成。作・演出。出演で活躍。Part2「神無月のころ」。現在は「SPORTS」。

ベケットの落とし穴とフリーリング時代の演劇文体。

ベケットの落とし穴

安田 本日のテーマは「不条理」ということなんですが、不条理なものというのは今演劇にかかわっていれば正直に出てくる結果だという気がしています。別役 そうだと思いますね。

安田 ただ、先生に不条理について伺っていると一日かかっても終わらそうにないと思いますので(笑)、テーマを絞って進めたいと思います。まず、先生の最近の著作「ベケットと『いじめ』」(岩波書店刊)にもあった「ベケットの落とし穴」のお話、それと併せて先生が現在の演劇状況をどうご覧になっているのかを伺いたいです。

別役 人間の場合、自意識過剰というのがあるんですよ。自意識過剰になると自分に対する批評を自分で始めて、にっちもさっちも行かなくなる。要するに行為に移れないわけね。それで次第に自閉的になっていく。演劇にも演劇意識というのがあって、それが自意識過剰になっていった。ベケットはそれをほぼ忠実に進めた人なんです。そういう演劇の自閉的状況を僕は「ベケットの落とし穴」と呼んでいるんです。安田 なるほど。不条理演劇は六十年代に始まったと考えるといいんでしょうか？

別役 日本ではそうですね。それまでのリアリズム演劇は極めて論理的で、演劇の効用なんていることを考えていた。社会に対してこういう発言をしなればいけない、人々に対してこういう形で刺激を与えなければいけないなんて事をね、真面目に考えていた。不条理演劇が出て来た時にはそういう演劇状況に対するもの抵抗になったわけですよ。

安田 アンチテアトルと呼ばれる……別役 そうそう。演劇の虚偽性みたいなものを暴くために非常に有効な方法であったわけね、そういう意味での社会性もあった。それに従来の演劇的な文

体でがんじがらめにされていた肉体が解放されていくという快感もあったんです。ただ演劇の虚偽性をどんどん暴くという部分で、今言った自意識過剰になつていく。

安田 虚偽性を暴くというのは具体的にはどんなことをするんでしょうか？

別役 例えば、言語というのはありきたりの文明にかなり毒されている、その言語が言語として発せられる以上、実存に迫れない演劇的ではない。つまり言語の否定(笑)、みたいなことをするわけです。安田 あんなものは演劇でないとやっておきながら、本来の演劇的なものから遠ざかって行つた……別役 そう。一般的には不条理演劇ってその頃からとめどなく暗くなっていく、照明も抜けているテーマも、体験構造も。

安田 なぜ暗くなるんでしょう。別役 外界へ向けて行為することに対する不信感だね、それで内省的になってく。

安田 落とし穴に落ちたわけですね。別役 そのことにはピンターをはじめ、多くの人が気づいていて、伝統的な演劇性の中へ自分を依拠させていくんですよ。活気ある公的活動というのが、演劇の世間的なひとつの了解事項なんです。そこへ帰る。

安田 演劇の八割は無意識的なものであると先生もおっしゃってますね。

別役 うん、その無意識的形式の中に本来の健康的な演劇性があると思うんです。それを利用して演劇を再構築しようというのが、七十年代から始まったという感じですね。今はその過程だろうと。従来の演劇性を逆手に取ってパロディに行く方向と、伝統的な演劇の形のあるものを読み取ろうとする方向の二筋道になっているんじゃないか、という感じがします。

関係が主役

安田 不条理演劇の現在についてはどう考えますか？

別役 不条理なドラマツルギーに僕は理論先行で入ったけれども、今の若い人はフリーリングでらくらくと受け入れるね。

安田 アンチテーゼというより、前提だという気分はありますね。

別役 日常生活にも条理を求めていたら半日ともたない。説得力があるのはフリーリングであつて論理ではない。その辺の感じが演劇の文体をかなり変えたと思います。

安田 ドラマツルギーについて、先生は現代演劇で関係が主役だとおっしゃってます。これはどういうことなのでしょう？

別役 近代劇というのは個体が主役なんです。常にね。前近代の場合は英雄が出てくるわけですよ。これは民衆の願望と神からの承認があつて、常に関係に縛られていたわけですよ。シンボルにすぎない。それがイブセン以降個体が主人公になるのね。要するに自分の意志というものがあつて錯覚されて、独立な行動形態というものをもち、ドラマを形作る。ところがね実際に個人の生い立ちを考えてみると、個体というよりは家庭とか学校とか関係性そのものとして人生を体験していくよね。関係の利害にしたがつて行為するという方が強いんじゃないかと思うのね。三角関係が非常にきびきびすると個人が意志するのと反対のことをやりかねない、自分みずから死んでみせて男を辛い目に合わせるみたいなさ。

安田 僕はかつて「銀座線」という芝居を書いたんですが、若者のあるグループが集団自殺によつて都市に復讐するというのがモチーフでした。そういうメカニズムの中にとっぴりつかっているということ

ですね。

別役 うん、その種の個体の意志と関係の中での行為の歪みは、現代のように都市化・情報化されればされるほど大きくなる。関係が主役というのはそういうことなんです。

宮崎勤は現代人

安田 今おっしゃったようなドラマツルギーは事件や現代社会を解説する上で有効であるということが最近よくいわれていますが、去年の宮崎勤の連続少女誘拐事件なんかも解説できるものなんじゃないですか？

別役 例えばね、宮崎勤という個体が幼児に対して性的な関心をもつてあれを起こした、というのが個体説なんだと……

安田 今の法体系ではそういう形でしか認識できませんよね。

別役 ところが実際は今の幼児観にしろ、若い夫婦が子供を猫つかわいがりしているということに対する苛立ちというのが一般の環境の中に潜在的にある。その潜在的な情報を彼が受け取って、そのかされたという可能性のほうが強いだろうと……

安田 あのビデオというのは一本一本が社会の指令だったということですね。

別役 そうだね、ああいうビデオに結晶している社会の悪意みたいなものを無意識に受け取って、それでも関係の中でがんじがらめになっている人間は普通覚醒するんですよ。俺は今こんなことをしようとしてる、という具合にね。

安田 現代は覚醒が弱い？

別役 亜現実です。現代は。現実と幻想の間の半覚醒状態を浮遊している。途切れることなく浮遊できる。そこで自分を確かめるために情報に対する感受性で自分自身を常にナイフにさせておくわけ。

安田 彼は社会の悪意を割と無垢な形で受け入れてしまった、だから素直に行動に移したと……典型的な現代人ですね(笑)。

別役 そうです。そうです(笑)。

生きることに死ぬことに意味はない

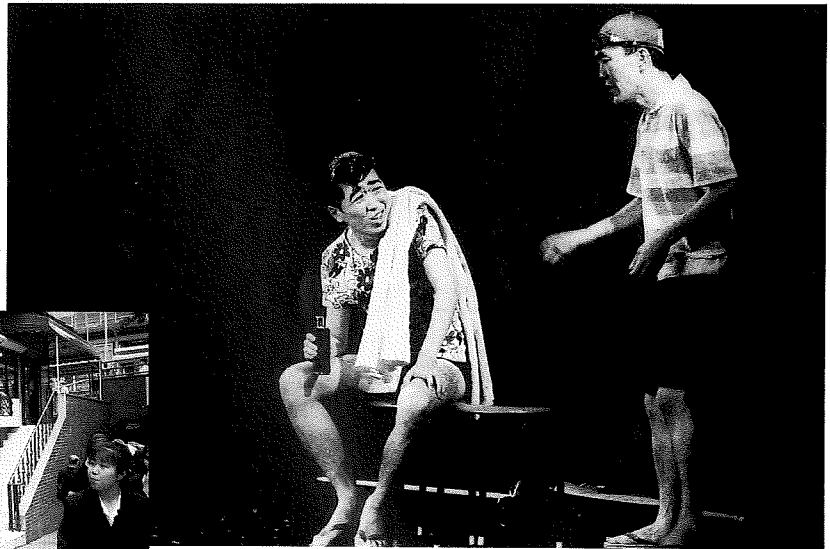
松尾すずき

絶妙な関係 大人計画

草木を薙ぎ倒し道なき道をひた走るように、意味も条理も、叩き壊し、背徳の笑いの嵐を巻き起こす大人計画!!



火事場に一陣の風のごとく出現する王様一行。"なんでこうなるの"型の不条理。王様は温水洋一の嗜れ姿だ。



客演はWAHAHA本舗の村松利史。スカトロ、宗教など笑えないものを笑う点で大人計画と村松は共犯関係。



まつおすずき '88年『手塚治虫の生涯』で旗揚げ以来、陰性の笑いを底流にしたアクティヴな大作を次々上演。松尾すずきは現在太宰を耽読し、物語への回帰を画策中。

構成・演出・出演▶松尾すずき

出演▶片葉みはる 温水洋一 常盤千春 山川智子 他
9月4日～9日●北沢駅前劇場

友人田村がやけどした経緯を取り沙汰するため3人の男たちが会って話をしようとするが、なかなか出会えず、電車やタクシーに乗って相手を探しに行けば行くほど離れ離れになってしまう。ゴドー待ちは裏腹に追えば追うほどに、遠ざかる目的とそれに反比例して増す徒労感。このようなたとえもない堂々巡りが大人計画の松尾すずきの運動法則である。

「本能のおもむくままに脚本を書く」という本人の弁から思い出されるのは、シニールレアリストたちが行っていた自動筆記である。そして、彼の舞台たるやそのシニールレアリズム映画の巨匠ルイス・ブニエルの、物語がひたすら横滑りしてゆく世界のようなのである。危篤の母親の元に行くため飛び乗ったバスがアカの他人の宴会にまで巻き込まれ目的地につけない『昇天時』などは『絶妙な関係』の中のスキット「やけどの田村」と相通じる、ふりかかる災難、型不条理に満ちている。

前回の宗教活劇『神のようにだまして』（村松利史プロデュース）では神とその命を狙う殺し屋の二人組の物語というゴドー的構図が持ち出されていた。しかし、神は物語半ばで殺され、その後登場人物全員のがやかな饗宴が繰り広げられたかと思うや、突然舞い戻った殺し屋に皆殺しにされてしまう。松尾版『皆殺しの天使』といったところだが、これに性的倒錯者やマッド・サイエンティストまでが登場してしまう。

スカトロジックで冒瀆的で残酷でと松尾すずきとブニエルの笑いに潜む暗さは同質かもしれない。しかし、ブニエルの映画という虚像でみせた世界を、松尾は自ら演じる。

「狭い暑いで居心地の悪い劇場だから、居合わせた人間が笑ってはいけないことを笑う」秘かな愉しみを共有できると背信の快楽を司ってしまう。生死の意味や因果律など存在しない、という原則にのっとって……。

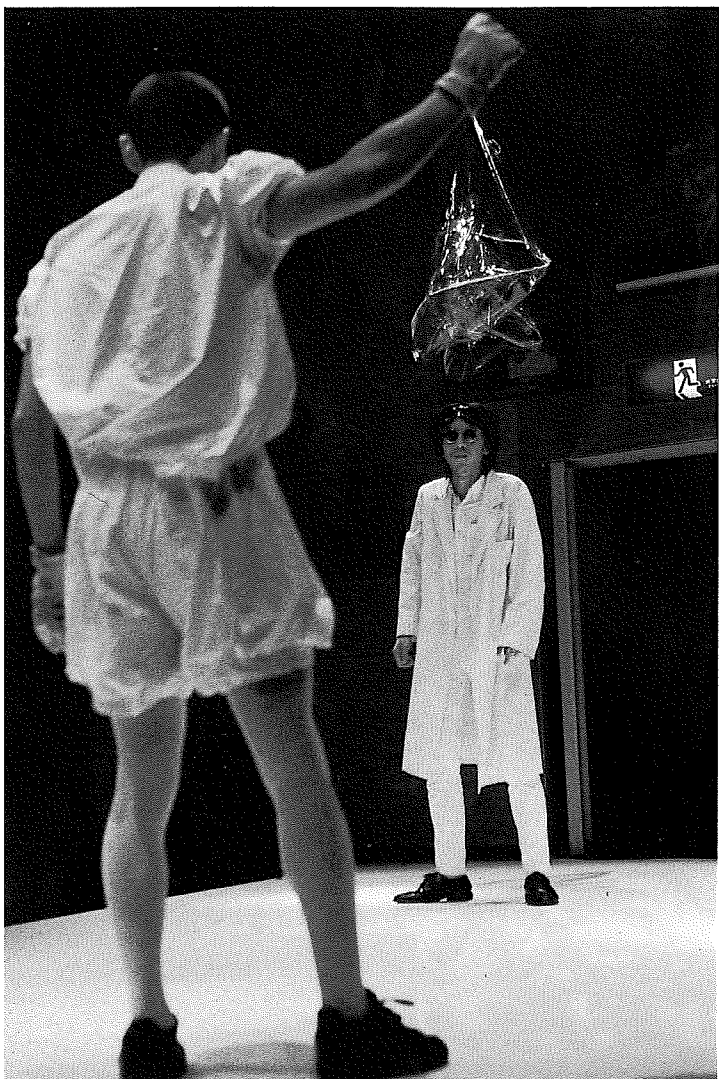
文・構成▼中山雪子 撮影▼赤池洋光

面白くしかやらないのが方法論

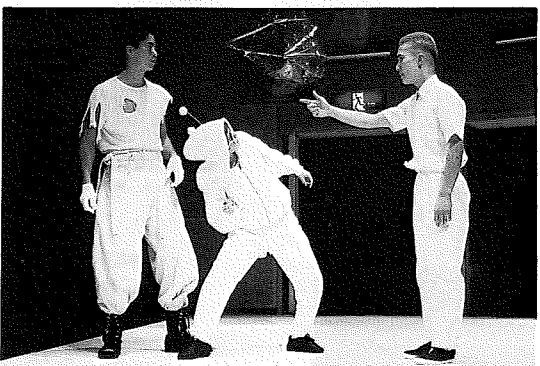
天久聖一

SANDSTORM マン・ユマロ・ウェーブ・プロデュース

円形の扉から次々に飛び出すヘンなヤツら、オカシナ砂漠での日常を砂嵐が襲う。漫画家天久聖一が語るマシユマロ体験。



砂漠の王と天文学博士の、強さについての問答は哲学的に展開するが、最後は暴力に。



様々な砂漠の人間模様。みみずちやん、革命家、戦士

「マシユマロの生理的な笑いついていうのかな、客に理解させて笑わせるんじゃない、おもわず驚いて笑っちゃうところが面白くて好きです」

天久聖一の漫画もいわゆるオチなしの不条理漫画。いきなり始まって終わらないまま終わる。

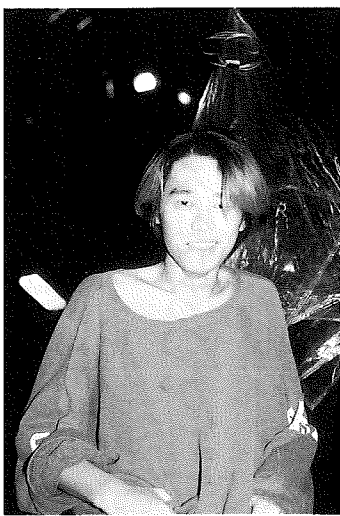
「面白くしかやらないんです。面白くするためのプロセスとかフリって、いくらやってもそれはあんまり面白くないものだから。マシユマロがやってることもそういう感じじゃないかな」

今回が初舞台なのに、いきなり出は最初。

「この間なんか、出る時に挨拶を客にしちゃったんです。大体、見にくるやつとか客とかキライなんです。でも無視して出来ないでしょ。嫌われているところから始めたいみたいなのがあって。ジレンマかな。やりたいことやりたいし、喜ばれたいしという」

マシユマロにしても、天久漫画にしてもわけが分からない部分があるからこそその人気といえるが、

「退屈だからじゃないかな、世の中。わけかんないことばかりだったら、きつとわけ分かって安心しようとする方になっちゃうはずでしょ。それにわけかんないといろんな意味考えて遊べるから。自分の考えとツジツマが合うのがあればトクした気分になる。つくる側としては、分かってもらおうとか解釈してもらおうなんて前提ははずしたところで遊ぶのが理想ですけどね。でも人に喜ばれることが実はやりたいこととか（笑）。両方の座標が不安定な接点でぶよぶよ動いている。マシユマロは自分のやりたいことやって、それと観客の期待とがピッタリあったところ攻めるのがうまい。そういうのを見つけるのがうまい人がそろっているんですよ」



あまひさまさる '68年香川県生まれ。国家公務員として拘留所の看守を1年。漫画家に転身。19歳でデビュー。JICCから「やんちゃブック」が既刊。次は劇団健康に脚本参加。



オカマとニンジャのヘンだけと素敵な愛。後姿が天久聖一。

作・演出▶マシユマロ・ウェーブ

出演▶天久聖一 赤堀青英 有園明夫 岡山一 他

10月2日～4日●青山円形劇場

公演予定▶「SANDSTORM 246MIX」

11月26日～12月2日●246 TANK

ゴドーを待ちつかれて 黄色舞伎團2

コンピュータウィルスのように、
電都市の情報・交通網に便乗し、
不在者を探しにゆく冒険物語。



旅客人の過、無機質でミニマルなサウンド。この閉鎖空間はオベサのよう。

原案・演出▶真壁茂夫
出演▶新井由子 後呂良子 蔵田千亜紀 小関絵里 他
9月5日〜16日●ディ・プラッツ
公演予定▶「B-DAMAGE3108」〈ゴドーを待ちつかれて編〉11月15日〜18日●浅草・常盤座



まかべしげお '86年結成以来、観客を檻に入れたり、凝視するなどの従来の演劇形態で、通り一遍のコミュニケーションに飽き足らぬマニアに人気を博している。



観客は目隠しのまま手をつないで、あやしい倉庫の中へと導かれていく。

灰色のやわらかい蛋白質でできた脳の根幹から、脊髄を通り全身にくまなく伸びる神経系。そして、この神経を通して感知したことが情報として脳にインプットされ集積される。しかし、高速道路や地下鉄、コンピュータ通信網が錯綜・迷走する都市では、電波も電車も等しく、神経の延長として我々に生きる情報をもたらししている。

かねてから観客を巨大迷路や檻などの都市を暗示する大掛かりな装置に誘導し、演劇のスタイルを作り変えてきた黄色舞伎團2が、『ゴドー』と神経都市を機軸とした『ゴドーを待ちつかれて』を上演した。ベケットは西洋文化のよすがである神を暗示するゴドーを不在の主人公とすることで、物語をかもし、ゴドーを巡る情報を氾濫させた。これに対して黄色舞伎團2は現在の情報網を駆使して、待ちつかれたゴドーを探し、われわれのよすがを問うたという。

チケットを求める段階で、電話で日時の予約以外に集合場所などの細かな約束がなされる。それに従い会場に出向くと観客たちは目隠しをされバスに乗せられる。途中、記念撮影をされ、錠剤を飲まされる。そして見知らぬ倉庫に降ろされ、放し飼いにされた鶏の中に置かれノイズを聴かされたり、パフォーマンズやビデオを観せられる。……このように観客は次々に与えられる情報を甘受していく。しかしその受動性は、日々、放射能、電波・光化学スモッグを無防備にヒフに受けとめる我々の姿とどれほどの違いがあるのか。

神経の延長である「情報と交通を指示（これとて情報だが）どおりに入力される」ことが、不条理に踏み込むことになる。と黄色舞伎團2の真壁茂夫は語る。まるで飽食のはての飢餓感の喪失に似た、情報洪水の中の指標の喪失―神経を病んだ都市と人間の抱える大いなる不在が一見えてくる。そう、「私たちは今まで一度もどこかへ向かって進んだことはない。ただ、進むだけだ」とベケットが言っているように。

文・構成▼中山聖子

これは不条理か、究極のリアリズムか。

東京乾電池「ひと頃、笑いに来る客を笑わせない」と評判を呼んだ、東京乾電池の歴史に残る2シリーズを振り返る。

この頃の演劇界というのかどうかでは、筋の通らないもの、無意味に見えるもの、ちよつと見、理解に及ばないもの等を簡単に不条理劇と断言する気配がある。同様に、さうでもないわけにはいかない。その説明がつかない、とどうにもである。

その意味では、たとえば、東京乾電池その列にくみすることができるかもしれない。'76年の劇団結成当時は、ナンセンスなギグ主体のハイパーテンションで、これでもかと観るものを笑いの渦流にひきずりこむ舞台見せたりもしたのだが、その祭りが終わったあと、正気に戻り、というか、狂気に至り（うそ）、'86年以降、現在日本演劇史に残る作品の数を上回るに至った。これを称して、町内劇シリーズ（お父さんシリーズ）という。

以下、その簡単な流れをみる（上）にしよう。



ブルー・コメッツ、岡林、PPMをギターとベースでリミックスした名町内劇シリーズ第1部「お茶と説教」（'86年10月・本多劇場）



区役所の出張所が舞台の町内劇シリーズ第3部「恋愛御法度―無駄と正直の制約（発作をめぐって）」（'83年10月・本多劇場）

町内劇シリーズ

「お茶と説教」―一読、地味なタイトルをもつその副題は「無関心の道徳的価値をめぐって」。

そう、この人をくつたようなタイトル、これが始まりであった。世に（天に）別役、地に岩松といわせしめた、日本不条理演劇界における新しい夜明けの――（誰もいつてないか）

しかし、へ地に岩松とは、あなたがちレトリックでもないのである。地、すなわち生活、日常、日々の暮らし――。いささか強引ではあるが、実際この話は、「ひたすら」だらしない時間、緊張感のない関係をやりたくて書いたもの（而立書房「お茶と説教」あとがき）のこと。その舞台は（町内）であり、登場するのは不動産屋の社長、近所の医者、スナックのマスターら。彼らが、もっぱら自分の気がかりやら、噂話やらに終始するというものである。それのどこがおもしろいんだということ、初演当時はいろいろ物議をかもしたり、どこで笑っているのかとおいてきばりにされた観客が、これまたどこで終わったかわからずに目が点になったとか、いろいろ逸話は尽きない。今でこそ、ある種の評価が定まってはいるものの、最初の頃は馴染みのないその手法に、というか、その視点に、とまどった観客も少なくない。

また、緊張感のないものをやろうとしたからといって、それがだらしないものだったか、ということそれは大いにNOである。たとえば噂話ひとつとってもそれは四方山話を装ってゆるやかに始まり、何かの拍子にあらぬ方向へころがり、加速度を増し、悪意に満ち満ちていく……といったふうなのである。極論すれば、無意味なものがまったくない、そんな舞台と2時間向かいっぱなしということである。その緊張感100%の舞台を前に、この世の不条理感を募らせていった観客もまた少なくないと思われる。

続く「台所の灯」「恋愛御法度」でも同様の視点は

お父さんシリーズ

第一部「蒲団と達磨」が第33回岸田戯曲賞を受賞したのは記憶に新しい。有り体にいえば「時代が芝居に追いついた」とでもいうのだろうか。とにかく、まあこれで、わかる人にはわかる「芝居から」一步を踏みだせたといえることができる。

この「蒲団と達磨」は、ボリス・ヴィアン風に見える。蒲団でも達磨でもないから「蒲団と達磨」みたいなもので、ゆめゆめ題名だけで芝居を見るなよ、ということか。娘の結婚式の後、自宅の一室での夫婦の会話。もちろん、例によって話の全容はいっとうに明らかにならない。あれとかこれとか、こそあど言葉が喧しい。しかし、何かざらりとした感覚が見ている者の心の底に堆積していくのである。

何かを語らないことによつて、より多くを語るという手法がここではつきりと確立されたといえる。続く、8月・なにに真夏のオーストラリアを地にとつた「お父さんの海水浴」では、設定こそ違え、前述の夫婦のその後を垣間見せられ、日常に終わりなどないのだ、ということをお父さん（岩松氏）という言葉を額面どおりにとることもないが、笑いとばすこともないだろう。なにしろ、へ地に岩松である。

ともあれ、これをもってシリーズは完結する。この後東京乾電池としての活動は約1年休止に入る。1年後の変貌をこの目で確認するためにも（変貌などなかったのだと確認するためでも）、できれば、劇場に足を向けたいものである。

文・構成▼中山聖子

ゴドーを待った6人

文・構成▽藤原和子

不条理演劇の代表的作家といえはベケット。ベケットといえば、「ゴドーを待ちながら」。

一九五三年のフランス初上演で、世界中に衝撃を与え、以来四〇年にわたって現代演劇界で、繰返し上演され続けてきたこの戯曲。関わりを持った演劇人が証言する「ゴドー待ち」のすこさは？

空怖ろしいけどエネルギーシユ。



知念正文
(鳥獣戯画)

つかこうへい事務所の74年の作品「松ヶ浦ゴドー」は、つか・演出で講談の師弟のドラマの劇中劇として、任侠伝風にゴドー待ちをとり入れた。知念正文は、ゴドーのふりをしてみせたり、悪漢ボツツオをやっつける不条理マンに変身するラッキー役を演じた。

「つかさんの不条理って、劇を構成していく上での不条理性で、ベケットがいう人間の不条理が世界を形づくっているという考えとはちよつと違つてたと思う。多分講談の中のミスマッパ面白さというこゝとで入れたんじゃないかな。僕は初めてみたのは新劇で、チンパンカンパンでどこが面白いのかって感じだったけど、なんか空怖ろしさはあった。あとで本を読んで、ただの心理分析とかでやるんじゃないの、本は実現できない、そういう戯曲なんだって理解できましたけど。不条理劇のすこさって現実がバラバラなのを全部提出してみて、繋いでいくのを観客にまかせている部分がある。その辛抱とか努力が今、観客側にも責任あるんですけど。ただ、あの、分かんないけど空怖ろしいとか、わけかんないけどエネルギーシユっていうのは、小劇場がやらなきゃいけないことだとは思ふ」

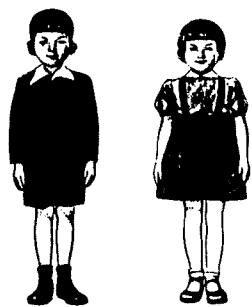


74年「巻談・松ヶ浦ゴドー」左から2人目が知念正文

これは俺たちの日常じゃないか。



松本修
(MODE)



MODE版ゴドー待ちの題は「待ちましよう」。今年東京をはじめ6カ所で上演された。背景はストリップ劇場、待ち続ける二人の男たちと通りかかる男たちは、暮ごにその役割をいれ替へて、とりとめもなく遊び続ける。

「ゴドーを劇中では、あの人、って呼んでますが、いわゆる神とか象徴的なところからひきずり降ろして、男の待っているものの一つ、例えば夢とか希望、人もの、などの中から女性に具現化したんです。この作品って不条理演劇の金字塔みたいな言われ方をしていますが、僕なんか寝つ転がつて読んで、あつこれは俺たちの日常じゃない、こういう会話してるよね、みたいなところがある。今現在そのものなんです。僕はチェーホフもよく上演しますが、時代設定をポンとはずしちゃうとすごく似てますね。あの会話の擦れ違い方ってベケットと直結してると思う。『三人姉妹』の二幕にずーっとジブリかなんかを待ち続けている場面がある。もしかしたらベケットはそれを読んでゴドーを書いたんじゃないかって、僕は勝手に想像してますけど。だから僕にとっては、チェーホフとともに今の状況を映し出して表現していくためのテキストとして、とっても自然に関わっているんです」

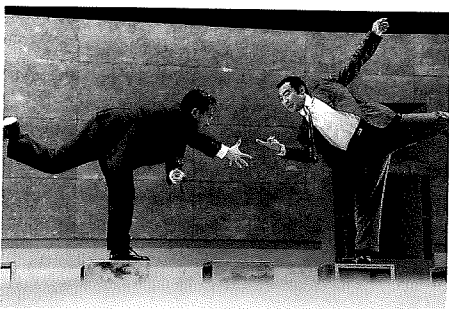
「ゴドーを待ちながら」



それまで小説家として知られていたベケット (06~69年アイルランド生まれ、フランスで活動) が、53年に発表した戯曲。

田舎道、一本の木、夕暮れ。というシチュエーションの中でエストラゴンとウラジーミルの二人がゴドーをくるのを待っている。しかしやって来たのはラッキーとボツツオの二人づれとゴドーが来ないことを知らせに来た少年。また次の日、二人は同じ時間、同じ場所でとりとめもない会話を交わしながらゴドーを待ち続ける。

「待ちましよう」'90年3月のバルテノン多摩公演。



'82年「青い鳥ゴドー」ある日せつと

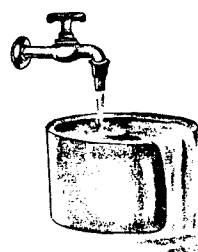
今、現在の役者体をさしす言葉。



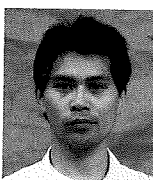
白井晃
(遊●機械／全自動シアター)

早稲田大学の演劇科の卒論で書いた社会演劇論。観客と演劇の持つ特性から社会構造を分析したものが、不条理劇にみられる状況の部分で、ゴドー待ちを引用した。当時の劇研では、ある種、教典のように使われていたが、個人的にも大きな衝撃を受けたという。

「近代のリアリズム演劇にそれまでうんざりしてて自分のおかされてる状況とか前後の経過とかを必ずセリフで説明する、あれってなんてウソくさいんだろって、すごく嫌いだった。ところがこの作品にはそれがなかったんですね。抽象的な空間にポンと二人がおかれて、何も説明してないのに面白い。それは、この芝居が二人とも会話しているようにみえて、じつはその言葉は自分に向かって発している。自分の内側に向かって放たれるんです。だから演じる役者はその言葉をどう遊んでみせるかが勝負になってくる。つまり、その言葉と役者との拮抗の中で生まれてくる関係があれば、それがいやでも浮上してくる。例えば90年の何月何日の、今、起こった感覚をさらすことでしか見せようがないってことでですね。僕はすつと戯曲に違和感もって書かずにやってきてますが、これなら言えるかも知れないって本です。ただ、やっぱり聖域という感じで、ちよつと手がつけられませんか」



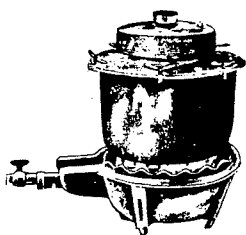
プラスにもマイナスにも意味を規定しない本。



鈴木勝秀
(ZAZOUS THEATER)

早稲田の劇研時代に役者4人で発想して作つくチームを組んで、ジュネ、イヨネスコを上演。3作目として用意したのが、当時の劇研ですでにさまざまに再構成上演されていたゴドー待ち。大隈裏のアトリエ前の鉄扉のところに男二人がえんえんと立っている設定だけ決めてあり、あとはフリーで演じる予定だった。だが少年役は予定していた第三舞台の岩谷真哉の事故死で中止になってしまった。それ以来彼を超えるイメージに出会えないこともあって、ゴドー待ちそのものをモチーフに作品化することは避けている。

「ただ、不在感というのは僕の芝居のテーマでもあるんです。何か欠けてるって感覚イコール待ってるってこと、それは僕だけじゃなくて人間にずーっと続いている感覚、ミッシングリンクみたいなものに繋がってると思うんですね。人間の進化の在り方って何も起こってない、変化はありますけど。その何も起こってなくて、でも何か欠けてるっていうのが全て出てる。これはもう端的に出てますね。しかも意味を規定していかない。肯定的でも否定的でもない。そういう意味では寛容な本ですね。観客だけでなく演じる方にとつてもね。だからこそ怖いんです」



分らない...でも分かった。



芹川藍
(青い鳥)

82年、青い鳥は三人の姉妹が一日中、納戸で捜し物をしている「ある日せつと」という作品を上演した。その中でそっくり使ったのがゴドー待ち。何ページかをそっくり、ト書きの「間」とか「二人は動かない」などまでそのままセリフ化した。

「ゴドーに流れる風のような無常感が私達にとつての『三人姉妹』というものをよりクッキリはつきりさせたと言えます。これを上演した8年前というのは冒険するでもない、苦悩したり飛翔したりするのでもない芝居がしたくて、『三人姉妹』をとっかかりに淡々と自分の周りを時間だけが過ぎていく、そんな過こし方をする人達を他に探したらゴドー待ちがあつたんです。おかげで時間がたつた。そうでなくたつたつたつた、時間は、三人は動かない。あつ、これだと思った。何かニオイがしたんです。何も起こらない、ただ待って過こしているニオイ。ゴドー待ちがすごいかわるか、殆ど分らないけど分らないと言つてしまえば分らない。分かったといつてしまえば分かった。よーな気がする。これは、やっぱりものすこいのかもしれませんね。来年の春にまた、『ある日せつと』をベースに新しい作品を作る予定です」



俺とゴドー待ちの関係がすごい。



一ツ井 哲也
(こまつ座)



新宿の駐車場やスナックで演じられたゲリラ的不条理劇。70年代初めに上演されたすまけいと仲間たちによる「原作ゴドー待ち」はギャグとスピード感に満ちたベケットとして、今も伝説的に語られている。

「いいかげんに好きなように変えちゃって、やっただけなんだけどね。しりとりみたいなゲーム性を入れたり、コマシヤルや流行り言葉入れたらして、待ってる二人とメッセーシ言いに来る少年だけ出て、セツトも何もなし、照明は喜劇だからひたすら明るけりやい。前衛劇ふう背景からなから灰色一色のにも誘われて出たけど、そんなもんじゃねえよ、面白くやれよって思ってた。とにかくあの本はおれの常態そのものって思えたから不条理なものもない。常態のバカバカしさだけ拡大した状態だからね。身につまされる。そうなりや笑いとばすしかないじゃない。ゴドー待ちが好まかっていったら好きじゃない。ゴドー待ちだけ興味あったんだ。イヨネスコなら『椅子』、オルビーなら『動物園物語』というふうになんか分かって刺激されるものをやつてただだから。だからベケットとかゴドー待ちはべつにすごいとは思わない。俺とゴドー待ちの関係がすごいね」

ストイックではなくファンキーに、反意味から非意味へ。

91年2月、「朝日のような夕日をつれて」が、また時代を映して甦る。鴻上演劇の出発点であり、再演のたびに新しい顔を見せてくれるこの傑作戯曲のキーワードといえるのが、「ゴドーを待ちながら」。今、五度目の上演を前に、作者が語る「朝日」と「ゴドー」。そして、彼の不条理観。

不条理劇との出会い、そして不条理演劇観。

「最初見た不条理劇は、イヨネスコの『授業』だった。それで、これが不条理なんだなって思った小説は、やっぱりカミュの『異邦人』だったけど。ただ、僕らの時代はだいぶ変わってきて、もうベケットも、プレヒトとかスタニスラフスキーとかと同じように、演劇界の巨匠の一人になってた。だから、僕も別に、ベケットから出発したとか、ベケットをどうしようみたいな意識はあんまりなかったよ。不条理をいきなり言うけど、不条理って古いよ。不条理が力をもったのは、やっぱりアンチ新劇だったのね。つまり、秩序ある啓蒙主義的な演劇に対して、そんなことはない、現実が不条理そのものではないか、か、というのを訴えたくて、不条理劇というのは成立したんだよね。ところが、新劇もしくは近代合理主義文学が力を失い始めてみると、なんのことはない、現実が不条理なんだ、とわかってしまった。だから、殊更不条理を言いたることはないだろうってというのが現在だよ」

ベケット作品の上演について。

「やがてはね、オレ、ベケットのあの短い作品、全部連続して上演してやろうかと思ってるのね。大体後期は一本が三分とか五分だから、それを二十本位連続してやってやりたいナとは思ってるけど。ただ、チラシには、はつきり言うけど、つまらないゾって書くね。だから千人位でいいのよ笑。一回実験してみたいだけだから。あかりがついて消えるだけっていうのがあるからね。あかりがついて消えて、囁き声が聞こえて終わり、とかね。ベケットは、そもそも不条理とは何だろうって、不条理そのものに光をあててせいの肉を削ぎ落としていった、現実に対して言いたいことを観念の世界で一回消化してから書いた人なんだね」

現代における不条理とは？

「不条理マンガで、オチがなかったり、訳がわからないっていうのは、現実を反映したら、ごく自然に

『朝日のような夕日をつれて』と『ゴドーを待ちながら』の関係。

「ゴドーが来ない、ということを描くのはとてもせつなくてつらいことだけれども、『朝日』においては、来たゴドーがあなたにとって退屈なゴドーだったという、その方がしんどいけれど、だから描写のしがいがあるんじゃないかなっていうこと、ゴドー待ちが重要であるからこそ、この次を描きたいっていうことだよ。別の比喩で言う、シェーンは最

鴻上演劇とその展開。

「オレの芝居を『不条理ですか？』って聞かれたら、違いますって言うと思うのね。うん、不条理じゃないね。っていうのはね、あれは最後の最後のギリギリまでは、完璧に論理的に作り上げられてるから。ただ、最後の最後に自分でもわからないものを残して、そこは、自分でもよくわからないんだけど、そうしたくてたまらなかつたからそうしたのである。うん、そういう面からいうと不条理じゃない。でも、『非意味ですか？』って言われたら、『非意味ですよ』って言うね。それはもう、気持ち求める中で書いていくから。だから、オレの解釈と比較して、別に正解のものなんてないからね。各人のコードでアクセスしてくれればいい。ただ、オレはたくさん、かなりの種類のコードを持つ人にアクセスできる芝居を作っていくってことだよ」

特集 鴻上尚史

'90 DRAMATIC
act aoyama WINTER SCHOOL

冬期演劇集中講座 生徒募集

1週間の実践的な演技教室です。

アクト青山を主宰する俳優・渥美國泰が、あなたの演劇的才能、特質を的確に指摘し、旧俳優座養成所のテキストをつかって、特にセリフまわしの点検と工夫、脚本の読解力を養い、動きの自在性を指導します。「進学・進路相談」もありますので、本格的な演劇学校入学の手がかり、演劇大学志望の高校生の受験準備としても御利用下さい。

定員：各クラス 15名
(定員になり次第メッチャす)

費用：入会金 5,000円
会費 30,000円
期日：12月17日(月)～22日(土)
12月24日(月)～29日(土)

12月17日～22日	12月24日～29日
18:00～20:00	11:00～14:00 16:00～19:00
A教室	B教室 C教室

場所：アクト青山世田谷スタジオ
京王線千歳烏山駅下車13分

まず電話で御予約下さい。
03-300-5888

演劇大学志望の高校生のための 演技基礎教室生徒募集

■桐朋・日芸・玉川等の演劇科への進学希望の高校生のために受験の予備訓練をする「演技基礎教室」です。OBの現役大生を交えての「進学・進路相談」もあります。

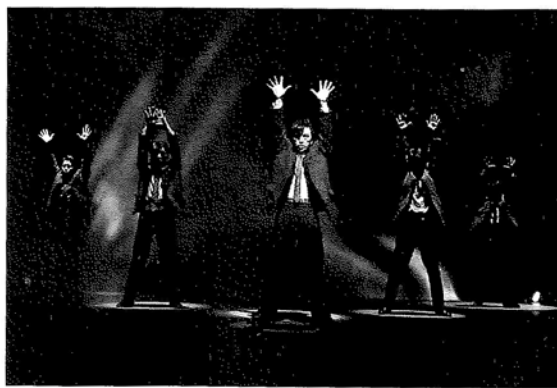
■授業内容 発音・発声の基礎から、セリフ、動きの自在性、パントマイム、面接、作文、小論文等の表現力を養います。毎週、水・土18時～20時、日11時～14時、特別に、個人教授も行っています。講師 渥美國泰(俳優・アクト青山主宰)

■費用 入会金50,000円 月謝20,000円

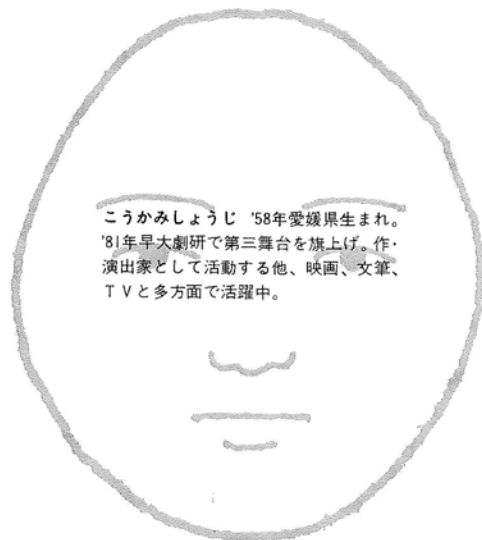
■申し込み方法 電話(03-300-5888)にて面接日を御予約下さい。見学も許されます。

高校生以外の方の受講にも応じています。

アクト青山 ドラマティック・スクール
〒157 東京都世田谷区北烏山7-5-9
TEL 03(300)5888 (京王線 千歳烏山下車)



'85年「朝日のような夕日をつれて」



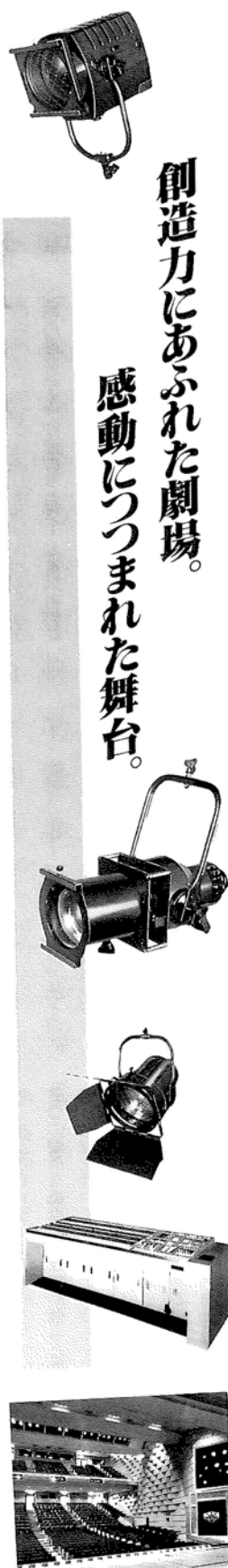
文・構成 森万重子 撮影 赤池洋光



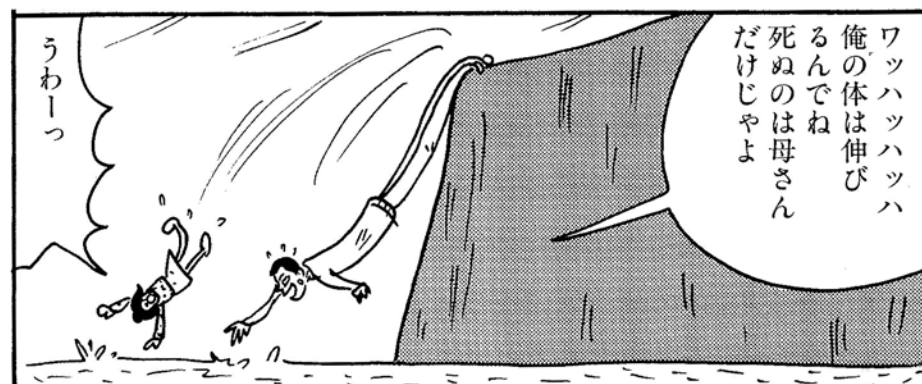
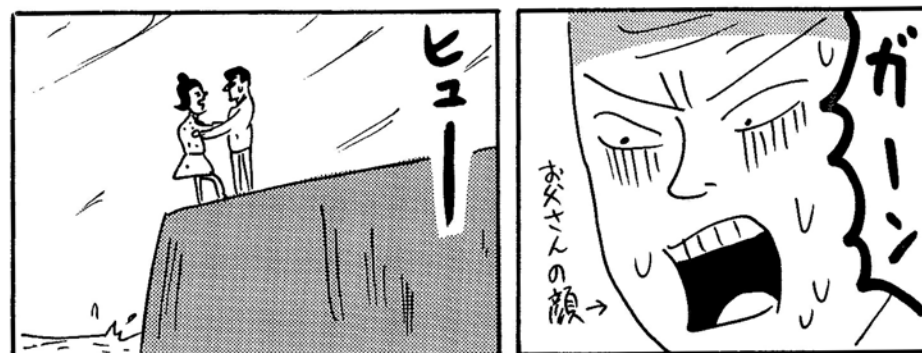
あらゆる劇場、舞台でMARUMOの光が活躍しています。

創造力にあふれた劇場。

感動につつまれた舞台。



スポットライトからシステム調光まで
丸茂電機株式会社
〒101 東京都千代田区神田須田町1-24 ☎(03)252-0321
大阪(06)312-1913・1922/名古屋(052)263-7425
福岡(092)741-4762/広島(082)252-1600



東京乾電池公演
『お父さんのお父さん』
11月1日(木)・11月11日(日)
(午後7時PM)(日2時PM)
作・演出▼岩松了
(出演)
岩松了 柄本明 蛭子能収
北見治一 三股亜由美
本多劇場 全指定席2800円
国劇団03・476・1495

お父さんのおバカさん

登場人物



蛭



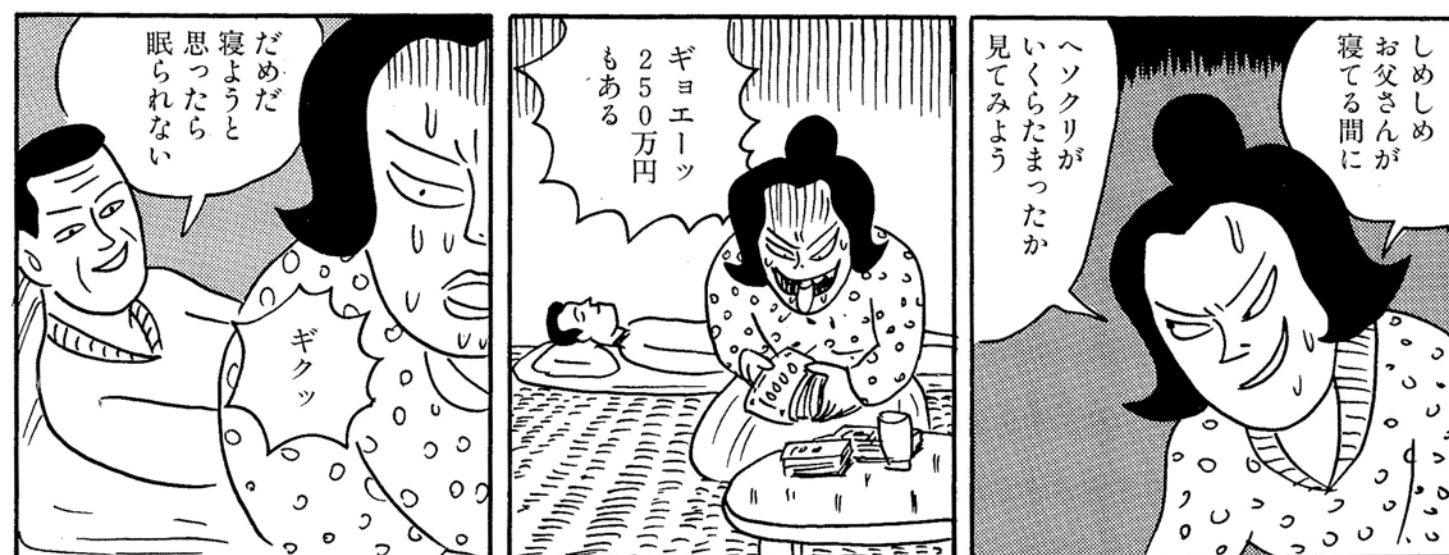
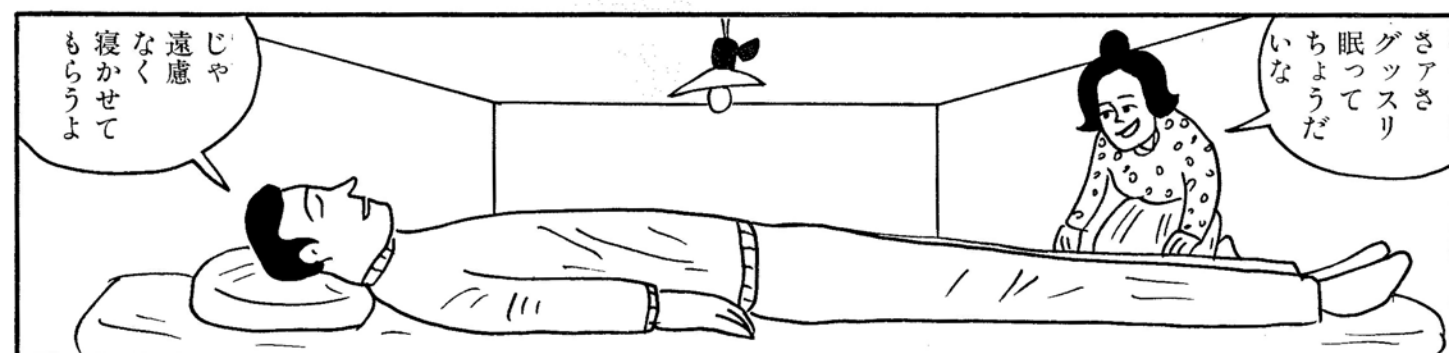
子



能



収



C.A.T GROUP
Power Stage
POWER STAGE CO., LTD.
706 Osidate Inuy-Shi Tokyo, 206
Phone: 0423-77-3348 Fax: 0423-78-3281
CREATIVE ART THINK



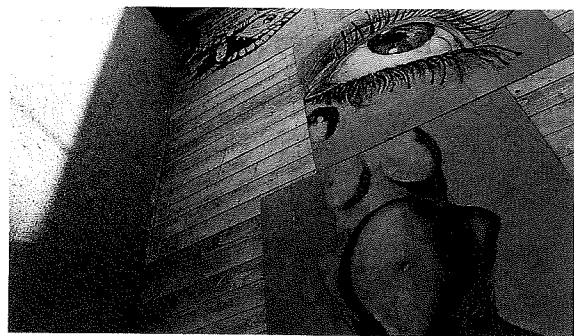
1986/9 MOVING NOTES in BENISAN PIT

★パワー・ステージは、舞台照明器具、特殊効果器具の販売及び、レンタルを行なっています。
★ご予約、お問い合わせは、休日を除く毎日10:00~19:00にお受け致します。
★ホール等への運搬もお受け致します。

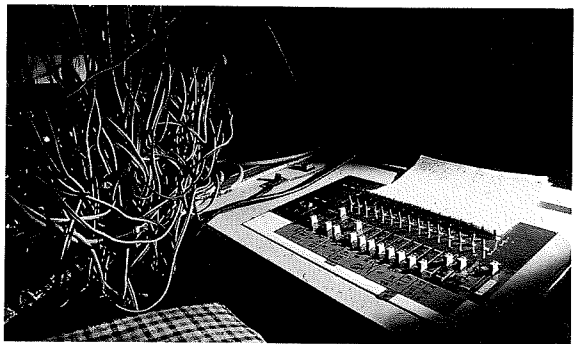
アルバイト募集中
株式会社 パワー・ステージ

器材問合せ: TEL03-463-5042
〒206 東京都稲城市押立706
TEL: 0423-77-3348代
FAX: 0423-78-3281

経理・総務
〒150 東京都渋谷区宇田川町19-5
山手マンション605
TEL: 03-463-0061



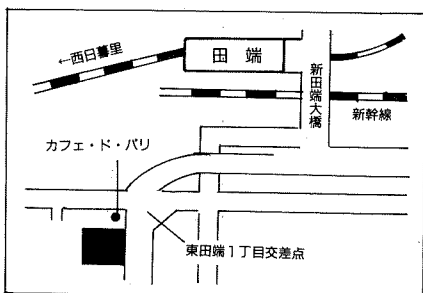
シャッター横の壁に書かれたニューペインティング風な絵。



調光室



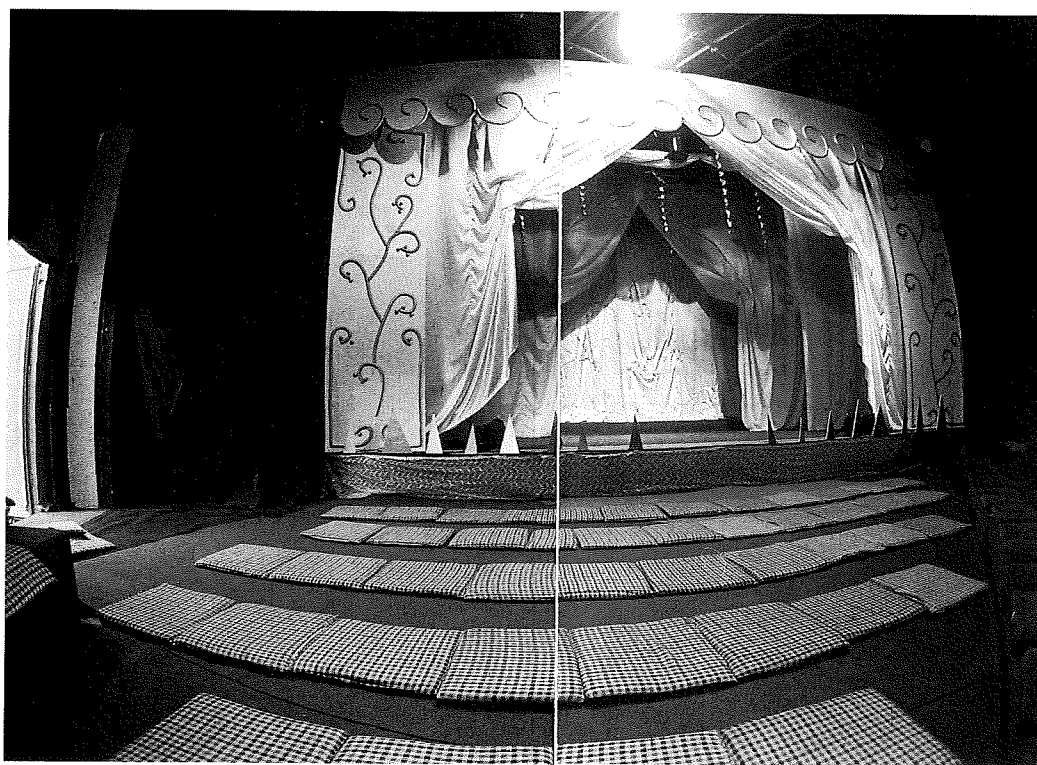
真壁茂夫さん。劇場主で「黄色舞伎団2」の主催者でもある。



〒114 東京都北区東田端1-6-4大丸ビル1F
TEL 03-800-1304



自動車道路に面した劇場入口。劇場の上はマンション



内部は箱型のオープンスペース。これは「オブカル・マリンカ」の舞台。

冒険する劇場.....⑦

die prätze

前衛っぽい独自の路線で
既成の演劇への挑戦を打ち出す劇場

構成・文▶日吉真仁 写真▶青木 司

山の手線田端駅から線路を跨ぐ新大橋を渡って、上野方向へ緩やかな坂を下る。人影もまばらな丁字路の一角にひっそりとディ・プラッツはある。白昼の死角とも呼べるような場所。新宿や渋谷の華やかさとは極北の地の感がある。既成の演劇ブームを批判的に個人の劇場経営の限界に挑戦して、文化を問い直すディ・プラッツの存在は刺激的だ。

オープンとは8年2月。新しい稽古場を捜していた黄色舞伎団の主宰者真壁茂夫と照明家の木下泰夫が製紙工場の倉庫跡を借りて稽古場兼貸小屋とした。防音や床張りなど、内装を自分達でやり、手作りの小屋としてスタート。内部は天井が高くフラットなスペースで箱型。何もないフリースペース。楽屋も必要に応じて演者達が作る。

「普通の舞台を作るのは結構むずかしいですね。装置とか空間を考えないで、平面的な芝居をやろうとすると結構、大変になっちゃう。空間的なことを芝居としてくくると劇団にはいいんじゃないかな」

天井の高さもそうだが、何よりも既成の演劇のあり方からはずれ、芝居をやりたいからやるんだというところを見つけたかったという、真壁の芝居に対する考え方が色濃く投影されている。それはディ・プラッツというネーミ

ングにも感じられる。ドイツ語で不器用な手という意味だが、その語源は獣の前足。そしてそれが響いてくる。そこから悪口を言う感じで、不器用な手と言ったのだ。

「一階部分がオープンスペース。三、四階が賃貸の住居、という構造の小屋をスタートさせた真壁の苦労は、音の問題から始まる。

「最初の頃、苦情が凄かった。ボク、音の問題を気にして、不動産屋に音は平気ですかと何度も念を押した。大丈夫ということに借りたけど、オープンの頃、音の苦情で警察に何枚始末書を書いたかわからないですよ。オープンの挨拶に近所の人達に菓子折りを持っていくことも受け取らないんですよ。」

話で聞けば笑い話だが、この問題は解決されたわけではない。住宅街に不特定多数の人間が集まれば必ず生じる住民との軋轢。これはどっちが勝つか負けるかではなく、共存共栄があるべき姿だと思ふ。

「今、ボクは北区を対象にして、北区の中で文化を考えることをやって、それを言っている。この場所も北区が運営してくれないかと思ってる。そういうふうになればどんだんいろいろなことがクリアできるんじゃないかと」

地価の高騰、家賃の値上りは周知の事実だ。

真壁の構想はディ・プラッツという小さな枠でものを考えないで、もっと大きな所に拠点を置いてみる。そのひとつに、アール・リム北東京計画がある。ディ・プラッツを含め、周辺のギャラリーや舞踏のスタジオなど、五つの場所を拠点に、新宿や渋谷とは違う、文化の場を作っていくというものだ。その主旨は表現が商品化されていくことで、ドン・自分の首を絞めているという認識のもとに、そつじやない所でやっていく。文化によって街は作られるという活動だ。

劇場から三年目。この夏、二ヶ月に渡るディ・プラッツ芸術祭を開催。

「演劇祭がふえちゃって、演劇祭って何だろうと、単純に考えた時にね。ちよつとおかしいんじゃないかってのがあって、ボクらが集めた集団は有名じゃないけど、内容についていくことが、数年後に全くできなくなってしまう。そんなことでつぶされたくないという危機感が真壁にはある。

「お金とかは区が出して、運営は民間の団体がやるという形に持っていけないかと。そうすれば、ボクはディ・プラッツなんかがつぶれたって構わない。小劇場の人達が一貫してやりやすい方法をやっているんだよね」

ていえば、コンセプトは他の演劇祭よりもしつかりしていると思ってる。観客動員数とかね、お金の規模じゃなくて、質の問題で語られるようになっていかないとね。その為になんていきたい。他のフェスティバルは破綻してきていると思ってる。他がぼくと同じになってきたら、やる必要はないと思ってる」

参加劇団の条件は先駆的で、実験的、前衛的というものを招んだ。

「ボクは演劇の概念を作る大きなものとして、プロセニアム、つまり舞台があるってこと、台本があって、役者がいる。この三つが一番大きいと思ってる。そういうものをはずしていくと、何故、演劇がこつこつうになってしまったのか、なぜ、そういう概念を植えつけられなくちゃいけないのか、わからない。その三つから離れようとしているとか、離れた所で演劇を作っているとか、そういう所で選んだ。エンターテインメントな所では選んでいないですよ」

下町演劇祭の企画にもたずさわる、こうした真壁の発想が、病室園のように既成の演劇概念を犯してしまうのか。これはある意味で闘いでもあるのだ。

劇団青い森

研究生募集

〈俳優・スタッフ・制作部員〉

- 給料制
- 演劇経験不問
- 18才以上の男女
- 履歴書・写真を
劇団事務所まで送付のこと

MESSAGE FROM KOBE

■1990年度巡回公演作品(全国)

LIFE

作/ふるかわ照 演出/大内三朗

トーマスのJUMP

作・演出/ふるかわ照

カーリーの青春

脚色・演出/ふるかわ照

■予告

神戸自由劇場・劇団青い森/第1回合同公演

1991年2月2日(土)・3日(日)

六甲アイランド風の劇場

「美しきものの伝説」

作/宮本 研 演出/ふるかわ照

■お問い合わせは

有限会社 劇団青い森

〒658 兵庫県神戸市東灘区魚崎中町4-2-20

TEL.078-412-6180

「トーマスのJUMP」舞台写真

昭和音楽芸術学院

ミュージカル・オペラ……舞台芸術を追求して半世紀

スタジオレッスン室・練習室完備

第一線で活躍中の講師陣

少人数制・実践重視の教育

(財)日本オペラ振興会との提携

MUSICAL

ミュージカル科

- 就業年限 2年
- 入学定員 40名
- 受験資格 高等学校卒業以上の者(含卒業見込み)
- 講師陣 福田善之 大久保昌一良
林 昭夫 越光照文
久松夕子 小川亜矢子
結城敬二 西川鯉之祐
忠 の仁 山口琇也
西村勝行

★学校見学会★

11/2(金) 11/3(祝)

'91年度生徒募集

12月入試(一般・推薦)

願書受付

11/1(木)~12/6(木)

入 試 12/8(土)

合格発表 12/10(月)

◇願書配布中(無料)◇

舞台芸術コース

ミュージカル・オペラ・演劇の華やかな舞台を支えるステージ・スタッフ(演出家、舞台監督、照明家など)を養成、カリキュラムには実習を多く取り入れた実践重視の教育を行っています。

入学志望者のための受験診断

受験診断とは?

入学希望者の実力を入学試験科目によって診断し、その結果、本学院に入学の実力があると認められた場合は特典として書類審査のみにより合否が決定されます。

◇日程 11月10日(土) 11月17日(土)
12月1日(土) 12月15日(土)

問合せ ☎044(953)1230
〒215 川崎市麻生区万福寺1-16-6

設置学科

音楽科(声楽/ピアノ/舞台芸術)
基礎音楽科/ミュージカル科
研究科(オペラ/ピアノ/ミュージカル)

併設校

昭和音楽大学

音楽学部

作曲学科/器楽学科/声楽学科●専攻科

昭和音楽大学短期大学部

(ピアノ/弦・管・打楽器/音楽芸術/声楽)専攻科
〒243 神奈川県厚木市関口808 ☎0462-45-1055(代)

飛龍伝再び

つかこうへい 作・演出 飛龍伝'90殺戮の秋 稽古場ルポ



10月16日、銀座セゾン劇場の稽古場・勝どきスタジオで公開通し稽古が行われた。本番まであと3週間も残しているがひと通り完成したということだろう。現在と70年安保の状況をうまく交錯させながらの2時間半。歌と踊りが、ふんだんに盛り込まれ相変わらずのつかぶりを発揮していた。なかでも凄かったのは寛利夫。後半に富田靖子と2人で30分ほど延々と演じるシーンは圧巻だった。彼は男を演じられる数少ない役者だ。ケダモノさとやさしさと切なさ……。

Text▶真崎洋一 Photographs▶秋本竜太

「初級革命講座 飛龍伝」として一九七四年に早大劇団アトリエで初演された作品が「飛龍伝90」となってきた。6月の「熱海殺人事件」に続いて、新しいつかこうへいファンにとって待望の作品だ。しかも今回は主役の全共闘委員長に富田靖子、三田解放戦線参謀に春田純一、敵対する機動隊長に寛利夫と若さがみなぎる布陣。今や誰も口に出さなくなった安保につかこうへいが真っ向から取り組んでおり話題も大きい。

「あの頃フロントとして頑張ってた糸井とか海江田とかが今は資本の手先になり下がっているよ、それがくやしんだよ。俺はさ、こわくて行けなかったから、ゲバ棒とかで殴られたら怖いだろう。だからその時行けなかった自分の情けなさをここで検証したいんだよな」

そう、今回の作品は、つかこうへいが当時に感じた屈辱的な思いと、現代に生きる人々の意気地なさにカツを入れたという思いが大きく交錯しているのだ。

だから稽古場も若いエネルギーに溢れている。富田や寛のほかにも、僕等の調査局で活躍していた熱血好漢、北島義明や、現代の若者の姿を体現できる極渡真司らの姿も見える。演劇集団円の木下浩之や山崎健二も健在だ。

みな自らの体験がない学生運動の話につかのテンションの高さともものにめり込んでいく。バツヘルベルのカノンや浜田省吾が流れたり。「幕末純情伝」のラストの長淵剛もそうだったが、つかはなんの照れもなく愛の詩をつわってくる。浜省を使う演出家なんて聞いたことがない。でもそこがいいところ。他人が踏み入れない領域に正面から立ち向かってくるのだ。

白熱してきた稽古場でつかはこう語る。

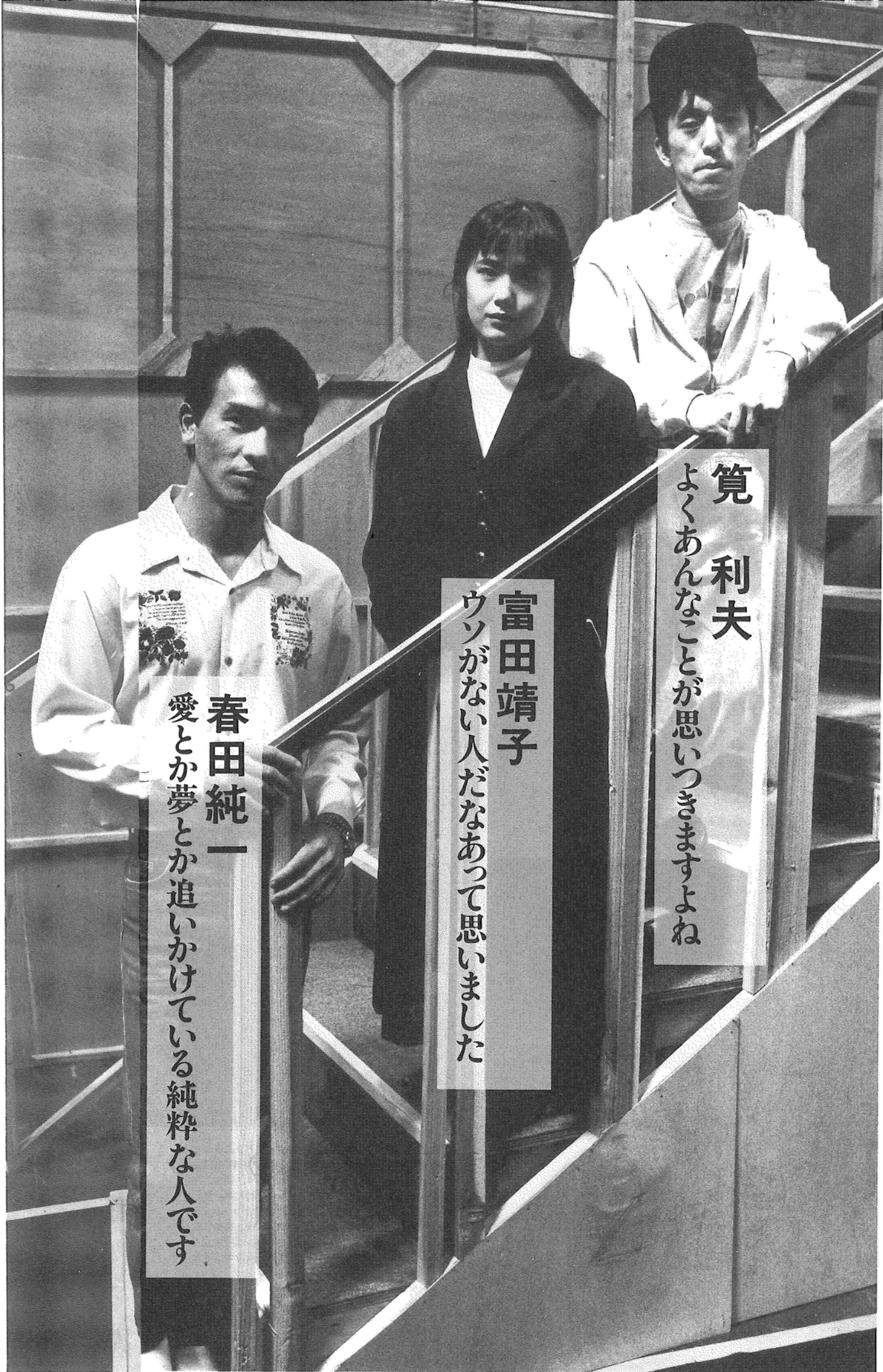
「いやあ、これはもう現代のロミオとジュリエットだよな。寛もいいだろう、富田もいいだろう。はい、いいです。とすぐさま答えたくなるくらい彼は素晴らしい。夢を追いつける若者の素晴らしさと、あきらめざるを得ないもののやるせなさが充滿しているのだ」

10月16日、本番まで3週間も残したこの時期に公開稽古も敢行された。こんなにも早くひとことおりの完成をえた「飛龍伝」は生ぬるい日本の状況にあえて自らの体を投げうって血を流すのだ。涙でもない、汗でもない、血を流すのだ。これを観て悲しくならないようだったら、もう日本も危ないかもしれない。



つかさうへいつて……すべし

今回の「飛龍伝90」の中心的役割を成す三人組、可憐な富田靖子、一途な男春田純一、野性がにじむ寛利夫に、今回の芝居について語ってもらった。



寛 利夫
よくあんなことが思いつきますよね

富田 靖子
ウソがない人だなあと思って思いました

春田 純一
愛とか夢とか追いかけている純粹な人です

——富田さん、寛さんはつかさんの芝居は初めてですが感想は？

富田 映画はいろいろ観ていたんですが、舞台はこの前の「熱海殺人事件」が初めてでした。とにかく面白かったですね。エッチなセリフやキツイセリフも全然気にならないし。とにかく素直に笑えたり感じたりできるんですよ。その後「飛龍伝」やるのが決まって「幕末純情伝」を観たんですが、この時は逃げたそうになって（笑）思いました。だってみんなテンション高いでしょ。あの高きで長時間も続けるなんて私にはちょっとって。

寛 僕はなぜかわからないんですが、何かはじめてって感じがしないんですよ。面白いことが、よくこんなことをやってのがボンボン出てくるんですよ。

——つかさんには口立て稽古という独特なものがありますが、実際に稽古をしてみてどうですか？

寛 口立てはセリフが本音になりますね。つかさんがその時思っていることを気持ちを込めてしゃべっているんですよ。それを聞いてそのまんま真似しているだけなんですけど、ホント気持ちがよくワカルんですよ。

春田 そうそう、ホントつかさんの思いがセリフに伝わってくるんですよ。それから食事の時間も特にとらないでぶっ続けの稽古で緊張しますね。役も変わるし、セリフなんかほとんどかわるし。自分で役者をやらない分、想いを全て伝えようとしてテンションもスコク高いですよ。あのテンションよりボクたちは落とせないんですよ。

口立ては本番でもどんどん変わる。

寛 びっくりしたのは大声で話さとかいわないんですよ。そういう指示は出さないでとにかく自分の真似をさせるんですよ。

富田 私は、灰皿がとんでくるとかきいてたんで、つかさんの舞台はちょっと怖くてやりたくないなあと思って思っていたんですが……

春田 口立てってのは本番になってもほとんど変わりますよ。楽日まで毎日。

寛 それが怖いんですよ。本番になって変わるってのは第三舞台でも体験ないですね。簡単に変わってしまうと、それに対応できないんじゃないかってちょっと不安に思いますね。

富田 私はついていくだけです。

——学生運動が題材になっていますが富田 私はあまり抵抗がないです。体験も知識もありませんから。セリフが覚えにくいってのはありますけど。

寛 ボクもそんなに抵抗ないですね。今回の「飛龍伝」はストーリーもキチンしてるんで、難しい単語とか関係ないなって思ってます。

突拍子もない発言と行動力。

——つかさんの魅力について伺いたいんですが……

富田 あの突拍子もない発言とんでもない行動力はイヤでも好きでもありますね。この前も、この人に会いたかったらその4日後にセッティングしてくれてとても嬉しかったです。芸能界にはよくその場限りのがあるんですが、つかさんにはそれがなくてうそがない人だなあと思って思いました。

春田 スゴイ人間っぽい人ですね。愛とか夢とかいつも持っていて、とても純粋な人ですよ。

寛 とても面白い人ですよ。サービス精神旺盛で、でも僕、演出家イコール怖いというぬぐいきれないものがあるんですよ。

富田 あまりタバコを吸わないでガンバってほしいですね。仕事ばかりしてるんで

君にチャンスを！オーディション

●劇団は数えきれないほど多くありますが、才能がバラバラに散らばっていたのではなかなか面白い芝居はつくれません。今、演劇を活性化するために必要なのは散らばっている才能を結集することです。私達はそう考えて、この度、国武演劇事務所を設立し、次のとおり、第一回プロデュース公演を持つことにいたしました。

少女は
ユーフラテスを
めざす
'91 5月4日
～5月12日
シアターVアカサカ

新しい才能を見出し、スポットを当てるため、この公演に参加する出演者及びスタッフを募集しています。
気軽に御応募下さい。

- ・オーディションは12月9日(日)
- ・稽古は3月から入ります
- ・年齢は16歳以上。経験は問いません
- ・出演料は面談の上で決定します
- ・審査料は不要です
- ・応募締め切りは11月24日(消印有効)

応募者は
・履歴書(芸歴があればふれて下さい)
・写真
・返信用の封筒(返信先の住所・氏名を記入の上62円切手を添付して下さい)

を同封の上、事務所までお送りください。
折り返し、オーディションの詳しい案内を送ります。

〒108 東京都港区白金台
4-6-43-301 和光企画内
国武演劇事務所／オーディション係
☎03 (444) 6152

マジックタイム

夢をさがし求めて人々は劇場に集う
これから何がはじまるのか 期待のひととき
舞台と観客がひとつになる 魔法のひととき
さあ 今夜も幕がひらく



構成・演出・出演▶白井晃 高泉淳子 松本一郎 飯島由美 木下真紀 富浜薫 小山彰一 他
9月4日～9日・19日～24日◎文芸座ル・ビリエ

Text▶庭橋奈穂子 Photographs▶落合星文

革命のミステリー

7人46役でフランス革命の謎に迫る、パリ・ユシェット座の傑作。



東京国際演劇祭'90参加作品
パリ・ユシェット座
アレクサンドル・デュマ原作
ロジェ・デフォセ作
ニコラ・パティユ演出
制作/脚本スペース・ゼロ
後援/フランス大使館
協力/エールフランス国営航空
協力/カンパセーション
主催/全労済

王政は、その男の掌で壊れた。



前売券、ただいま好評発売中。

11・23 FRI. 12・2 SUN. SPACE ZERO

全労済ホール スペース・ゼロ(新宿駅南口)

■開演▶平日7:00PM 土曜3:00PM/7:00PM 日曜3:00PM ■入場料▶5,000円(全席指定) PRESENTED BY

■お問い合わせ▶全労済ホール スペース・ゼロ「革命のミステリー事務局」☎03(375)8741

チケット スペース・ゼロ チケットカウンター☎03(375)8869 チケットセゾン☎03(5990)9999 チケットぴあ☎03(5237)9999 ONプレイガイド☎03(257)9999

全労済

▼フォーラム

11 NOVEMBER 劇団199Q太陽族『帝国水晶の夜』

作・演出▶岩崎正裕
出演▶岸部孝子/河辺実紀/工藤俊作/他
20→30→7:00 40→3:00
☎▶¥1800 ☎▶¥2000 ☎▶予約▶OMS

10 NOVEMBER 燦光群 大阪公演『レフトハンドマシーン』

作・演出▶坂手洋二 出演▶小林達雄/猪熊恒和/川中健次郎/吉永千里/他
10→7:00 11→1:00/5:00 ☎▶¥2200 ☎▶¥2400 ☎▶予約▶OMS

14 NOVEMBER 南河内万歳一座『百物語』

作・演出▶内藤裕敬
出演▶河野洋一郎/味楽智三郎/岡田朝子/他
14→16→7:30 17→3:00/7:30
18→1:00/5:00
☎▶¥2300 ☎▶¥2800 ☎▶予約▶OMS

23 NOVEMBER 銀色昆蟲館

『神隠しの小怪を行けば、花ざかりの森中学校があつて、そこに平岡先生がいた』

作・演出▶上野卓彦 出演▶和由茂樹/長江雄昌/山崎満理子/他
23→24→7:00 25→2:00 ☎▶¥2000 ☎▶¥2300
☎▶075・255・0247 銀色昆蟲館インセクト

29 NOVEMBER 劇団こたつ猫一座 '90公演『悲劇・蛇のある悪戯』

構成・演出▶流石浦公美 出演▶石田晃/花文雄マモル/山中せい子/小原秀子
29→30→7:00 10→2:30/7:00 20→1:00 ☎▶¥1800 ☎▶¥2000
☎▶06・923・4117 オフィスミギタ

12 DECEMBER 劇団幻実劇場 速水陽子SOLO

『ふしあわせという名の猫』
作・演出▶佐原道 出演▶速水陽子 14→15→7:00 16→2:00 ☎▶¥2200
☎▶¥2500 ☎▶予約▶OMS

18 DECEMBER 南河内万歳一座

『赤い夕陽のでんでけ伝』の作り方』

作・演出▶内藤裕敬 出演▶河野洋一郎/味楽智三郎/鴨鈴女/岡田朝子/他
ゲスト▶渡辺えり子(劇団300) ☎▶予約▶OMS

イベントガイド



1990・11 NOVEMBER▶12 DECEMBER

▼コロキウム

11 NOVEMBER 『シンクビッグ』

監督▶ジョン・クートルトーブ 出演▶バーバリアン・ブラザーズ
27→11/9→12:20/2:00/3:40/5:20/7:00 ☎▶¥1300 ☎▶学生▶¥1100
☎▶¥1600 ☎▶学生▶¥1300 ☎▶OMS 1990年制作▶アメリカ

10 NOVEMBER 『フランケンフッカー』

監督▶フランク・ヘネロッター
10→12→11:50/2:35/5:20/8:00
☎▶¥1100 ☎▶¥1500 ☎▶学生▶¥1300 ☎▶OMS

17 NOVEMBER 『ロジャー&ミー』

監督▶マイケル・ムーア
17→23→12:20/2:00/3:40/5:20/7:00
☎▶¥1300 ☎▶¥1600 ☎▶学生▶¥1400 ☎▶OMS

24 NOVEMBER 『身代りの樹』

監督▶ジャイルズ・フォスター
出演▶ヘレン・シェイヴナー/ローレン・バコール
24→30→12:20/2:00/3:40/5:20/7:00
☎▶¥1200 ☎▶¥1600 ☎▶学生▶¥1300 ☎▶OMS

▼レイトショー

扇町夜遊びシネマ Vol.9

『シド・アンド・ナンシー』 監督▶アレックス・コックス
1986年制作▶イギリス
出演▶グレイ・オールドマン/クロエ・グゼブ
30→9→P.M.8:40 ☎▶¥1000 ☎▶¥1300 ☎▶OMS

扇町夜遊びシネマ Vol.10

『君といた丘』 監督▶ジョン・タイガン
制作▶ジョージ・ミラー
17→23→P.M.8:40 ☎▶¥1000 ☎▶¥1300 ☎▶OMS

24 NOVEMBER 『ロジャー&ミー』

監督▶マイケル・ムーア
1989年制作▶アメリカ
24→30→P.M.8:40 ☎▶¥1300 ☎▶¥1600 ☎▶学生▶¥1400 ☎▶OMS

扇町ミュージアムスクエア(O・M・S)TEL.06-361-0088

Magic time stars now,

小山彰一 松本一郎 木下真紀 富浜薫 飯島由美



歌も踊りも芝居もみんな本当に楽しかった！ でもなんといっても一番は役者さんたちのとびきりの笑顔。キラキラ輝いていて、みてるとなんだか幸福な気持ちになった。素敵な笑顔で夢のようなひとときを届けくれた5人にインタビュー。

シーンを つくりあげていく過程

松本 今回僕たちだけで本稽古に入る前に自主稽古をけっこうやって、そのとき出たものを白井さんにこれだけ要素がありますって提出したんだよね。結局消えていってしまっただけが多かったけど。自主稽古の方法も各自で考えて持ちよってやって、飯島が持ってきた方法で、曲に合わせて回って歩きながら、しゃべらないでいるんなを演じるってのがあって。僕が事件を捜査していくというんな人がでくるってシーンはこの稽古がはじまりだったんですね。

富浜 私の一芝居は自主稽古じゃなくて白井さんが演出する稽古のときに、一人エチュードを一日一回とかバシバシやらされて、そこからできたんだけど。とにかくもう勝手に自分で考えて……。



木下 考えてなくてもやらなきゃいけないですね笑。
富浜 そう。でも、考えてなくて、やっちゃえ、みたいなところから偶然にポンとでくるってけっこうある。
小山 僕もその一人エチュードで新製品特別説明会ってくだらない商品を次々説明したり、あと、みんなに言われたことを気にしてしまふ被害妄想の男とかやって。
木下 マクベスの言葉とかでもやってた。
小山 でもそういう格調高い言葉でやっても小山はダメだということになって。普段使ってる言葉にしようってやって、刑事のシーンの言葉とか商品説明のときの言葉とか使って、そういうのを練習していることにしようってことになったんですよ。
木下 飯島さんと私のシーンは、最初は、宝塚に入れたようにしている母親といやがる子供だったんですね。でもやっているうちにだんだん面白くなって、じゃあ気持ちをかえてやってみようってやったらパレエになって。もう初日ギリギリになってかえったんですよ。
松本 最初、好き勝手にぼんぼん出していくうちはいいんだけど、それから落とすてどこをみせるかって考えて形にしようとする、最初面白かったところがどこかへいっ

ちゃって、それをまた搜すっていう、ドンドンそのくり返し。

消えてしまった シーンを考える

松本 今回ライブ的な要素はあっても、テーマを明確に出すっていうか、筋を一本通すってことを演出した白井さんはこだわり続けてた。だから前回のライブほど何でもありじゃなかったんじゃないかな。
木下 テーマって劇場。劇場にいる人たちが。小山 でも最初はみんなそんなの無視して違うことばっかりやって。
富浜 最初からこだわりすぎるとあんまりイメージがでなくて苦しんじやうから。みんな違うことやるから白井さんが悩んでた。松本 自主稽古でいっになく自分たちから要素を出したけれど、白井さんにボーンとぶつとばされて(笑)。消えたシーンもあったね、ラーメン屋とか。

一同 あったーあったー
飯島 ニヒルでハードボイルドな2人のラーメン屋っていうの。
富浜 稽古中放ついたらすーっとやって、大笑いしててたのになままだどこかに消えちゃった。あれだけ盛り上がったのにね(笑)。

松本 あまりにも話がネタ的すぎてコントチックだったから。
木下 コントとどう違うかっていうラインが難しい。

松本 たぶんその人物が浮かび上ってくるかこないかってところだと思う。やってる役者が自分で楽しんでるうんじやなくて、引いたところのみながらキャラクターを動かすっていうんじゃないとね。「ラーメン屋」は設定や言葉は面白いけど、人物像が浮かんでこないってことだったんだよね。残ったものをみるとやっぱりどれも人物像がはっきりしてて、そうなんだって思っもの。でも、シーンが消えるときって前兆はあるね。(一同笑)最初の面白味が再生できなくなってきた、もしかしらって黄色信号が点滅する。自分ではいいと思って、エツ、ナシアっていうのはあんまりないよね。
木下 うん。それはあんまりない。

飯島 えー、でも私、「芸人」やりたかった。一同 あったーあったー(笑)
飯島 売れない芸人、ベベ・桜井っていうキャラクターなんですけど。ギターひきながら漫談して、自分が盛り上ってると気持ちよく歌っちゃうっていう。稽古でエンエンやらされたんだけど。

小さな空間での 臨場感を楽しむ

松本 最初は客入れからすごい緊張して、お客さん意識しちゃって手に汗かいたり。小山 お客さんが多いと客入れで疲れてしまふんです。でも客入れのときに、なんだ、あいつ、とか思われると芝居中に尾を引きそうなので気を使いますね。
木下 でも今回って客入れを含めて、カンカンとかオベレッタとか、やっててすごく楽しかった。

松本 踊りや歌も今回血のにじむような練習をして(笑)、血がにじんでもあの程度(笑)。でも、踊りとしてみられたら下手だけど、白井さんもよく言うように、ダンサーじゃなくて役者が踊ってるのをみせたいわけだから。
飯島 足があがるとかいう技術的なことも大切だけれど、踊ってる役者の自然とでくる

感覚そのものを楽しんでもらえればいいんじゃないかな。
富浜 今回お客さんがすごく近くて、やってくる側とお客さんが一緒になって臨場感みたいのがあって、楽しかった。
木下 最初は、こんな近くで本当にやるの？みたいな、ちょっとコワかったけど。
富浜 お客さん引いちゃうんじゃないかと思って。でもけっこうみんな入れ込んでくれたみたいで良かった。
飯島 毛穴までみえるような近さだものね。
松本 みえないよー。
木下 みえるよー。
松本 グローブ座の2階だと顔さえみえないのにね。やっぱり役者の呼吸が届くような空間でやりたい。それに、ル・ピリエみたいな狭い空間でやると、同じ呼吸の日ってないんだってことがあからさまにわかる。お客さんがかわれば反応もかわって、自分の中でお客さんの反応とかあつていくってのは、一つのアドリブ性といえるんじゃないかな。セリフは決まっても言い回しとか間は、お客さんとの呼吸で毎回微妙に違うから。そういうことって今回のライブでよくわかったように思う。

Theater Clip part 1

遊●機械/全自動シアター
マジックタイム

ABCミュージカル「阿国」

木の実ナナ・上條恒彦ほか
11月3日(祝)28日(休)
6時30分 水・土・日・祝 8時30分 日・祝・1時
但し3時・28日は1時のみ 12時・休演
全席指定 S席=9,000円 A席=6,000円 近鉄劇場



ロカンパニー/プロデュース

「夜明けの花火」

風間杜夫・平田満ほか
11月12日(月)17日(土)7時
14時・17時・21時・24時・27時 ほか7:00
全席指定 4,500円 近鉄小劇場

きんてつアパート・VOL.9

講師 陳舜臣(作家)

「三国志の人間像」

11月19日(月)7時
全席指定 1,300円 近鉄小劇場



「メアリー・ステュアート」

演出 宮本亜門 出演 麻実れい、白石加代子
12月4日(火)9日(日)
4時・7時・10時・13時・16時・19時・22時
全席指定 6,500円 近鉄小劇場

劇団夢の遊眠社

「三代目、りちやあど」

12月5日(水)16日(日)
平日・7時 土・日・2時・7時 10時は休演
全席指定 4,000円 近鉄劇場

劇団青い鳥

「さらば夏の思い出」

12月14日(金)16日(日)
14時・17時 15時・2時・7時 18時・2時
全席指定 前売=3,500円 当日=3,800円 近鉄小劇場

「O×式ゴドーを待ちながら」

脚本 川崎徹 演出 木野花
12月20日(木)22日(土)
20時・21時・22時・23時・24時・25時
全席指定 前売=3,800円 当日=4,000円 近鉄小劇場

GROUPるるる「男と女の肖像」

松金よね子・田岡美也子・岡本麗ほか
11月20日(木)21日(金)7時
全席指定 前売=3,000円 当日=3,300円 近鉄小劇場

劇団ショーマ

「クラウド・ランド年代記」

11月23日(祝)24日(土)
23時・7時 24時・2時
全席指定 前売=3,000円 当日=3,200円 近鉄小劇場

花組芝居「いろは四谷怪談」

11月26日(月)29日(木)7時
全席指定 3,800円 近鉄小劇場

劇団☆新感線「罇腰城の七人」

12月29日(土)30日(日)
29時・2時・7時 30時・12時・5時
全席指定 前売=3,000円 当日=3,300円 近鉄劇場

電話予約 06-771-1009

お問合せ
前売所=近鉄プレイガイド(上本町店・アペノ店)・チケットぴあ
チケットセゾン・関西プレイガイド協会

近鉄劇場

近鉄小劇場

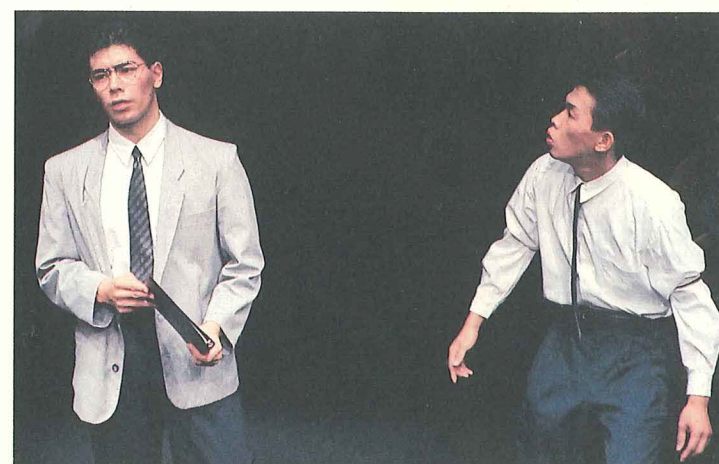
〒543 大阪市天王寺区上本町6-5-28



会社の男の人を自分の部屋へ呼んだ女のコ(富浜薫)。一人でべらべらしゃべりまくり、あけくの果てに男の人は帰ってしまう。



客席はいろんな人たちがいっぱいで大にぎわい!



舞台上で突然おこった殺人事件をめぐる刑事(右・松本一郎)は捜査をはじめ。事件はもう解決したなどと言う部長(左・小山彰一)をはじめ謎の人物が次々と現れる。



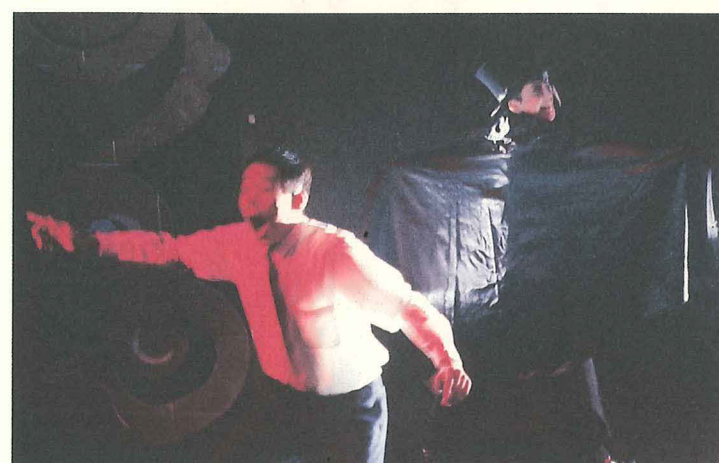
幕が上がる前、実は今回は白井晃と高泉淳子は出演しない、と聞いたとたん、席を立てて帰ろうとする最前列の客(高泉淳子)「お客さん/お願い帰らないで!」



番場の忠太郎に扮した子供たち(右から松本一郎、飯島由美、高泉淳子、木下真紀)「おひかえなすって!……」とそれぞれが自己紹介。



突然舞台に現れるベギー富岡(白井晃)「曲も歌っちゃダメって言うのよ/歌ってやる、死ぬまで歌い続けてみんなを困らせてやる!」私は女よ、男じゃないのよ、わかって!



事件を追って劇場の地下室へおりた刑事がそこでみたものは、ヘンな英語を話す「文芸坐の怪人」(高泉淳子)。この怪人が事件の犯人だったのだ。



ようやくオープニングに間に合った白井晃の前口上。「筋もテーマもありません、気楽に楽しんで下さい」と、いよいよ幕が上がる。



遊●機械/全自動シアター50周年記念公演に集まったかつてのメンバーたち(右から小山彰一、木下真紀、富浜薫、飯島由美、松本一郎)。特別ゲスト高泉淳子がスピーチをする。



「こんばんわ、高泉でゴザイマス。今日はナマのわたくしをおみせしようとでて参りましたの。コレ、普段着ですよー、普段のわたくしは女っぽいですよー」



バレエのお稽古を嫌がってゴネる女の子(木下真紀)となだめすかしてご機嫌をとるステージママ(飯島由美)「バレエなんかやめる! インドに行ってインド人になる!」



舞台裏で着がえる踊り子たち。(左から富浜薫、飯島由美、木下真紀)二人がかりで大騒ぎしながら背中のファスナーをおろしている。



元気にフィナーレ!



男が女装して女が男装して歌い踊る、「くされ縁のオペレッタ」ケンカしても、大キライと言いついても、離れられない男と女。



客席で隣の女子高生(富浜薫)にうるさく話しかけるオジサン(高泉淳子)「キミ、いつごろから遊●機械みてるわけ? 僕なんか旗揚げから。昔はねえ……」



再び舞台の幕が上がり、着がえをすませた踊り子たちが元気一杯カンカンを踊る。



突然「帰って来る」と清太郎から電話が。沙和子は睡眠薬入りの酒を飲ませて眠らせようと用意する。しかし、その酒を沙和子が飲むはめに。満雄から菊乃にあてた手紙を見つけた清太郎は、沙和子の計画に気づいたのだ。口論の末、沙和子は清太郎を誤って殺してしまう。満雄が死体を裏庭の井戸に隠す。



昭和初期の鎌倉。沙和子（歌川椎子）は、彼女の財産を使って遊びまくる夫、清太郎（久松信美）にすっかり愛想を尽かす。家政婦菊乃（筒井真理子）から、「私の恋人は清太郎様の弟、満雄さん。満雄さんは清太郎様にそっくりなのを利用して、清太郎様の身代わりに刑務所に入っています。」と聞かされる。



戸谷が離婚手続のために訪れる。計画どおり、清太郎を演じる満雄。しかし、手に傷がないことから戸谷に二セモノと見抜かれる。警察に通報しようとする戸谷を、菊乃が突然射殺。菊乃は、満雄を銃で脅して戸谷の死体を井戸に投げ込ませ、沙和子から多額の金切手を奪って逃げようとする。



戸谷弁護士（渡辺いっけい）が借金の取り立てに来る。清太郎は沙和子をなだめすかして小切手を切らせようとするが、沙和子は言うことを聞かない。怒りのあまり、グラスで手を切ってしまう清太郎。気を取り直して、土地を処分して借金の返済にあてるために、清太郎は大阪に向かう。



沙和子は警察署長（徳井優）を呼び全てを打ち明ける。しかし、調べてみると、井戸には死体がなく、清太郎には弟もいないという。驚く沙和子。そこに清太郎が精神科医と看護婦を連れて現れ「妻は気が狂っているのです。」と言う。署長は「奥さんを禁治産者にするように」と言い残して帰ってしまう。



出所してきた満雄（久松信美）は、外見こそ清太郎にそっくりだが、性格は正反對の小心者。沙和子は、満雄に清太郎のふりをさせて、離婚手続をしようという計画を立てる。初めは反対していた菊乃も、多額の謝礼で承知。三人で、満雄を清太郎に仕立てる練習をする。

一人二役

青山演劇フェスティバル・ペーパーカンパニープロデュース

どんでん返しの連続！

ロベール・トマの推理劇を昭和初期の日本に置きかえて、

ミステリーの色がからみつく。

芸達者な役者たちがみせるサスペンス劇。

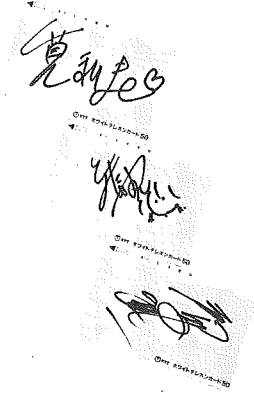
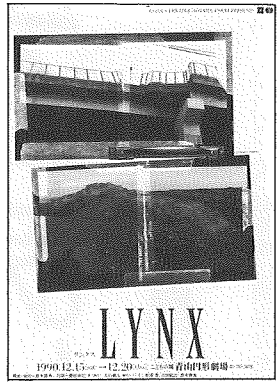
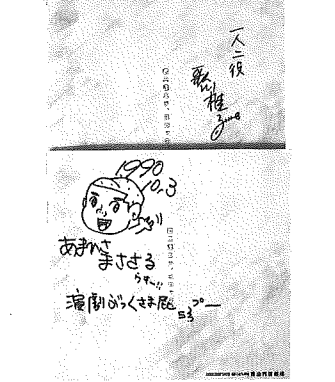
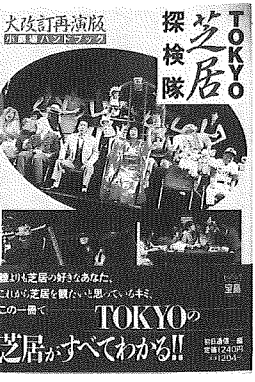
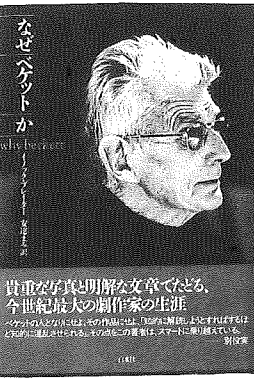
Theater Clip part 2



当たってうれしい

プレゼント大作戦

(応募方法)
アンケートはがきに答えたら、希望する品物を書いて下さい。(第3希望まで書いていいです) メ切は11月末日必着。チケットのメ切は公演日が異なるため、初日の10日前必着。プランニングニュース欄のチケットもこの要領でご応募下さい。

			
高泉淳子サイン入りフォト 3名 今号の表紙を飾る遊●機械/全自動シアターの女優高泉淳子さんに、サインしてもらったプロフィールフォト。	剣幸サイン入り公演テレカ 1名 宝塚歌劇団月組のトップスター剣幸さんのサヨナラ公演「川霧の橋」テレカ。本人の直筆サイン入り。	「三代目りちやあど」テレカ 10名 12月2日まで東京グローブ座 12月5日から近鉄劇場で公演する夢の遊眠社「三代目りちやあど」の特製テレカをプレゼント劇場内でも販売しています。 (提供：夢の遊眠社)	「飛龍伝'90」主演者サインテレカ 3名 つかこうへい演出で話題の「飛龍伝'90」。その主演者富田靖子、春田純一、寛利夫の三人にそれぞれサインしてもらったホワイトテレカ。
			
ザズウ「LYNX」ポスター 3名 ザズウシアターの円形公演「Ly・Nx」のポスターは、フォトに本誌カメラマン笹谷高弘の作品が登場。デザインは気鋭の鳥井和昌で、ハイクオリティに仕上がっている。	青山演劇フェスプログラム 2名 青山演劇フェスティバルのマシュマロ・ウェーブ公演に参加した漫画家天久聖一、「一人二役」に主演した歌川椎子。この二人にサインしてもらった記念プログラム。	大改訂版「TOKYO芝居探検隊」 3名 小劇場ファン必携のハンドブック。役者インタビューもあれば劇場ガイドもある面白本が、内容も新しく大改訂。これ1冊で今の小劇場の全てがわかる親切で緻密な本だ。 (提供：JICC出版局) 1240円	ベケット研究書「なぜベケットか」 3名 昨年12月、惜しくも世を去った天才ベケット。彼の全足跡を膨大な写真と解説でつづった本格的な評伝。ベケットの私生活や作品についても具体的に迫った魅力的な本だ。 (提供：白水社) 2200円

えんぶ・ちけぶれII

くるめるシアター10th公演 「BLESS」 小さなサーカス団のピエロを目指す一人の少年の物語。 11月16日～18日 阿佐谷スタジオはるか 問い合わせ☎045-752-2828 (時野)	劇団シアター・ジャック Vol.18 「日本のリズム」 ～自衛隊のジャイアントロボ～ 部隊員18名のうち17名は事故死に見せかけ殺された。残る一人も時間の問題だ。 11月22日～25日 新宿タニニ・アリス 問い合わせ☎0492-34-4950	ASPHALT ライブシアター Vol.1 「火星のタイムスリップ」 ロードパフォーマンス、バンドユニット、オムニバス形式をとるライト感覚のライブ。 12月12日、13日、Xmas Story 25日 池袋文芸座ル・ピリエ 問い合わせ☎03-584-9935
劇団夢夢り芝居 Vol.18 「ああ喪失に夢がふる～1990改訂版」 ある夢を求めて、仕事に励むベテラン師匠。彼らの心休まる場所、それが喪失なのだ。 11月17日、18日 江坂ブーミンホール 問い合わせ☎06-463-1863	劇団一跡二跳 第13回公演 「テラよりの私信」 仕事に忙殺される会社員が海外出張を言い渡され、トラブルの連続からやがて宇宙へ…。 11月28日～12月2日 新宿スペース107 問い合わせ☎03-316-2824	劇団さんた19第6回公演 「WALK DON'T RUN」 「ただ僕たちはそこに立ち続けたかった」 物語の中に引き込まれた少女。銀河鉄道のプラトホームを目指し脱走は始まった。 12月22日～24日 学芸大前千本桜ホール 問い合わせ☎0472-32-9750

横浜相鉄本多劇場提携公演ご招待!

横浜相鉄本多劇場(相鉄ムービル 3F)で上演される以下の公演に3組6名様を抽選でご招待します。希望公演を明記の上、「演劇ぶっく」までご応募下さい。
チケット予約・問い合わせ
☎045-319-2150/2496 (劇場)

●11月30日～12月2日
劇団疾風Do覚
「ディケイド」
リゾート地に建つ小さなホテルのオーナーが企画したミステリーツアーで何が起きる。

●12月13日～16日
劇団まぐれ倶楽部 番外バラエティ公演
「Christmasのはどうして読まないの?」
ドリンク付きで、ライブのノリを楽しめる横浜のみの番外公演。



「そこまでよ!」沙和子の声と同時に、警察署長と警官たちが現れ、清太郎ら三人を捕まえる。実は、沙和子は清太郎たちの悪事を暴くために派遣された女刑事だったのだ。



今までの全てが、沙和子の財産を自分たちのものにしようとする清太郎、菊乃、戸谷の陰謀だったのだ。清太郎は沙和子に手の傷のトリックを明かし、言う。「僕は3人の女性と結婚して、こうして財産を手に入れた。3人とも死んでしまったけど。さて、君にはどうやって死んでもらおうかな?」

歌川椎子

全ての力を握る沙和子と演じる歌川さん。最後に一人舞台に立つ姿が印象的だ。「衣裳はそうでもないけど、髪を結うと『おっ』という感じになりますね。」



うたがわしいこ 日本女子大在学中の82年、鈴木裕美、飯島早苗と共に「自転車キンクリート」を結成。以来、明るくて元気のいいキャラクターはじてキンの役者の要となっている。

最近上演の機会の多いロベール・トマ。今回は飯島早苗脚色というところで、昭和八年の鎌倉が舞台になっている。重厚な質感の洋館の雰囲気、サスペンスを盛り上げている。

「飯島から聞いた話によりますと、日本人が『ロランス』だのと呼び合うのも何だか、というところで日本。で、時代も、よりお芝居らしさを出すためにちよつと昔に設定したみたいですよ。」

歌川さんの役は、清太郎たちの悪事をあばくために清太郎の妻となっている女刑事、沙和子。

「やってて気持ちのいい役じゃないですか?」

「(笑) 大変です。出さずばりなえか!」ってことで。恥ずかしいんで、上品でたおやかで、という雰囲気、あーもう休むひまがないって感じで。それと、台詞の「……ですわ!」っていう口調に慣れなくて、気持ち悪くて……」

「沙和子が実は総てのことを仕組んでいるわけですが、途中の奥様と刑事との部分の兼ね合いとかはどうなっているのでしょうか?」

「はじめの、奥様の部分では、『刑事が演技で奥様をやっている芝居』というのはいらないです。それをやると多分ばれちゃうんじゃないかなと思う。最後に刑事であることばらすシーンでは、飯島が『遠山の金さん』の気持ちで、と言っていました。『この桜吹雪が見えねえか!』ってことで。恥ずかしいんで、上品でたおやかで、という雰囲気、あーもう休むひまがないって感じで。それと、台詞の「……ですわ!」っていう口調に慣れなくて、気持ち悪くて……」

「原作はまず金髪で、やさしげな美女というふうには書いてあるんで、『これは私の役じゃないな』と。女中の方は抜けた目なくて赤毛で、とあって、『ああ、これか!』って思ったんです。そして、鈴木木の演出で、やはり悪役は美女でなければならぬ、ということから、私の方が奥様に違いないです。『さあ、やるぞ!』って感じで……」

「歌川さんが演じた沙和子はどういう人でしょう?」

「どういう人っていうのはあまり考えなかつたんです。この芝居自体が『おごき話』なんで……」

「おごき話?」

「人間の心理がどうこう、というものじゃなくて、筋立てを見せる芝居ですから。『シンデレラ』がどういふ人かって分からないように、『私の隣にはいない人』『お話の人』みたいな思っただけで……」

「この公演で良かったことは?」

「やっぱり翻訳ものがやりたかったんで、良かったと思います。今回主宰者じゃないんで、役者のことだけ考えていいのが良かったのと、いろんな人と会えたことですね。」

「でも、歌川さんらしい、明るくて頭のいい奥様になってたと思います。今回のように、初めから脚本があるものをやる場合、自転車キンクリートのやり方とは変わってくるものですか?」

「じてキンでは、エチュードを先に一月くらいやって、エチュードで見たものにプラスして、飯島が本を書くようにしています。前作の『しっぽを掴まれた夏』でも、エチュードからそのまま作っている部分はあまりないですね。だから今回も、飯島が書いた本をやるのと、そんなに違いはないです。『さあ、やるぞ!』って感じで……」

恋すれば何でもあり

「K-1」

飯島早苗

つちやつてゝ」などと言つてゐるだけだと、読んでゐる人は、それこそ何がなんだか判然なくなつてしまつてはないか。だから私はとりあえずがんばつて話を続けるのである。それに、すぐくおどろいてゐると言つたつて、ピストルをつぎつけられてゐるとか、動き続ける時限爆弾のそばでしばらくゐるとか、そんな事態ではないから、心のスミの方で何か考へてゐる余裕はあるものである。

物語は、いまだくちづけの真最中である。

映画なんかをみていると——おことわりしておくが、くちづけの最中だろーが何だろーが、私はウダウダ話し続けさせて頂く。べつに私がキスしながらも冷静で

で、映画なんかを見ていると、というところに戻るわけだが、映画なんかを見ているとキスシーンというものは、恋人たちのお互いの気持が相当盛り上がったところに挿入されているもので、だからこそ観ている側も2人に感情移入できて、「ああ、2人ともキスができて本当によかったですね」と心から祝福でさるのである。そのへんの前置きががないキスというやつは、どーも見ていて感心できないものだ。

んじやい！」というような感情の頂点かもしれないが、通行人にとっては「いいトシしてつつしまんかい！」というようにしか見えな
い。

それから、夜の10時頃とから、駅のホ
ムで、女の子が壁にもたれてうつむいてる前
に男が立ちはだかつて、なだめてるんだか頭
なでてるんだか知らないが、いつまでもいち
やついてて、あげくの果てにキスまでしてい
る人たちがいるじやないですか。これも本人
たちにとっては、切ない一場面なんだろうが
疲れ切つて家路を急ぐ乗客には「そんなとこ
まで話が進んでるんだつたら、早いとこ人目
につかない場所へ行つてしまえ！」と怒鳴り
つけたくなる光景だ。

要するに、唐突な感情の判らないキスとい
うのは奇異なものでしかない、ということだ
私はくちづけの真つ只中にありながら、そ
んなことを思つていた。

くどいようだが申し述べておくと、私は彼
のことが好きだった。

登校してくる生徒たちの群れの中に彼がまざっていると、あつという間に見つけることができたし、廊下ですれちがうとその日一日中胸がときめいていたし、クラブ活動をやっている彼を何時間もただひたすら見つめていても飽きることはなかった。

だから、自分から告白しようと決心して、

思ひきつて言葉にし、そして彼がキスしてくれたのだから、驚きもしたがもちろんうれしかった。心臓だつてみつともないくらいドキドキ大騒ぎだつた。

「だけど、その大騒ぎの心の一方で私は思つていた。

これはまるで、街で見かける唐突なキスシーンのようだ——と。

自分が当事者でありながらも、どこか感情移入しきれないところがあつた。

その理由を、私は判つていた。

それは、彼の気持がどーなっているのか全然判らないことが原因であるのに決つていた。恋は2人でするものだが、キスだつて2人でするものだ。気持ちのひとつの表現としてあらわれる行動のはずだ。私は、そうであつてほしいと思つてゐる。

彼の気持が全然つかめないこの状態では、これはキスとは言えないと私は思う。

じゃあ何だと言われれば、ただ口と口をくつつけているというだけにすぎない、と答へざるを得ない。

くちづけの最中に話が何度も話がそれて申し訳ないが、キスと言わないで口と口をくつつけてると思うと、これはけつこつ気持ち悪いものだ。

皮膚じゃない部分が他人とくつついている、というの妙なものだ。特に口というのは、

もちろん、それも一因だろう。けれど、これは私だけが悪いんじゃない。北見の責任もある。

私が、このキスに何の意味も見出せないのは、彼がそう感じさせているのだ。

つまり――。

私は、いやな考えにぶちあたった。

私は、いやな考えにぶちあたった。
つまり、彼は私に何の感情も抱いていない、
ということにはならないだろうか。

たぶん——そんなのだろう。
私は、心から悲しくなった。
その時、彼がくちびるをはなした。
私は、大きく息をついた。
彼の顔を見あげることではできなかった。
私が、黙っていると、彼が両手を私の肩の
上にそつとのせた。
どういふつもりなのだろう。
いったい彼はどういふつもりなのだろうか。



いいじまきえ
飯島は大風邪をひいて熱がでてセキがでます。いっしょに住んでるカクギの弟は「うつすんじゃないか」と話してくれませんが、こばやしじんこ病院で自分の症状を記入して書いたら、次に行った時先生に「(若い♡)に「プロの方に言うのもなんなんです、わかりやすく」とほめられました。(名刺渡せばよかった)」

ニチレイ・アセロラ シアター
劇団 ONLY クライマックス

大好評!! 北野ひろしが描く「家庭の問題」シリーズ最新作!!

あ・い・ま・い

家庭の問題 Part

ル
Tel. 03-546568

後援：産経新聞社
協賛：(株)ニチレイ

劇団 ONLYクライマックス
CAST・STAFF
募集

応 募 方 法
履歴書を下記住所までお送りください。
折り返しご連絡いたします。
〒156 世田谷区大原2-13-16メゾン福原201号
劇団ONLYクライマックス
事務局 永沼 03(327)2039 まで

SFカブキロマンで、未来を見つめる。

「雪之丞変化2001年」は、古典歌舞伎、現代劇、SFがゴージャスに溶けあって、これぞまさしく二十一世紀の新しいカブキ、でした。この舞台で美しいヒーロー&ヒロインを演じた、中村信二郎さんと市川笑也さんにインタビュー。

中村信二郎 ユキヒコ

普段は立ち役（男役）の信二郎さんが女形の役をやるのは苦労しましたか？

「女形になってないからどうしても立居振舞いとか荒々しくなっちゃって、衣装の裾が開いてきちゃうし、あと声の出し方とかも苦労しました。でも形は女だけ、気持ちには男なわけだから普通に自分の気持ちでできましたね」

現代劇の部分はどうか？

「現代劇の部分のセリフを、現代的な自然な言い回しでやったら歌舞伎役者がやる意味がなくなるので、歌舞伎調のセリフ回しでやろうということだったんです。だから特に現代劇ってことは気にしてないですね」

横内謙介さんの戯曲については？

「歌舞伎役者が好むような、うたいやすいセリフが多いですね。自分でセリフ言ってる酔っちゃいますよ。自己陶酔すると気持ちが入らなくなるのでいけないんですけど。横内さんの戯曲は人間らしさを浮き彫りにしてるところがいいと思います。最後に自分の本当の姿を出してるってところが共感できますね」

二十一世紀歌舞伎組のいいところは？

「普段の歌舞伎の舞台では、先輩のやってきたことの真似から入るわけですけど、二十

一世歌舞伎組の場合はオリジナルですからね。オリジナルをやる楽しさとチームワークの楽しさがあります。それに、この舞台にでると、今度歌舞伎の舞台にでたときにその他大勢の中にも光るんですよ。これは不思議なんですけど、技術的にどうこうってことじゃなくて、一度いい役でお客さんに拍手もらうと、自信がつくし目の輝きも違ってくるんです」

今度、二十一世紀歌舞伎組でどんな芝居をやりたいですか？

「これから力をつけて、古典歌舞伎でもお客さんが入るようにしたいですね。古典歌舞伎もオリジナルも両方できる劇団にしていきたいです」

市川笑也 タカミヤ

浪路をやるときの気持ちは？

「生き方が本当に昔の女性っぽいんですよ。それは僕が出しやす女性の方なので、前回演じたみず姫ほど悩まずにすみしました。でも雪之丞は女形だけ浪路は女ですからね。ホント言うとなんか僕がやるのは女形までなんだろうし、と思ってたら、手法は全く女形で構わない、心理が女であればいいって言われて、なんとかできました」

普段は女形の笑也さんが現代青年タカミヤをやるのはどうでしたか？

「現代の男役は初めてなので大丈夫かなと心配したんですけど、気持ちとしては、去年NYで、M・バタフライをみて演出かえてこいうのやりたかったって思ってたので。舞台上で浪路がタカミヤにバツと変わってみせるところは、だいたいM・バタの感じがあつたんです。あと、タカミヤは医者さんなんので、専門の外科医の方に手術の手順を教わったんですよ。手術のシーンで、患者にメスを入れるのが右手だと客席にお尻をむけることになるってことで、左ききで設定したんです。僕は右ききなので左手でゴハン食べるようにして訓練しました（笑）」

猿之助さんの演出ポイントとは？

「動作と気持ちから入りましたね。気持ちの流れとか、このセリフで何をたてたせないと次のセリフが言えない、みたいなことを積みあげていきました」

今後、二十一世紀歌舞伎組でどんな芝居をやりたいですか？

「お客さんに楽しんでもらいたいのばかりやすいものやりたいですね。我々もこれから新しいものにチャレンジするには、時代の流れに沿っていろんなことを勉強していかないと。歌舞伎だけやってればいいってわけにはいかないでしょうし。これからミュージカルっぽいものやれるかもしれないし、オペラが入ってくるかもしれないし、タップダンスとかできるかもしれない（笑）」



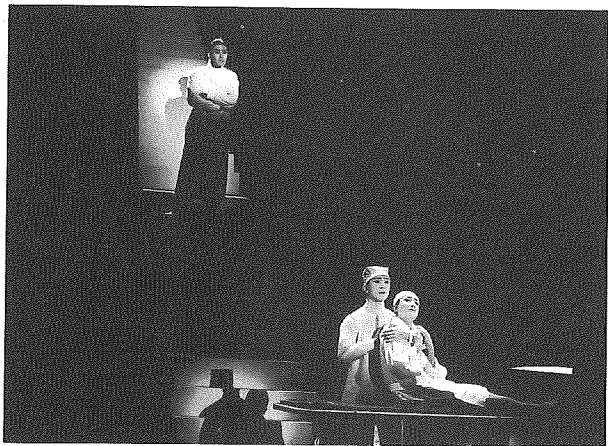
父の敵討ちのため、女形雪之丞に身をやつした雪太郎(信二郎)。敵の娘と知って浪路(笑也)に近づく。だが、いつか真実の愛に。



敵一味から逃がれる二人を救ってくれたのは、前世で雪之丞に助けられたという異星人(右近)。この星で二人で幸せに暮らせと語く。



自分の父が、雪之丞の憎い敵と知り、自分の中にも恐ろしい血が流れていると嘆く浪路は、来世でまた会うことを願い、自ら命を断つ。

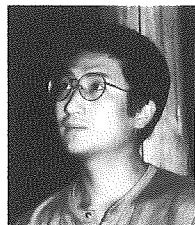


2001年。一人の渾身の青年は雪之丞の生まれ変わり。その彼を救ったのは浪路の面影を持つ医師タカミヤだった。彼らを見守る闇太郎。

9月8日～24日◎渋谷PARCO劇場
脚本・横内謙介 演出・市川笑也 市川右近 他
出演・中村信二郎 市川笑也 市川右近 他

Text▶庭植奈穂子

雪之丞と浪路の
ラブ・ストーリー
雪之丞は父の敵討ちのために人気一座の形勢として江戸に入るが、いつか敵の娘と愛し合うことになる。やがて敵の正体を知られた雪之丞は、前世の自分に助けられたと語る異星人によって窮地を救われるが、浪路は愛する雪之丞の敵が自分の父であることを知り自害する。雪之丞もまた、敵を討った後浪路の後を追う。
2001年、雪之丞が生まれ変わった年は自決しようとして事故をむす。その彼を救った青年医師の面影は、浪路その人だった。



中村信二郎 昭和三十三年東京生まれ。四世市川右藏の次男。幼くして歌舞伎の才能を発見。市川猿右衛門の門下。二枚目・三枚目の立ち役をこなす。その後は父の面影を。



市川笑也 昭和三十三年東京生まれ。全く歌舞伎とは縁のない生活から、高校卒業後、国立劇場歌舞伎俳優養成所に入り、修了後市川猿右衛門の門下。六十一年の「ヤマトタケル」で役を射止めて、以降女形として活躍中。

勝手におすすりコーナー
中村信二郎 義名披露口上
上方歌舞伎の歴史書といわれる中村信二郎の義名披露口上。中村信二郎の義名披露口上。上方歌舞伎の歴史書といわれる中村信二郎の義名披露口上。上方歌舞伎の歴史書といわれる中村信二郎の義名披露口上。



11月1日◎歌舞伎座

三日月の夜に鷹谷那智と披露
吉例 顔男と大勢舞伎
11月1日初日 25日
好評前売中!!
電話予約センター
03(5715)1100
御観劇料(消費税別)
1000円(1000円)1000円(1000円)1000円(1000円)
扇雀改め 三代目 中村信二郎
河内 治兵衛

夜の部 午後11時開演
一、谷 嫩軍 打門記
二、吉 原 雀 打門記
三、伊左衛門 廓 文 雀 打門記
四、新歌舞伎 鏡 獅子 打門記

夜の部 午後4時30分開演
一、壽 曾我 対面
二、三代目 中村信二郎 披露口上
三、心中 天網 島 庄
四、釣 河竹 黙阿弥 作

歌舞伎座
●地下鉄「東銀座」駅下車・電話03(541)3131代

100% 高校演劇

1990年・夏の巻

今年の夏は暑かった。自由に、そしてしたたかに、
思いつき大ステージを駆けぬけた
若者たちの夏もまた、うれしくなるほど熱かった…！

文・構成 きりがやなおみ



青森県立八戸北高校「演劇とはなにか…」発声、体操、ミーティング…リアルタイムで繰りひろげられる演劇部の1時間。元気いっぱい真剣に芝居を愛する部員たち。演劇ぶっくも登場させていただきまして感謝です。

写真提供・サシナミ写真館(八戸市)

◎演劇とはなにか…

僕らは
僕ら自身で
あるにすぎない
そこから
どうやって
遠くまで
行こう…

暗闇の舞台、若者たちの声を押さえたシユプレヒコールと、手にした小さな蠟燭の灯りが心にしみた…。

国立劇場で見た、高校演劇のコンクール全国大会最優秀賞、青森県立八戸北高校演劇部の『演劇とはなにか…』のラストシーン。舞台は演劇部。自分の役を自分で演じる。コンクールでどんな劇をやるか、という話し合いで、ストーリーが進んでいくこの芝居は、演劇部の卒業生が書いたもの。劇的なことは何ひとつ起こらない。けれども、生き生きとそこに存在する彼らはそれだけでドラマチックで目が離せなかったんだ。

『大会に出す演劇とはなにか』『審査員にうける演劇とはなにか』『お客にウケる演劇とはなにか』…青森弁で語られる話し合いは正直で楽しい。時おり入るモノローグは青春してて胸にジーン。…人が何かを「やる」のを芝居にするんじゃないか、人がそこに「いる」という芝居ができないかな…そんなことに気づいた彼らが素敵にカッコイイ。そして、ラストの静かなシユプレヒコール…感動…。

◎めざせ、グロップ座！の夏

今年の夏から、『高校演劇フェスティバル』が東京グロップ座で、国立劇場では『全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演』（あゝ長い！）が開催されることになったのです。

下町演劇祭'90

下町演劇祭'90
SHIBAMACHI THEATRE FESTIVAL '90

■下町演劇祭オンライン特別企画
ロッキーマシン&ライブ'90
日時▶11月2日 4日 連日19:30
会場▶常盤座
料金▶前売¥2,000 当日¥2,200 3日通し¥4,000
☎(03)775498



【常盤座】

■第2回日韓行楽芸術祭
「韓国と日本のフオーアの交流と公演」
日時▶11月10日 11日 連日19:00
会場▶常盤座
料金▶前売¥2,000 当日¥2,200 3日通し¥5,000 全日通し¥10,000
☎(03)3815498

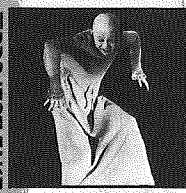


■黄金劇場
「ともあれあれクロート・電ドロボ」
日時▶10月30日～11月4日 連日19:00
料金▶前売¥2,500 当日¥2,800
会場▶大勝館
☎(03)368-1018

■二瓶館
「O 地獄に二重螺旋を一本引いた」
日時▶11月7日～11日 連日19:00
会場▶大勝館
料金▶前売¥2,000 当日¥2,200
☎(03)305-8993



■美乱
市街戦NO2 五感+α
日時▶11月4日 16日 25日 12月2日 毎日19:00
会場▶浅草花やしき
料金▶前売¥1,500 当日¥1,800
☎(03)4635572



■PROJECT FAKIE 闇操
「FAKIE #4 盲の舞ひ魂」
日時▶11月20日 21日 連日19:00
会場▶木馬亭
料金▶前売¥2,300 当日¥2,500
☎(03)7890035



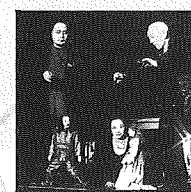
■若名雅記独舞
「生成 なまなり」
日時▶11月22日 24日 連日19:30
会場▶木馬亭
料金▶前売¥2,500 当日¥3,000
☎(03)5052406



Tokyo International Theatre Festival '90
東京国際演劇祭'90
下町演劇祭



■黄色舞伎団2
B-dance 3108
日時▶11月15日 16日 連日19:30
会場▶常盤座
料金▶前売¥2,500 当日¥2,800 同V2,300
☎(03)3815498



■結城座
「マクス」
日時▶11月22日 25日 連日19:00
会場▶常盤座
料金▶前売¥3,500 当日¥3,800
☎(03)3815498

【大勝館】



■セリフ23
「歌者の異常な愛情2 ロシヤの蛮人」
日時▶11月15日～18日 連日19:30
会場▶大勝館
料金▶前売¥2,000 当日¥2,300
☎(03)331-3290

■上海劇場
「五つの心臓を持つ機械」
日時▶11月21日～22日 24日 19:00
11月23日 25日 14:00&19:00
会場▶大勝館
料金▶前売¥2,300 当日¥2,500
☎(03)335-1152

【木馬亭・街頭】

東京国際演劇祭'90・下町演劇祭

期間▶1990年10月30日(火)～12月2日(日)
会場▶浅草 常盤座・大勝館・木馬亭 他
主催▶東京国際演劇祭 下町演劇祭実行委員会
東京・下町ライブ計画実行委員会
後援▶浅草観光連盟 浅草商店連合会 六区ブロードウェイ商店街 浅草おみくじ会 産経新聞社
協力▶大千建設グループ 株式会社大勝 運営資金協力 東武鉄道株式会社 アサヒビール株式会社 株式会社テンプリント 株式会社フェイス 企画協力▶ぴあ株式会社
問い合わせ▶(03)288-5939(下町演劇祭実行委員会)
電話予約▶(03)5237-9999(チケットぴあ)





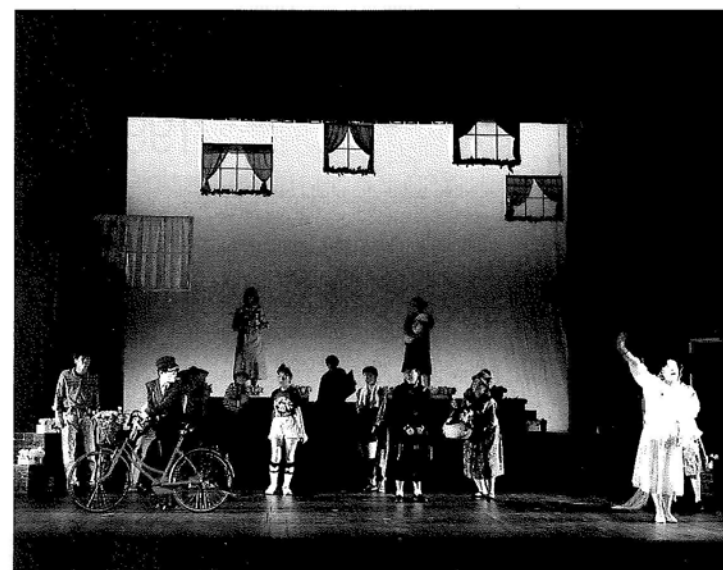
群馬県私立共愛学園高校『いつか見た夏の思い出』夏休み明けの教室、宿題を出さない生徒がひとり…。夏休みの森の中には不思議なものだていつぱい、元気いつぱいの少女たちに漂う、懐かしき切ない「夏休み」の匂い。



埼玉県立坂戸高校『おたまじゃくしはかえるのこ』難解な別役芝居を見事にこなし、「俺たちの芝居がみんなの心にどう映ったか知らないけど、俺らはここで最高の芝居をやったつもりです。」芝居後の挨拶もカッコイイ!



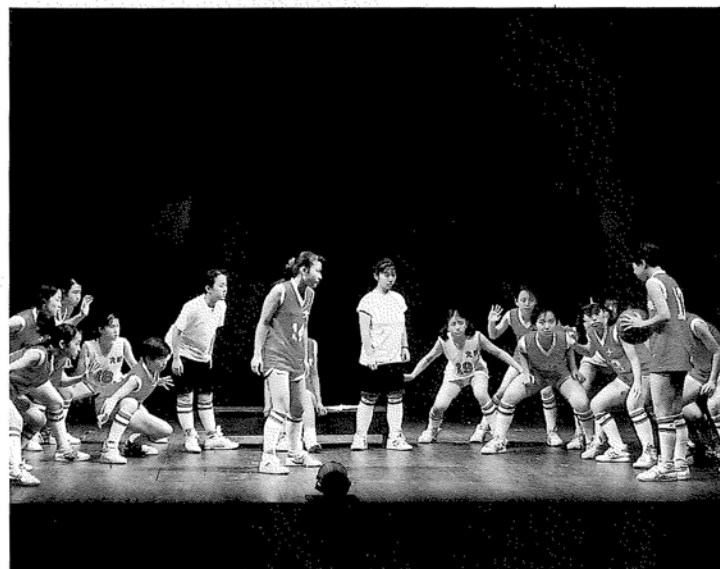
神奈川県立湯河原高校『OK マイ・ティーチャー2』学校の先生たちに不満いつぱいの生徒たち。過去に戻る装置で先生に仕返し?楽しさいっぱい、ダンスも元気いつぱい、芝居後のパシリパフォーマンスもお見事!



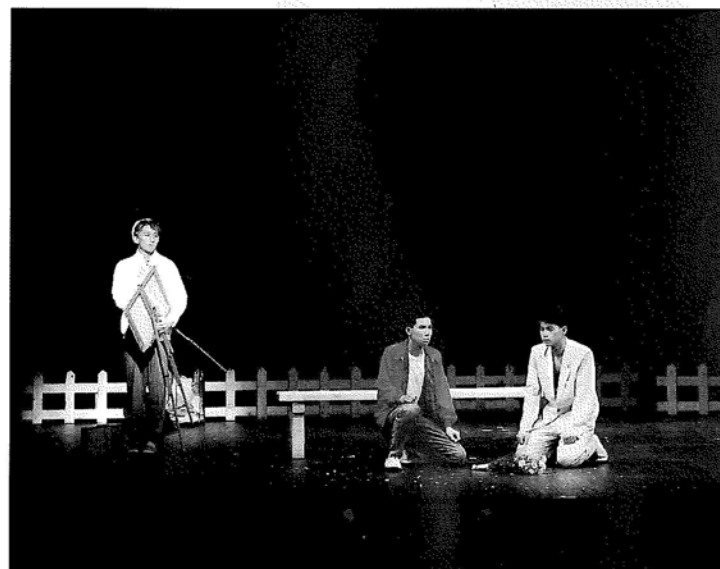
千葉市立稲毛高校『Please Mr. Postman』演劇部作の名作/浪人生の孝ちゃんを励ます「菜の花郵便局」のあつたかくて優しい局員さんたちの物語。郵便局は消えてしまったけど、清々しい感動はいつまでも心の中に…。



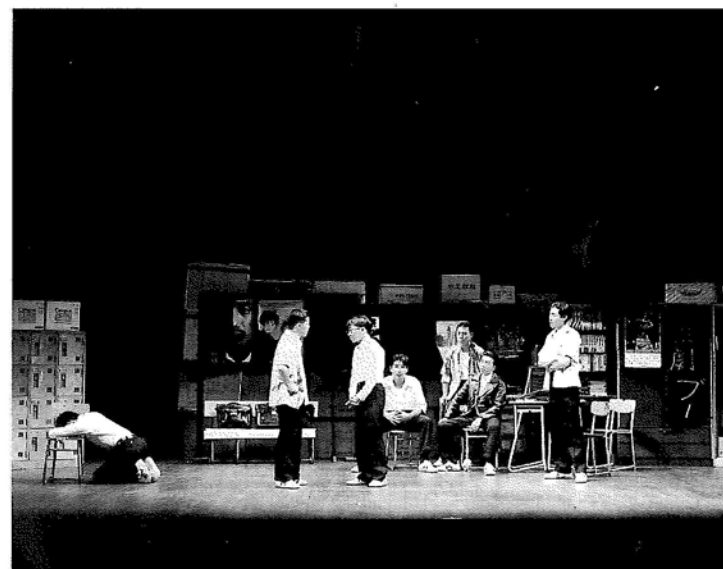
東京都私立日本大学付属鶴ヶ丘高校『超活劇一時中断!ハムレットはマクベスを殺せるか?』ハムレットと「マクベス」二つの悲劇がひとつになったゼータ芝居。水泳のゴーグルをつけたフォーティンブラス登場!



東京都私立大妻高校『ゲイジャーズ』ゲイジャーズとはバスケットボールを愛するものたちのこと…。弱小バスケットボール部の試合当日の物語。集団シーンの構成はカッコよく、躍動感あふれる舞台から目が離せません。



静岡県立沼津工業高校『ある出会い』「生徒たちにまかせてます。」と優しく笑う顧問の土屋先生の作品。踊りが好きな少年二人と、心臓病の少女の出会い。そして少女の死によって、少年たちは少しおとなになります…。



東京都私立明治大学付属中野高校『男たちのサバイバル』部員の少ない男子校演劇部。無口な少年西野君の自閉症を暴走族の芝居で直そうとする部員たち…。「ママに言いつけてやる!」の池谷君は助演男優賞をあげたい。

「辛いことから逃げださないで、その結果、いい成績を残せて、『夏の思い出』は本当にいい思い出です」

そして顧問の荒井先生登場。

「年代の違う今の子どもたちが昔を思い出すっていうのじゃ浅いわけですよ、もとの台本から考えれば、だけでも結果的に、遺伝子の中の懐かしさみたいなもので含めて出てきたような感じがちよつと見えたんで嬉しかったな」

コンクールは「必要悪みたいな感じ」と言う荒井先生は「全国大会は出ればいいっていう気持ちでやっただけです。みんながやってく度にどんどんいろんなものを発見していくのがおもしろかったですね」ともあったかい声で顔で微笑んだ。みんなで成長させていった『夏の思い出』のおもいで…。

「『夏幻想』っていう詩を読む場面があるんですけどね。あそこになるのがいつも劇やっていると途中で楽しみで…。みんなが読めますよね。聞いてると嬉しくなっちゃう。一番好きです」

『夏幻想』の朗読:永遠の夏休みが繰り返されるラストシーン。ひとつの机に寄り添って彼方を見つめる少女たちの瞳に光る涙…

「嬉しいとか楽しいとか、そういう簡単なじゃないんだよね。わかんないけど、ドーって(笑)」

「夏休みのさ、最後のセリフがあるじゃない、素敵な夏休みの思い出がたきさんでできるといいますね、なんか今と重なっちゃって…」

「今の時点の気持ちからすると、すごくバアちゃんになって、人生の一番の思い出は?って聞かれたら、『夏の思い出』をやったことって、クサイな(笑)…。言うんじゃないかな。もつともつという思い出ができるかもしれないけど、今は…」

「いつか見た夏の思い出」から少女たちがいつか見るだろう『夏の思い出』が生まれた。

1990年・夏は—ゆく—

グローブ座には関東地区の演劇優秀校8校が出場。大舞台に負けないのびのびとした演技がいいね。大妻高校の『ゲイジャーズ』はバスケット部の話。スピード感溢れる舞台が素晴らしいかったな。国立劇場では、山梨県で開催された高等学校総合文化祭の優秀校が、演劇や郷土芸能、日本音楽などを披露。高校演劇コンクール全国大会はこの総合文化祭の演劇部門なのですね。

この突然の高校演劇特別ヒキはなんかアヤシイ…。だけど会場に行ってみれば、『高校教育の一環として』なんていう大人たちの企てをサリリと受け流して、若者たちは思いっきり大舞台を楽しんでいたのです。そして、生徒も先生もお客さんも私も、結局みんな高校演劇が大好きなんだ!

◎Forever・夏の思い出

「国立劇場の公演の最後の幕がしるる時に、『フラボー!』っていう声が聞こえたんですね、客席から。すっごく嬉しくって…」

全国大会、東京グローブ座、国立劇場:大勢の観衆を魅了した、群馬県の共愛学園演劇部の『いつか見た夏の思い出』。二学期の教室の楽しい授業、夏休みの森の中、懐かしい夏休み前の教室:キラキラ元気でノスタルジックな、劇団青い鳥の市堂令の戯曲を見事に演じきった少女たちに聞いた夏の思い出…

「いろんな所で、いろんな人に見てもらっていろいろ反応がもらえて、自分がじゅうぶん満足できた。それが一番嬉しかったです」

「他の学校の人たちが見ても楽しかった劇をプロの人とかに見てもらえる機会ができたんで、もう最高!」

「本番とかになると、いきなり雰囲気が変わって、ボンボンってよくなつていったりするから:そういう時はもうスタッフ全員、ものすごく楽しくなっちゃって」

「しだいに舞台がでんでんって大きくなって、それにつれてお客さんの数もふえて拍手とかいっぱいもらって、その度になんか、ヤッテヤル!みたいな一歩一歩階段をのぼっていったような感じ…」

「辛いことから逃げださないで、その結果、いい成績を残せて、『夏の思い出』は本当にいい思い出です」

そして顧問の荒井先生登場。

「年代の違う今の子どもたちが昔を思い出すっていうのじゃ浅いわけですよ、もとの台本から考えれば、だけでも結果的に、遺伝子の中の懐かしさみたいなもので含めて出てきたような感じがちよつと見えたんで嬉しかったな」

コンクールは「必要悪みたいな感じ」と言う荒井先生は「全国大会は出ればいいっていう気持ちでやっただけです。みんながやってく度にどんどんいろんなものを発見していくのがおもしろかったですね」ともあったかい声で顔で微笑んだ。みんなで成長させていった『夏の思い出』のおもいで…。

「『夏幻想』っていう詩を読む場面があるんですけどね。あそこになるのがいつも劇やっていると途中で楽しみで…。みんなが読めますよね。聞いてると嬉しくなっちゃう。一番好きです」

『夏幻想』の朗読:永遠の夏休みが繰り返されるラストシーン。ひとつの机に寄り添って彼方を見つめる少女たちの瞳に光る涙…

「嬉しいとか楽しいとか、そういう簡単なじゃないんだよね。わかんないけど、ドーって(笑)」

「夏休みのさ、最後のセリフがあるじゃない、素敵な夏休みの思い出がたきさんでできるといいますね、なんか今と重なっちゃって…」

「今の時点の気持ちからすると、すごくバアちゃんになって、人生の一番の思い出は?って聞かれたら、『夏の思い出』をやったことって、クサイな(笑)…。言うんじゃないかな。もつともつという思い出ができるかもしれないけど、今は…」

「いつか見た夏の思い出」から少女たちがいつか見るだろう『夏の思い出』が生まれた。

1990年・夏は—ゆく—

DATA: "ENDANGERED SPECIES" Concieved and Directed by Martha Clarke,
at the BAM Majestic Theater. 1990年10月2日~11月4日
Photo-Martha Swope. George Lange

鈍い太陽を黒雲がおおいかくしたかの
ような黒い空がバック一面にあり、その
中央に白く大きな両開きの扉がしらえ
られている。暗転するときおろぎと梟の
鳴き声が聞こえ、やがて一筋の光がステ
ージ斜め後ろから右手前方にくつきりと
射す。身の丈よりほるかに長いコートに
裾をひききつて小人が一人、光の筋の中
を四つん這いになって進んで行く。やお
ら白い扉が両開きになり背後の美しい光
の中を一頭の象が左から右に駆け抜ける
これが冒頭のシーン。

演技が終わる役者や動物たちがステ
ージに並んで拍手を浴びる。白い扉が開く
と、象が鼻高々に、ポーズしている。た
っぷり拍手を浴びた後つと鼻を伸ばして
ノブをつかんで扉を締め姿を消す。これ
が終幕。

さて問題は、この鮮烈な始まりと終わ
りの間に起こったことともなのだが、断
片的には強いはずのイメージが夢の破片
のようにくり捻げられ、ひとつひとつの
破片が平たく遠い、それがマー・クラ
ークの「ENDANGERED SPECIES
（絶滅の危機に瀕した種属た

ち」を見ての私の印象だ。

マーサ・クラークはダンス畑出身の人
ももとはダンスサーで振付家だったのだ
が、70年代半ばからバフオーマンズの作
品を作るようになり、80年代になってか
らは新しい音楽劇（ミュージック・シア
ター）を模索する「ミュージック・シア
ター・グループ」というグループと組ん
で意欲的な作品を手がけてきた。中世の
画家ボッティチの天国と地獄のイメージを
舞台に乗せた「THE GARDEN
OF EARTHLY DELIGHT
（地上の喜びの庭）」や画家のクリムト
やシレー、精神分析のフロイドからのイ
ンスピレーションをもとに世紀末のウイ
ーンをテーマにした「VIENNA・L
USTHAUS」など、筆者は見逃して
きたのだが、ダンスと音楽、ことは、照
明を使った夢の世界のような活人画とし
て高い評価を得てきた。今回の「END
ANGERED SPECIES」には
いわゆるダンスのような動きはなく10人
の人間と7匹の動物が登場し朗読調のせ
りふや動作やアカペラの歌がある。背後
の音楽はこころぎのほか、犬などの吠え

声、ドイツ語の哀歌が時に流れる。いわゆる筋といったストーリーはなく時に他のイメージと連なった、時に独立のイメージが次々にわきおこる。人々の動きは歩く、這う、走るというものからエモーションナル、あるいはアクロバティックなものまで。例えば男が綱渡りをする。素つ裸で空中ブランコにぶらさがり大揺れして壁にぶつかって落ちる。馬が駆け足で走り男や女が曲乗りする。黒人の男が椅子にすわり金髪の少女の様な女性を膝にのせ股をおしひらき恥部にさわり、次に少女が男を受入れるおしい胸への愛撫がある。死体となつて椅子にすわつた女が椅子ごと後ろに転倒する。黒人の男をこれでもかととなり倒す男。銃撃を受け逃げ場を求めてかけめぐりながら次々に撃ち倒されていく人々。

使われているテキストはホイットマンの「草の葉」。アメリカを代表するこの詩人の作品を私はまだ読んだことがないのだが、このパフォーマンスに使われた断篇からうかがうに、命からがら逃げてきた逃亡奴隷や南北戦争のいるいたる死骸、死や残虐、抑圧や欲望、文明を歌

ったこの詩人は俗物のように世間にのめりこみ、その中に天国と地獄を見ながら魂の自由を守り続けようとした男のように聞こえる。そして（もし私の聞き間違えてなければ）人間のやらかす愚かさにうんざりしながらそれでも、動物たちと一緒になら、あるいは動物たちがいてくれたら、生き延びていけるような気がする、とつぶやくのだ。

ENDANGERED SPECIES

ESの舞台で何よりも美しいのは動物たちだ。長く広がるかつらのような尻尾を持つ白い馬、優雅な栗毛、真つ白な小馬、そして気品に満ちた象、白い扉の後ろで金髪少女のやうな女性に覆さるゝた象の耳の下にもぐり、栗毛の上でまるで自慰行為にふけるかのようになっている胴体から首に身をすりつける。そう、この舞台で生命の中心は動物たちだ。訓練を受け尊敬に満ち優美な動物たちは人間たちの理想を体現するユートピアの生物だ。彼らが舞台の前面に現れる時彼らが、かすかに発する動物の臭いは生命の存在感をふりまくかのようだ。それに比べて人間たちのなんとひよわなこと。動作自

体には例へばビナ・パウシユに通じるものがあるはずなのに、ここに欠けているのは闇と叫びだ。もつと気障に言へば表は魂の奥行き。絶滅の危機に面している現的な闇と、沈黙のような叫び。つまり種、象を象徴的に使ってマーサ・クラークが描こうとしたのが人間という種の危機だとしたら、この人間たちはすでに危機の叫びをあげる力さえ持たない。10人機の類型的な登場人物を使って描かれる人間たちとその関係の類型。子供、老人、青年、白人の女と黒人の男、恋人、エロティックな少女、母、恋に狂った女、暴力的な男、瞑想的な男……。嫉妬、暴力、誘惑、性欲、隷属、嘆き、希望……。だがそれらは類型にとどまり生々しい声を響かせてこない。もちろん生々しい声を響かせないという表現は可能だ。だがそれなら魂の叫びのようなホイットマンの詩を使い、時にその詩にびつたり添うようなイメージを使うのはどうしたわけか私にはわからない。



動物たちとならば

「マーサ・クレークの絶滅の危機に瀕した種属たち」

『昼も夜も愛しく思う私の彼が死んだと聞く夢を見た。愛しい彼が埋葬されたという場所に行ったけれどそこに彼がいないという夢を見た。彼を見つけようと埋葬地を彷徨う夢を見た。そして気がついてみるといたるところが埋葬地なのだ。生命に満ちた家は生命と同じだけ死に満ちているのだった。』——ホイットマン「草の葉」より

熱く強いダンスを!

正確な筋肉の使い方知らないダンサーに
いったい何が踊れるのだろうか?

エクササイズを振り付けを舞台を本当の意味で楽しめる豊かな人間になることがよりよいダンサーへの近道として息の長いアーティストへの近道なのです。それは、貴方にもできることなのです。意味のない苦しいだけのレッスンや外面だけの楽しいダンスに終止符を打ちその前に必要なプレパレーションダンスに目覚めて欲しいと強く思うのです。踊れる幸せや、身体の変化を楽しめる幸せは、貴方自身が切り開き勝ち取るもの。そしてバレエジャズファクトリーはその幸せへのアドバイザーです。いつも貴方自信が主役なのです。いつまでもそのことを見失わないでください。又、カンパニーハーツのスタジオ バレエジャズファクトリーは3つの目的をもって設立されたもので1つは、役者の方や趣味としてレッスンされている方、健康のためにレッスンされている方々でも、基本からわかりやすくしっかりと学べるスタジオをつくることを目的としており、必ず新しい発見を感じるとともに、1レッスンごとに上達していく自分に気付くこととして。2つめは、バレエを基本にモダン、ジャズも踊れるプロダンサーの育成を目的としており、世界にうけるカンパニーづくりのベースである、幅広い表現力を持つダンサーの育成をカンパニーハーツオブバレエアカデミー (ジュニアクラスとして王子にてスタジオを開設) とともに目指しております。3つめは、負担の軽減で当スタジオでは、体験レッスン費用、入会金、消費税は、いっさいいただきませんので、1レッスンだけでも今行っているレッスンと平衡してぜひ参加することをお勧めいたします。必ずやあなたを満足させることとして。

CO. HEART'S
OF
BALLET JAZZ
FACTORY

お問い合わせ、資料請求は
カンパニーハーツ事務所まで!!

※資料請求の際は、62円切手2枚同封の上
住所、名前を記入して、お申し込み下さい。

事務所
〒114 東京都北区東十条3-1-14-505
☎03-927-9727

スタジオ
〒160 東京都新宿区北新宿2-1-15
新宿村スタジオ内 CO. HEART'S
☎03-361-5946

サヨナラ公演という大イベントは、 明るく泣けるラストシーンで終わる。

●公演予定▶12月1日〜26日●東京宝塚劇場
「江戸切絵—川霧の橋」ル・ボアゾン 愛の媚薬」
出演▶剣幸 こだま愛 涼風真世 他宝塚歌劇団月組



「ル・ボアゾン」の剣幸と涼風真世

宝塚の、特に月組の仲間たちと離れること
だけは、やっぱり寂しいようだ。「家庭的で
口に出して言わなくても通じ合える場所だか
ら、又ノノと10年でも20年でも居てしま

12月はいよいよこの大イベントのファイナ
ー。この9月18日、すでに本拠地宝塚ではサヨ
ナラ公演をすませた。イベントの一つが終わ
ったという感覚の方が強かったというが、黒
い紋付きに緑の袴という正装で大階段を降り
た時に、「あ、この階段を降りることは、も
うないんだと実感した」

「寡黙で口べたな役なんですけど、それだ
けに、今までの辛さとか悲しさとか愛情とか
思いのたけがぜんぶその一言に入っている」
「明るいのになぜか泣ける、そんなラストシ
ーンは、どことなく中畑の引退ホームランの
ように、もしかしたらこれが剣幸の引退の美
学。ふつと、そんな気がした」。

宝塚月組のトップスター、剣幸が12月の東
京公演で退団する。この人の退団発表の時の
話が面白かった。昨年の日本シリーズで大ブ
アンの巨人の中畑選手が見事に現役最後のホ
ームランを打ったのを見ていたら、ふつと自
分の退団ということが心に浮かんだという。
スポーツマンの美学はどこか宝塚の男役の美
学に通じるところがあるのだろうか。

本人もいきなり決心したというだけに、フ
アンにとっては驚きに水。中畑選手ホーム
ランは相当フアンのうらみをかたたらしく、
「中畑さんには申し訳なくて」と恐縮する。
トップスターになった時から退団の時期を
考え始める人もいるというが、大地真央退団
のあとを引き継いでから5年、目の前の一本
一本をとにかく大事に考えて、気がついた
ら5年という感じだったという。

そう、それだけに、あえて次のチャレンジ
をしたいという。
男役としては小柄な164cm。体重は非公開だ
が、45kgあるかないか?ぐらいの細い体で
16年間休演なし。肋骨を折った時も休まずに
出ていたという人。舞台では小柄さをハンデ
イに感じさせないフアイトと包容力で、ファ
ンを魅きつけてきた。代表作「ミイ&マイガ
ール」のロンドンのチンピラ役をはじめ、
「南太平洋」の子持ち男性、「新源氏物語」
では若い頃から中年までの光源氏など、とに
かく作品も役柄も多彩。「一つの色に染まり
たくない」とことはつきり思っていました。



「川霧の橋」の剣幸とこだま愛。こだま愛も同時退団する。

Colored Voice
Sisters
●
No.8
●
Text▶榎原和子 Photograph▶高橋麻希子



剣 幸

つるぎみゆき 宝塚歌劇団月組。富山市出身。魚座。O型。'74年4月初舞台。同期に
花組トップの大浦みずきや退団した遥くららなどがある。出身が工業高校ということで話
題になるが、学校では「製図とかが退団で体を動かすのが得意な体育会系だった」。演劇
部から宝塚入り。「水を得た魚のように舞台が楽しくて」、すぐ頭角を現す。「歌もダン
スも芝居も大好き。でも退団後はとりあえず1年ぐらいボーッとする」

サド侯爵夫人

●作▶三島由紀夫 演出▶ソフィ・ルカシェフスキー
 出演▶篠井英介 若松武 十川稔 陰山泰 野村耕介
 荒谷清水 10月5日~21日●水戸芸術館ACM劇場



今回の私の作業は日本的なものとフランス的なものを結合する試み。

S・ルカシェフスキー

Interviewer▶山口 猛
 Photographs▶宮内 勝



水戸芸術館で上演された「サド侯爵夫人」。演出はソフィ・ルカシェフスキー。フランスのシャイヨー国立劇場で演出した時も、全員男に演じさせ、高い評価を得たが、今回は日本の俳優に演じさせるという試みで、どうなるかという懸念もあったが、三時間の舞台は飽きさせないものだった。

何より、興行きのない平面的な舞台と橋掛かりを効果的に使用し、サド侯爵夫人を演じる篠井英介と、彼女の母親であり、サドを監獄に二十年閉じ込めたモントルイユ夫人を演ずる若松武が好演。

「三島の作品は、マリヴォの作品に似ているが、彼は女が女を演じるだけでは出来ないようなところまで描いている。元々、歌舞伎には女形の伝統があるし、特にサド侯爵夫人は男のほうが明快になるでしょう。何より、フランス語版「サド侯爵夫人」の序文に、男

優へのオマージュとして書いてあります。しかし、彼の作品は豊穡で、これまでにないサド侯爵夫人を通して歴史を見るという視点に立っていて、それに私は強くひかれました」

しかし、演出作業において、言葉の障害というのは、彼女にとっても大きかったようだ。それでも、外国で仕事をするのも多い彼女は、演劇の根底にある共通項、感情の動きといったものを軸にして演出していく。

「フランスの場合には、二週間前から言葉の正確なニュアンスのチェックをするけれども、外国の場合には、それができないし、それが演劇の限界になる。その分、俳優との信頼関係が大きくなる。しかし、この作品の舞台は、フランスの物語だから、フランス人が演じると、距離がなくスツと入っていく。だけど、日本人でいうと距離感があるから、歴史を対象化する時には、日本人でやる時のほうが新しい発見がある。ただしカトリシズムの問題といった宗教的なことが絡むと、そこまで感じさせることは難しいですね」

終始、ハスキーな声でせわしく語る彼女だが、鈴木忠志の下で学び、影響を受けただけにセリフにしても書かされた幕を始め、フランスの時の舞台とは違ってきている。

「舞台を平面的にしたことにしても、歌舞伎と同じ直線的なものを狙ったところ、高い空間の中で、俳優の存在感を際立たせるためです。つまり私の作業というのは、日本的なものとフランス的なものを結合する試みです」



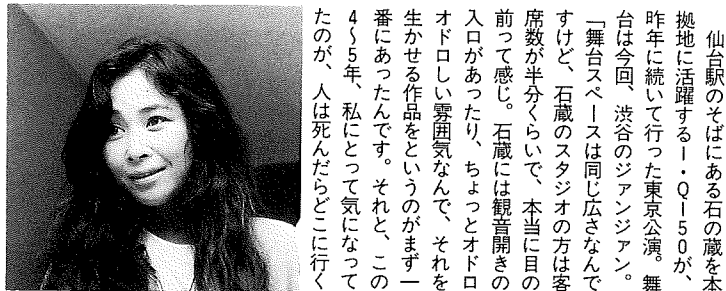
V · O · I · C · E · O · F · C · R · E · A · T · O · R

Juvenile



時を超えてなお、めぐり会いたい。
憧れと願いで描いた永遠の恋物語。

丹野久美子 たんのくみこ



仙台駅のそばにある石の蔵を本拠地に活躍するI・Q150が、昨年に続いて行った東京公演。舞台は今回、渋谷のジャンジャン。「舞台スペースは同じ広さなんですけど、石蔵のスタジオの方は客席数が半分以上で、本当に目の前って感じ。石蔵には観音開きの入口があったり、ちよっとオドロオドロしい雰囲気なんです、それを生かせる作品をというのがまず一番にあったんです。それと、この45年、私にとって気になってたのが、人は死んだらどこに行くのかってことなんです」

丹野久美子がそんなことを考え始めたのは、劇団の女の子が死んでからだという。春になると必ず咲く満開の桜を見ていて、人は死んでも魂は残っている、大事な人にはまたきつと会えるんだと思うようになった。そんな思いをこめて作られた作品だけに、愛し合う宿命の男女忠実とお嬢は文字通り輪廻転生して、何度も生まれ変わって、出会いを繰り返す。

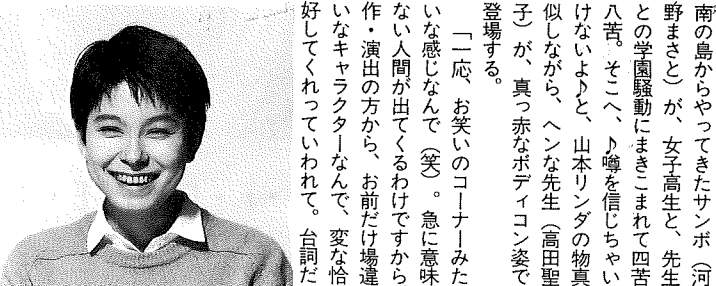
時を超えた愛の輪廻がモチーフになっているといっても、ロックバンドを率いて活躍する丹野の芝居だけに、シヨウタイムありギャグありで、ライブ感覚溢れるステージ展開、とくに出稼ぎの外人ホステス役の彼女の歌のノリは凄いです。「歌謡ショウのノリで遊ぶの好きなんです。いつも5、6曲やるのに今回2曲にして、少し抑えぎみにしたんです。じゃないといつまでもやっちゃうんで(笑)」

パロディ部分も俗物のいやらしさをカリチュアライズする茅根

構成・文 榎原和子 撮影・赤池洋光

またやってしまった、へんなこと
ギャグコーナーは、私におまかせ。

高田聖子 たかだしよこ



南の島からやってきたサンボ(河野まさこ)が、女子高生と、先生との学園騒動にまきこまれて四苦八苦。そこへ、噂を信じちゃいけないよと、山本リンダの物真似しながら、へんな先生(高田聖子)が、真っ赤なボディコン姿で登場する。

「一応、お笑いのコーナーみたいな感じなんです(笑)。急に意味ない人間が出てくるわけですから。作・演出の方から、お前だけ場違いなキャラクターなんで、変な恰好してくれっていわれて。台詞だ

け読んだら普通なんです、先生だから白いワンピースだと、自分で勝手に決めてたんですよ。だけど、ビッチのボディコンで、じゃらじゃらつけて、常に踊りながら喋ってこれとかね。普通なら、学園ドラマで、さわやかっていう感じですけど、とりあえず私はへんに徹しよう。昔のTV「奥様は18才」の富士真奈美みたいな感じでいこうかなと思っていました。とりあえず、できて、何かする。最後にあんな人もいたっていうかんじで。話の中でも、簡井みほちゃんにけられて、それっきりなんですよ(笑)」

新感線では、ストーリーにそった役が多い彼女だが、今回は、少しの出演で笑いをとり、芝居のいいところを、ちゃっかり自分のものにしていく。

「新感線時には、普通の人かへんなことをするっていう感じで、ところどころ笑いをいれるんですよ。今回の芝居は、ずっと笑わせろっていうか。最初から、へんな

人で、ずっとへんだから、お客さんが慣れっことなってしまふんじゃないかな。だから、こは、絶対、笑いをとりたくなって思うところが、生きてこないんじゃないかなと思つて。でも新感線のお客さんもさやけど、この公演を観にきてくれた人も、みんな優しいから、ちよっとしたことであつてくれはるんで、助かってるっていう感じですね」

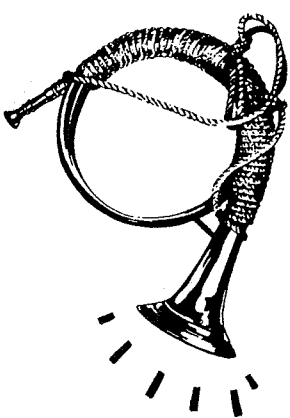
今回で、坂本テラノ作品が、三度目になる彼女は、新感線の若手ばかりのこの公演に出演して、笑わせる任務を堂々と果たしたように思える。

「テラノさんの作品は、親を安心して呼べるっていう感じがす(笑)。超大作じゃないけど、見た後、いい気分になれるんじゃないかな。お客さんが私の芝居を見て、「あんた、いつもこんなやね。かわいらしいのじゃないの」って、「人にはそれぞれの役割というものがあるんよ」とかいつてるんですけどね(笑)」

構成・文 田中さゆり

作・演出▶坂本テラノ 出演▶河野まさこ 高田聖子 村木よし子 簡井みほ 他 8月31日～9月2日●馬町ミュージアムスクエア

元氣な
「しばい」を
広告したい。



演劇ぶっくの『タチ3分ノ1』は
定価6万円ですが、元氣な演劇関係
の方にのみ。特価4万円で割
引しています。
電話で気軽に『タチ3分ノ1』
と注文して下さい。おまちしてま
す。
『タチ3分ノ1』係

↑.....このスペースです

サイズ	276×555
料金	4万円
申込締切	発行日の35日前
Tel	03-228-2545

その他のスペースについては資料を請求下さい

SEEK THE STAGE BOMB



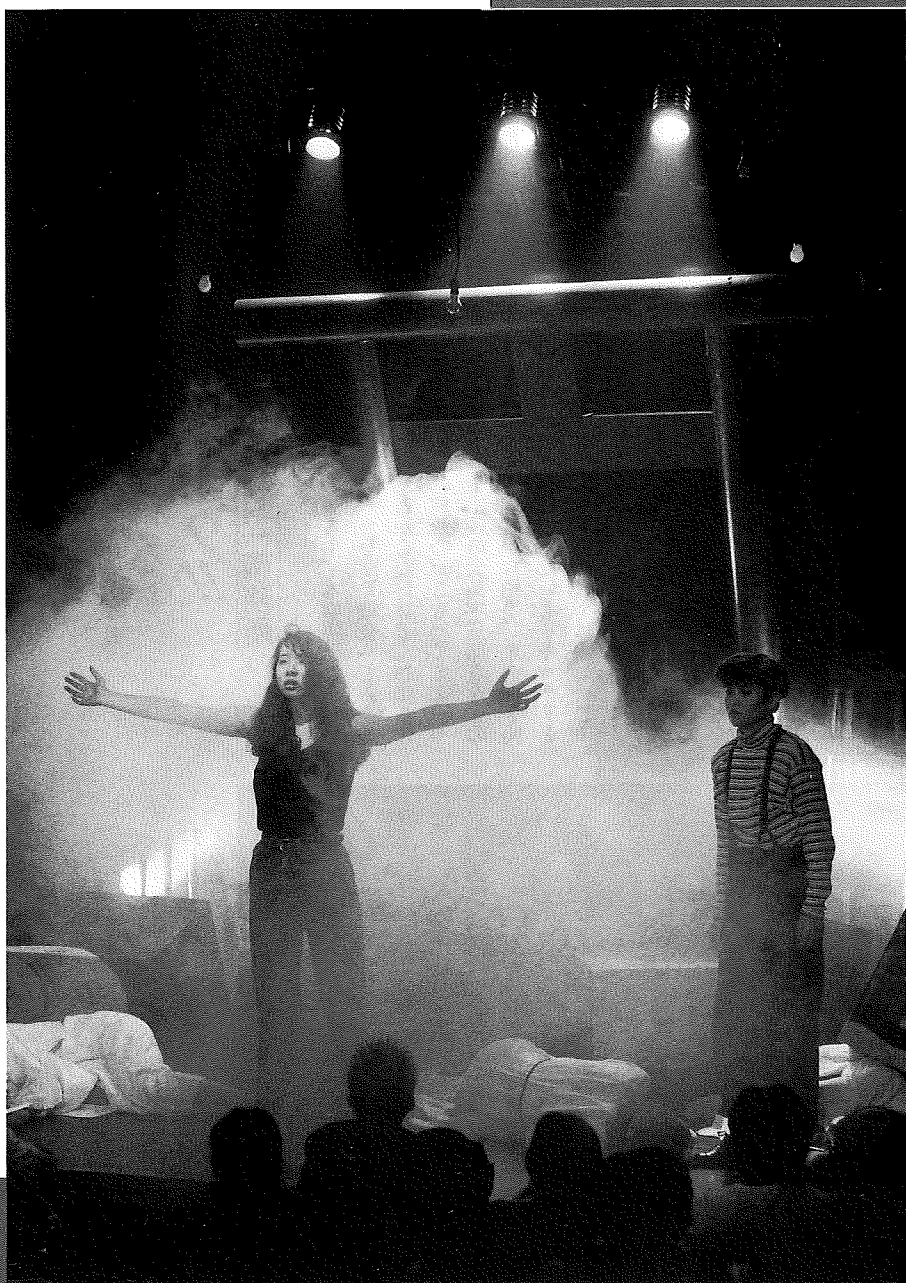
寺山修司の邪宗門の幕切れの場は、これまでにも観たことがあった。そして今回もまた、私は胸が熱くなった。俳優達は、最も演劇的と言える熱気の中にいた。この芝居は、ほぼ全篇が、娼婦、旅芸人、狂ったファシスト、地廻り、犬神に呪われた少年といったキャラクターが織りなす幻想絵巻なのだが、その幕切れでは俳優達がそれらのキャラクターを捨て

ます「国電高田馬場駅界隈に今夜も息づく、板張りの塀に区切られた無数のドラマ……そのひとつにさえ、この舞台は応えられるだろうか」といった台詞で芝居への疑問が表明され、それから各々が役割を捨て、激しく熱い口調で自分自身について語り出す。それらは短い言葉ながら、自己のための鮮やかな表明と心得るものだった。

が、芝居の最終的な結末では、自分を語ること自体が芝居の中の役割であることに気がついてしまう。その時、自己の表明は、虚しさに伴う身悶えに過ぎぬものとなる。結局、芝居という制度の呪縛のもとでは何もかもが演技にしかならない、というわけである。

私は、じつはこの身悶えこそ、演劇の真実があると思う。そこには、芝居という制度の中での使用人に墮すことを拒否し、自己をできるだけ純粹に伝える手段を求めようとする意志がある。その意志が現実の障害の前に砕けんばかりとなり、しかしなお飼ひ馴らされるのは嫌だ！と叫ぶ時、肉体は感動的に身悶えるのだ。

小劇場の表現に自由を！と、かつて寺山修司と天井棧敷が、言ったかどうかは判らないが、演劇と映画という表現に於ける制度の解体は、寺山の作品群に通底するモチーフだった。それは60、70年代的なもの、とも言えるのかもしれない。しかし、80年代という歳月を経てみると、私達の演劇シーンは、既にある演劇的な表現への懐疑や、自己を表現させぬものへの苛立ちを、その大勢に於て喪失したような気もするのだ。いや、べつに大昔とくらべてどうこうというのではない。ただ、既にある方法に何の苦もなく従ってしまう舞台（そういうものが非常に多い）は、やはり芝居としてはインパクトに欠けるのだ。芝居も、また社会も私に屈する演技を強いる！ああ、私達に



小劇場の自由を、思慕する

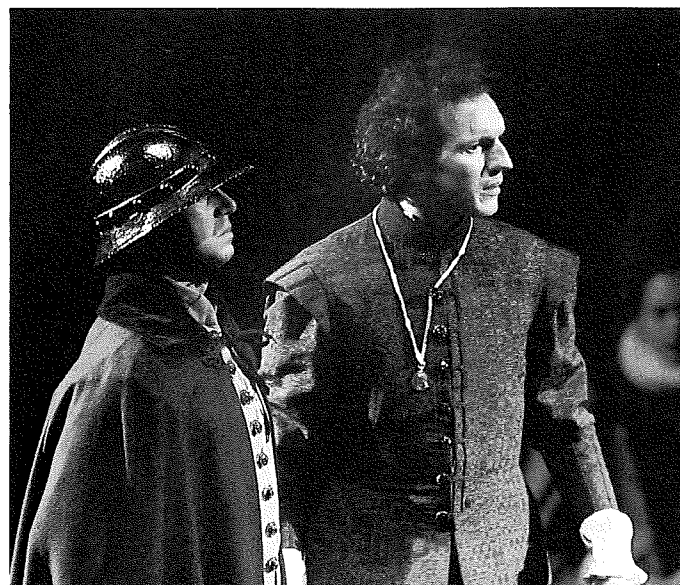
邪宗門●月蝕歌劇団

新しい方法をよこせ！と、身悶えながらも敢然と嘆き吠えることは、そんなに困難になつてしまつたのだろうか。

この夜の俳優達は、それをやろうとした。技術的なことを挙げつらえば寺山流の幻想絵巻を立ち上げるには若々しすぎた、などとも言えよう。しかし彼らの熱気は

たしかに客席をとらえたと思う。かつて寺山の薫陶を受けた月蝕歌劇団主宰者高取英の目論見も、そこにこそあると思えたのだ。

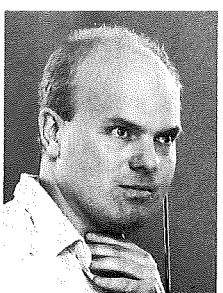
●井上二郎
9月12日・17日 ザ・スナリ 作▼寺山修司
演出▼高取英 出演▼宗形恵 高野美由紀
田中すえ 他



V · O · I · C · E · O · F · C · R · E · A · T · O · R

作▶W・シェイクスピア 演出▶デクラン・ドネラン 9月27日～10月7日◎東京グローブ座

UK90で初来日した チーク・バイ・ジャウルの 知的でエネルギッシュな 『ハムレット』



イギリスからチーク・バイ・ジャウル劇団が来日し、東京グローブ座で『ハムレット』を上演した。劇団名はサイド・バイ・サイドという意味で、お互いに顔をすり寄せながら一緒に歩いていくという希望が込められている。一九八一年に結成され、演出家のデクラン・ドネランは、八七年と今年の二度にわたってオリヴィエ賞を受賞している、実力派の劇団だ。

チーク・バイ・ジャウルの『ハムレット』を観て誰もが感じるのは、俳優がエネルギッシュで迫力に満ちているということだ。実にいきいきしている。そして舞台には常に自由な空気が流れている。この印象をドネランに伝えると、「演出家の仕事は、俳優の手助けをすることです。たとえば風景画を考えるとわかりやすいのですが、規則の全くないところで自然に出来あがってくるものを、舞台に創りあげていくのです」と、まるで稽古場の空気の中から演技をとりだす錬金術師のような返事。ティモシー・ウォーカー演じる

ハムレットは、冒頭から何かにつけて細かく手帳に書き込んでいるが、「ダメ出しをする」と、ティモシーは台本に顔をこすりつけるように目を近づけながら、細かい字で書き込むんです。そのしぐさがとても興味深かったもので、舞台に取り入れまし」という。自由な稽古場から生みだされる動作の一つが、演出と結びついた好例だ。

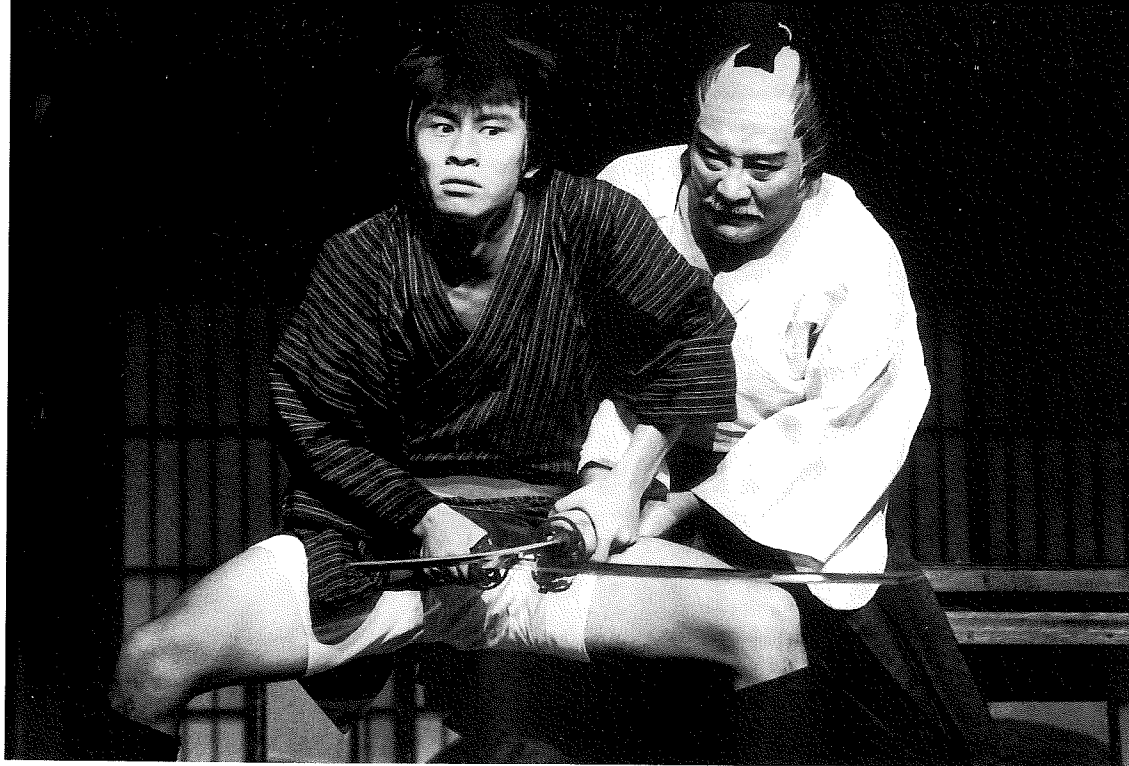
この演出は、本場のことが言えない宮廷で、激昂しやすいハムレットが本心を表に出さない代りに、真実を手帳に刻みつけているように私は思えた。そう考えると、ハムレットは旅役者のセリフを手帳に書き込む場面があるので、彼らのセリフはすべて真実ということになるが、これは痛烈な皮肉となる。つまり、虚構で塗り固められた宮廷では、フィクションを演じるはずの役者の言葉だけが本場のことであるという解釈だからだ。事実、劇中劇「コンザーゴ」殺しは、クロード・ディアスの犯した罪を映しだす鏡となり、隠されていた真実があらわにされることだ。このように戯曲を読み込んだうえでの丁寧でユニークな演出はいたるところに見られた。迫力に加えて、知的な舞台でもある。

「来年は『お気に召すまま』をもつて世界ツアーをする予定があるのですが、日本で見た歌舞伎からもアイデアを貰い、男優だけでの上演を考えています」とのことだ。

構成・文 野中広樹

仙太の勇姿に脱帽せり 斬られの仙太●文化座

「斬られの仙太」は一九三四（昭和九年）四月、ナウカ社より刊行、五月中央劇場により初演とあります。50年以上を経て僕らの前に再登場です。遠くに筑波



山を望む下妻街道分土手上に始まり、全十場が幕末より明治17年頃迄、激動の20年間（水戸天狗党筑波山に挙兵、ええじゃないか、加波山事件の三つが主な背景）を生きた小作人仙太の痛快なものがたりでした。一大絵巻です、とりわけ全編を通して群舞のシーンが見え隠れする雰囲気の流れ、躍動感といえますが、

それが爽やかなものだから、観終わって一輪の水仙を岩間のせせらぎに見る……気障な言い方だてテレビやうんですが、見事でした。劇場を出ると日曜日夕刻近い池袋界隈の雑踏と、今観て来た百年程前の時代が交錯します。物語とはいえ、ある時代を力強く真摯に生きた仙太、一生懸命に丁寧に生きる事が大切な人を斬ったり、大変なことだなあと。俺なんかいつも大事な件にぶつかると一目散に逃げて生きている感じで、いやそうしてやってきたことが露呈し、完璧に丸裸だ。

足元からやりなおしだ。四十、五十は鼻たれ小僧ともありますし。今回はランボーの詩で終わります。強気にしろ弱気にしろだ。貴様がどうしているそれが貴様の強みじゃないか。●飯田孝男



キツチリと笑わせてくれる オペラ・ロメデイにブラボウ!!

レンド・ミー・ア・テナー●加藤健一事務所

ゲイが死ぬほどいるというロンドンで、ナショナル・シアターの『BENT』を見て大感動！しかし、なぜかその後、途中で打ち切り。イギリス人は理解できないわ！という、異国情緒溢れるお便りをくれた友人、某劇団の女優Kちゃんが一年半ぶりに帰国、日本に帰って来て初めて見た芝居が加藤健一事務所『レンド・ミー・ア・テナー』。久しぶりに会った彼女は少し背が高くなってた。っていうのは気のせいとして、少し怒っているではありませんか。

「なんて歌の上手な木場さんにうたわせないんだ！」

『レンド・ミー・ア・テナー』はオペラ騒動記。世紀の大歌手ティト・メレリの変わりに『オテロ』に出演することになった主人公マックスが加藤健一さん。マックスが働く劇場の支配人が、知る人

ぞ知る美声の持ち主、木場勝己さんってわけ。私はオペラを聞く機会ってあまりないのでよくわからないけど、加藤さんのオペラは、何か心がこもっててよかったぞ。ティト役の大島宇三郎さんとのデュエットも客席から拍手。オペラを聞きにいったわけではないし、キツチリと笑わせてくれるロメデイは嬉しいじゃありませんか。



舞台はティトのホテルの居間と寝室。この女好きイタリア人のテナー歌手、妻のマリアが傑作なの。巻き舌でしゃべりまくる二人には笑った笑った。マリア役の高畑淳子さんは大迫力！

さて、ティトは睡眠薬で眠っている間に自殺したと勘違いされちゃう。劇場では『オテロ』の開演時間が迫る！で、しかたなく身代わりで舞台になつてしまったマックス。しかし観客にバレること

なベルボーイの面々が絶妙のタイミングで行ったり来たり……すれ違いが抱腹絶倒のおかしさで、BRAVOー！だったよ、Kちゃん……。●きりがやなおみ

8月18日〜9月2日 本多劇場 作▼K・ラドウィック 演出▼星亮 出演▼加藤健一 熊谷真実 木場勝己 六角精児 深浦加奈子 大島揺子 大島宇三郎 高畑淳子



今の女って

保守的だわ

と、

ベルナルダ・アルバの家●銀座セゾン劇場

愛している。3人の女が、1人の男を。その男は25才のペペ。38歳の長女、アングステアスは彼と婚約している。ペペの目的が自分の持参金だとわかっていても、やはり嬉しいのだ。

彼女の部屋の窓辺に夜ごと現れてペペは愛をささやく。しかしその足で彼は、末娘、アデーラの窓辺にも通うのだ。18も年の違う若い女の肌は、比べようもない。

この三角関係に29歳の三女マルティリオは気づいている。そしてペペが自分の窓辺に現れてはくれまいかと願っている。ペペを激しく愛しているのだ。しかし、彼女は自分の気持ちを押し殺し、ただ、ペペをめぐって悲劇が起きないことを願っている。自分の手で平穏を破る熱情（狂気、もしくは勇気なのか）は彼女にはない。

暑くてたまらないアンダルシアの夏である。アルバ家では主人を弔う鐘が鳴ったばかりだった。夫を亡くしたベルナル

ダは、家の名誉と世間への体面を重んじて、5人の娘に厳格な戒律を課す。石壁の家の、女たちだけの風のふかぬ生活。そこに、女の性が渦をまき、もつどドロドロなのである。かなりきいて、

さて、この劇をみていて、私は自分が保守的だと思う。というのは、姉をさしおいて盲目の愛に尽きすすむ末娘、アデーラに私は、ある種の反感を感じてしまっています。迷わず、自分の愛に酔っていられるほどの若さが、彼女より4歳上の私にはないというせいもある。

しかしそれよりも、「アデーラの純情がこの封建的な家の制度を突き破るのだ」という舞台の空気が、安易な急進主義のように思えてどこか腑に落ちないのがある。

私だったら、いや、私達の世代の女はと言ってしまうと思うが、むしろ三女、マルティリオの心情に近いと思う。彼女は決して正しくないけれど、周囲への優しい気づかいに生きようとする。理念とか、



SEEK
THE
STAGE
BOMB





Photographs J. TAKAGI

純血発見の会復活!! まあ、あたしや本当にうれしィよ

ワニヤ伯父さん●発見の会

オイ、なんだよ、発見の会が本気で活動したのかよ、えっ。最初で最新のカリスマ瓜生良介の手に依って(あたしや知っている、この人は奈良漬というぬかじやなくて酒カスによってつけものを作るという特殊なワザをもたらし民族の末裔なのだ)酒づけになって日本ではめずらしいドラッグカルチャー(私しや決してオーバーじゃないと思うよ)をはぐくんできた年寄りたちがなんだかとちくるってしだれ桜の狂い咲きか?なんだってチエーホフ?ソ連の酒飲みか、あたしや知らないけど、西村はどーした西村仁(しぬならひとりと読む)の台本は、もう宇宙の真理と話し疲れて、一人詩作などしていたこの、万日回峰を終えた修験僧の台本は、そーなのだいつも遅すぎるのだから、実は早すぎるのかもしれないのだが(深いなあ)俗世では

いかんともしがたいのだ。じやいじやないかチエーホフでもといったか知らぬが「ルバイヤート」の作者、オマル・ハイヤームの生まれ変わり、飯田さんが言ったんだきっと。最近つとに役者の生理に月々悩まされるようになってしまった風の賢者(竹林の七賢のどれかの生まれ変わりかもしれないなあ)は客席に響き渡るプロンプに耳を傾けながら(時には返事しながら)主役を務め、賢女吉田京子を舞台に連れ戻し、聖人牧口元美までひっぱり出してしまったんだ。すっかり純血発見の会に戻ったこの共同体は(ちと古いなあ)どーやら本気になってるようだ。しばらくはありものの台本でやってくようだけど上杉さん(上杉清文さん、説明しだすと長くなるのでやめる)大丈夫ですよ(この方はいかり狂っていた)ここがまっとうな芝居なんかズーッと続

ける訳ないんだから。とにかく、酒席であつかんをこぼした私に「酒の一滴は、血の一滴」とのたもった酒の女横綱、興石女史の美貌もよみがえりあたしや本当にうれしィよ、有り難いとはこのことだと思いつつしばしば夢を見ているような舞台だったかにホンマ。

●鈴木晋介

9月10日11日 作 A・チエーホフ 演出 有馬則純 瓜生良介 出演 牧口元美 伊郷俊行 興石悦子 吉田京子 長谷川健 西村仁 後藤恭徳 飯田孝男



お遊戯よさようならファシズムよ今日は。経済舞踊学⑤

金銀泥書交経●聲明公演・舞楽法会

そーとう変なものをみてしまったぞ。私、純粋な学究心から「声明」——密教の僧侶による合唱——の演奏会に足をこんだつもりでした。当然客席には信徒のおばさん連や作務衣姿の坊さんがいっぱい、それから例によって「精神世界おたく」……あれ、妙におしゃれな若者や

スノッパな30代がちらほら:変だなあ。しかし開演まもなく完全にわかってしまった。これ、単なる声明公演ではなくてなんでもない「イヴェント」であつたのだ。まず、声明の坊さんは、真言、天台等对立(?)する宗派4つが同じステージに立ち、そしてなんと左右のステージには

笙、築の雅楽と吟楽(中国、奥には現代音楽パーカッション群、これらが同時に各々のシステムによって演奏、更に中央では四人の舞手が天平舞をたんとと舞い、杉浦康平デザインのひかりものオブジェやら梵字を書いた幕、マルチスクリーンには仏画はともかくインドのエッ

ちなやつとかスライドで映し出される、というくらいとんでもないしろものだった。よりによって宮城を拝した三宅坂国立劇場でかような神仏混合、仏仏混合、日中印、伝統/前衛のフュージョンをパフォーマンスしちゃった訳だ。企画者としてはトレンドを意識して「ワールド・ミュージック」とか言いたいんだろうが、このよーなムチャクチャが可能なのもポストモダンの発想が前提として認知されているからに他ならない。



ティーもこのセンで楽勝というわけか、無節操、無際限に拡大解釈してしまう訳だ。それでもなお、「コメは入れない」のかよ?危険だ。ところで雅楽と声明と舞楽は意外にマッチする。気持ちよくハマってしまふ瞬間があつてオレも危険だ……

●桜井圭介

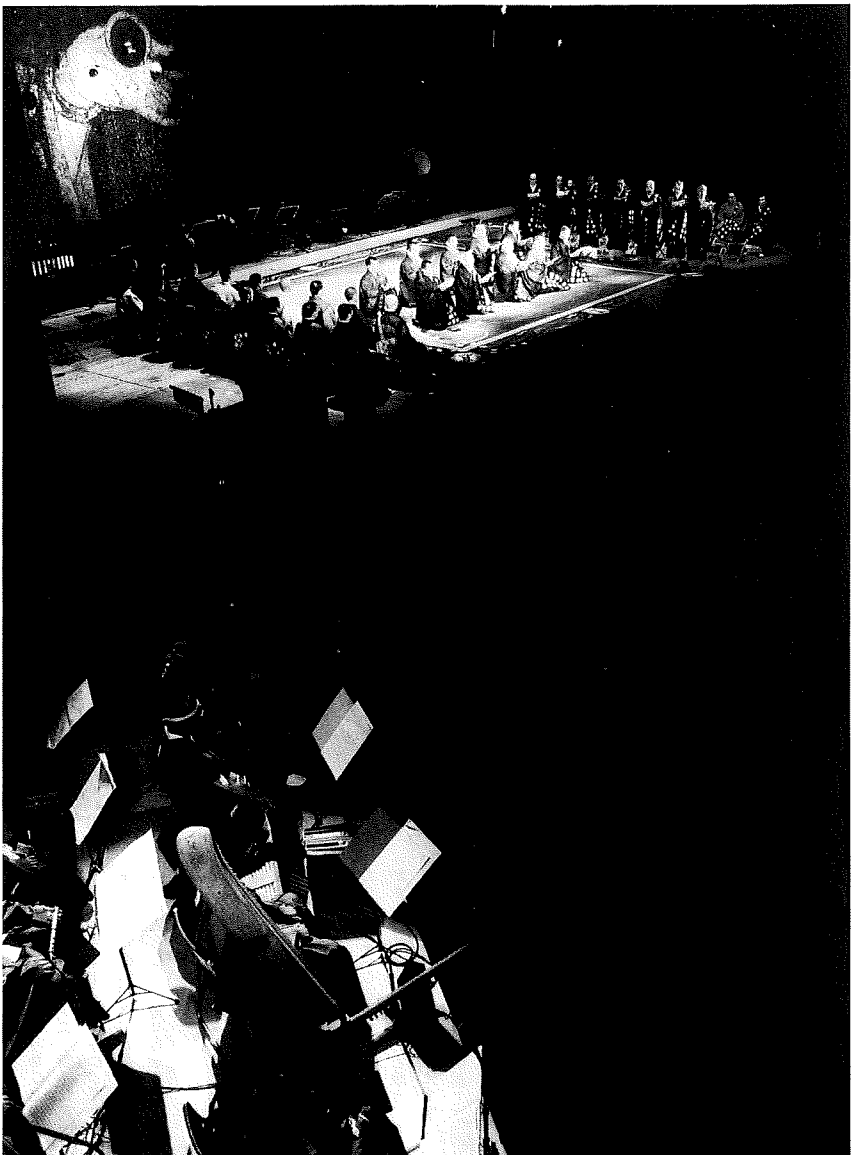
▲聲明公演 9月26日 国立劇場

80年代を通じて「PM」光線をさんざん浴びてしまった我々は発想法にたいが条件反射的に「なんでもあり」「みんな一緒くた」で許してしまうスキゾ脳になりきってしまったのである。

このワールドミュージックというトレンド(ジャンルとは言わない)のそもそもの発生を振り返ってみると、パリ在のチュニジア人、モロッコ人、西ドイツならトルコ人といった出かせぎ労働者の方が異人会的に集まつてお国の民謡セッションなどして楽しんでたところ、ネタにつまった白人のミュージシャンやプロデューサーが「これだ!」と目をつける。「君たち、このすばらしい諸君のアイデンティティを世界中にむけて主張してみないか?ま、それにはちよつとしたスタイリングが必要なんだけど、まかせてくれる?」とかなんとかだまくらかして結局、アレンジ、プロデュースすべて白人の白人による白人のための音楽としてつくられたわけ。その中で「土人」はとりあえず太鼓たたいてるけれどそれって完全に労働者として使われているだけでしょう?。で僕らも名譽白人してパリから、輸入されたCDとかWAVEで買つておしゃべりしてるうちはまだよかった。ところがひるがえって「じゃあ僕等のワールドMって?」というところにいきはじめる、すると例によってオリジナリティの希薄な日本人におちいる。「僕等」といつたって中身はどうする?「民謡:

エンヤトット:ミーンなんかグサイな、オキナワなんかノリがいいよね、韓国のチャンゴとか:バングラビート、ガムラン:そーうだ、アジアはひとつ、みんな使っちゃえ!!」となること必定である。まず沖縄からして本当は日本じやないだらう?アジアはひとつ、それって八紘一宇、大東亜共栄じゃないか、ヤバイなあ。国立劇場の「企み」なんかモロ雰囲気だしてたな。

たしかに戦後すーつと僕等は右翼の主張も含めて敗戦国としてアジア=戦勝国第三国にかこまれてとりあえず一国(天皇主義)だったわけだがEC統合と先だつドイツ統一とかに刺激されアジアの盟主たらんとする空気が大衆的にも(金も余っているんだから困っているアジアの兄弟を助けあげなくっちゃ)濃くなっている。アメリカが恐れている如き純粋な国粋主義はもはや存在しない、だいたい右翼でもそれは「流行らない」らしい。たしかに宿敵ソビエトも完敗しこれからどうやって生きていくか心細いだろう、無意識的にアジア主義を戦略として援用しちゃうのもわかる。エコロジイ(つまり人類みな兄弟ね)する右翼もいるわけだから。



SEEK
THE
STAGE
BOMB
!

来タルベキ演劇への予感

演劇おたくの隠微な悦楽4 雲丹多樫一

関東中央劇団 オフチカル・マリнка CUATRO GATOS



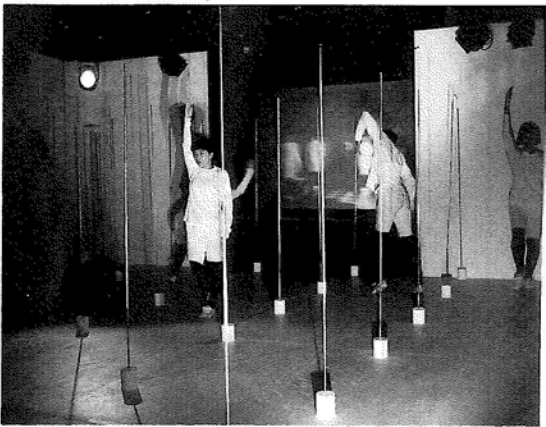
関東中央劇団『風街ロマン』

作・演出▶中川博史
7月27日～8月2日●下北沢北澤八幡神社境内神楽殿
次回公演▶未定



オフチカル・マリнка『キガシマイ…コホルツツク…』

作・演出▶オフチカル・マリнка
9月21日～25日●ディ・プラッツ
次回公演▶未定



CUATRO GATOS『Module/(……)』

構成・演出・美術▶清水唯史
10月6日～8日●スタジオ錦糸町
次回公演▶'91年4月に予定

1990年のシジフォス…

秋だけなわ、芸術の秋、演劇の秋といふことで東京国際演劇祭をはじめ各地でいろいろな演劇フェスティバルが開催されつつありますが、もはや演劇おたくにとつて季節など何ほどもモチベーションたりえないことは重々承知の上で白々しい枕文句を並べてしまふ虚し。だつてもう東京はいや日本は一年中、あちこちで玉石混濁の演劇祭まみれでもんおかげ様で、演劇おたくなどという聴すべき身分に我が身を浸してしまつて以上、年中無休体制で芝居巡礼の旅を続けてはな

らないのだ。そんなこといつたつて時折キラリと光る名品を掘り出す喜びがあるのだからこの状況は演劇おたく天国じゃないですか、と云つて慰めてくれる人もいる。芝居はナマモノゆえ、努力と偶然の絶妙な配合によって大変貴重な場面に遭遇できることも確かに少なからずある。例えば今夏、私は少年王者館『星ノ天狗』の名古屋・東京・江戸島3ヶ所おっかけといふことを遂行したが、東京の案日には知久寿焼(たま)の飛び入りを観たし、江戸島では柳原幼一郎(たま)の飛び入りをまのあたりにできた。演劇団コリベ(アリスフェス参加)では、監禁され縛られ殴打

され服を脱がされた挙句にガムテープで床に貼り付けられて、分断された朝鮮半島の形にされてしまふ女優・李慶真がジョイ・ウオンをグラマーで色っぽくしたような美女だつたので心の中で思わず「ラッキー」と叫んだものだ、関西のナウアデイズという集団の公演『花はどこへ行ったの』(赤坂演劇祭)は、小野小町(本名だそう)の作りだすヌーボーロマン風の難解幻想劇が我が脳髓を熱くさせたがそれ以上に、そこに出演していた小川クリスタベル華という、お嬢様中のお嬢様としかいいようのない超可憐な美少女女優を発見できたことが、いかに彼女の演技が未

熟であつたとしても、演劇おたくとして今年最大の拾い物だつたと思える。また19150『寝物語』も鬼才丹野久美子のエッチ・シーンが強烈に脳裏に焼き付いて離れない今日このごろだ。だが、こうして演劇おたくのひそかな愉しみを味わいつつも、一方その余韻に浸っている余裕もなく、その何十倍もの、退屈で志の低い芝居を観て廻らねばならないのだ。こうして我々は演劇のシジフォスとして不条理なおたく人生を背負つてゆく。

関東中央劇団 神話・場所・記憶

例えば、どんなに時代の最先端を行く高度

な技術や緻密な構成力を誇つていても、青年団というやけにひなびた響きをもつ劇団名によつて多数の演劇ファンに「きつとぶるさ」キャラバン(の親戚だろ)という大きな誤解を与え続けている劇団が存在するように、この関東中央劇団もまた、そのセンスのかけらも見出せない無愛想な劇団名によつて、結果的には世間に敢然と背を向ける形となつていく。7月の終わり頃、下北沢のはずれにある北澤八幡神社の神楽殿で上演された「風街ロマン」を私が観に行った時も、そのロケーションの圧倒的素晴らしさにもかかわらず、お客の数は両手の指で数えられる程度しか来ていなかった。しかし私はこの劇団の世渡りのへたさの中に、妙におたく心をくすぐる何かを感じてしまった。これは期待できるぞと。陽の沈むころ、神社の境内でシジフォス・リッパの5番とともが始まつたこの野外劇は、記憶喪失の現代人・スサオマコトが自らの少年時代を追想するうちに深層意識で古事記の世界と通底してしまつたという怪談的な物語なのだが、その実プロット的な動機もいくつかが在している。なにせ主人公は息子に金属バットで殴られたことが原因で記憶喪失になつている。そして息子は主人公の妻を連れて

行つてしまひ、エディプスめいてくる。だがその後、その息子さえ主人公の妄想の産物だといふことになる。そして登場人物たちは皆主人公の「大脳皮質の表面張力にひつかつた小さな魚」であることを自覚するに至る。このようなメタフィクションの構造をもつた神話劇を、雰囲気だつぷりの神社で上演するなんて、実に志が高い。音響がひどいとかギャグが笑えないとかいつた問題点もあつたがその種の不器用さを差し引いたとしても、ダイナミックな言葉の儀礼は一応の成果を生むことができたといえよう。ただ、本当のことを言つてしまえば、わたしは天野照子役の小川雛子とフシナタ役の唐ひづるの美少女ぶりにひたすらうっとりしていただつた。前述の小川フリスタル華にも劣らぬアイドル顔の美少女が2人もいる劇団なんだよね…凄いのオフチカル・マリнка 少女趣味の逆襲

とかなんとかいちゃつて、演劇おたくにとつてのアイドルの頂点といえは、これは申すまでもなく原サチコなのである。彼女の場合美少女などという概念を遙かに超越した存在であり、あの可愛さはどこか人間離れた可愛さだと誰もが言う。ある人は彼女は巧妙な機械人形に違いないといひ、別の人は隠花植物が人に変身している姿だといひ張る。最近では手甲人説もでてる。ただ、その一方で彼女のタリエーターとしての興行の深さを見落としてはならないだろう。彼女の独自の演劇観をベースに元・燈籠の仲間である硝子美絵・佐藤美佐緒と共に結成されたオフチカル・マリнкаは、『言葉に従属するのではない(アールト)』タイプの芝居、視覚的な美意識を追求した絵画的演劇を共同作業によつて生み出してきた。9月にディ・プラッツで上演された『キガシマイ』を観て思つたのは、彼女たちの方法論が確立したな、ということだ。同じタイプの先輩劇団ロマンチカが格調高く倒錯的戦略を前面に押し出すのに対して、オフチカルはあくまで少女趣味の感性を武器にしてポップな色彩感覚で観客を眩惑し、節度ある軽さで観る側の想像力を柔軟化させる。だから原と硝子によつて演じられるジャンゲルの白痴姉妹も、飢餓姉妹、という重苦しい感じでイメージを限定することを避け、カタカナ表記の曖昧さによつて客に様々なイメージネーションを焚きつける。時折、少女趣味的グロテスクさを垣間見せる場面がいくつかあり、とりわけ両手のない真つ赤なドレス姿に

身を包んだ原サチコが椀割らずの漫画風の表情でウゲーと泣き出す不気味な場面は今でも夢に見てしまふくらい至上的怪奇の美しさであつた。舞台美術もディ・プラッツに小さく可愛らしい額縁舞台をこしらえるなどかなり凝つていたし、BGM選曲もM・ナイマン、T・ライリー、F・ギャルなどおしゃれなセンスが貫かれていて気持ち良かった。クアトロ・ガトス 哀愁の脱構築劇

以前から気になつてた劇団だつた。観た人に聞くと、みんな一様に「ババ・タラマラみたいだよ。でもババ・タラはソフィスケットされてないよ」と言つた。今回初めて、スタジオ錦糸町の「Module/(……)」を観たが、「なかなか奮闘しているな」と感じた。というのも、いまどき珍しいといえる、脱構築の演劇なのだ。演劇の脱構築ではない。脱構築そのものの芝居。そのためには演劇的文法を一度「リト化」せねばならないので、美術も衣装も抽象的に還元されている。するとどうしてもババ・タラマラと表面的に似てしまふ。しかしクアトロには常にリリタの言辞がつきまとわさるをえない分、世間的には不利なのだ。可哀相なので応援してあげたい。

演劇おたくのシジフォス

M.M.M SKIN

写真集プラス戯曲——。

いちばん新しい恐怖

科学的尖兵M.M.Mが贈る

SKINの全て。

近日発売 定価2000円千260円

MAKING of 野田版・国性爺合戦

「芝居はどうやって作られるのか。」

『野田版・国性爺合戦』を通して芝居にかかわるあらゆる制作現場を密着レポ

ート。舞台写真もカラーで楽しめる。

発売中 定価1500円千260円

大隈襄1967～1989

早大劇研の礎として『第三舞台』『遊』

機械/全自動シタター』らを誕生させ

た「大隈講堂裏」その歴史を豊富な資料と関係者の寄稿で綴る。

発売中 定価2000円千260円

劇団☆新感線 スサノオ

舞台写真集

戯曲「スサノオ—神の剣の物語」

MEMBERS INDEX

BIOGRAPHY

発売中 定価1900円千260円

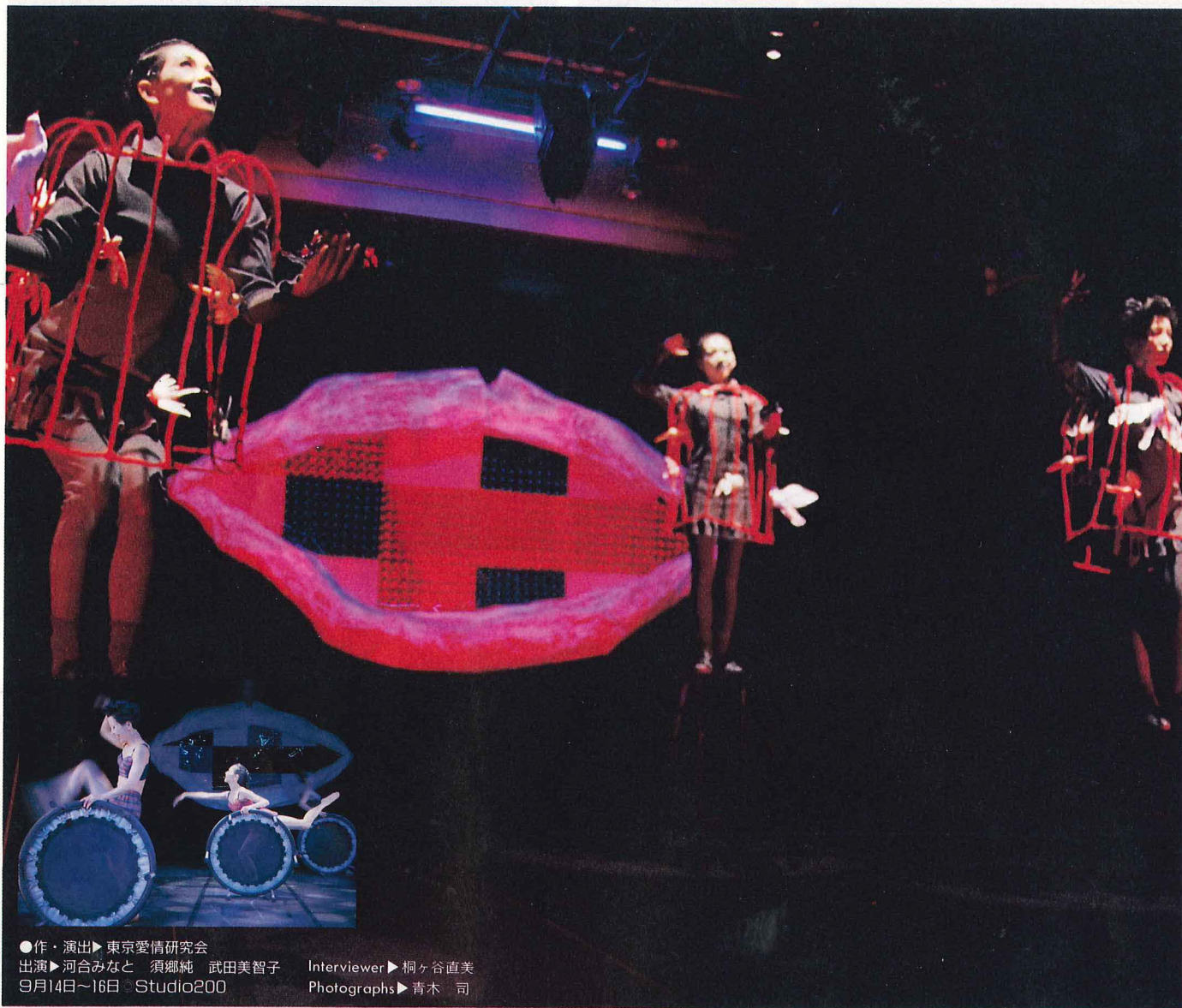
●購入をご希望の方は、ハカキが電話でお申し込み下さい。 料金は本が到着後、同封の郵便振替用紙にてお支払いください。 [申し込み先] 南演劇・パブリック社 〒164 東京都中野区中野5-67-6-406 TEL 03-228-2545

TICKET PRESENT

水族館劇場

舞台全面に張られた水深1mの海。二階からの屋台崩し。水の劇場の異名をとるこの劇団の、野外テントならではのスペクタクルが展開される。台本は碧羅日。車窓島を舞台に、時間の迷路が錯綜する。情念劇だ。

■11月15日(木)~17日(土)法政大学市ヶ谷キャンパス ■22日(木)~25日(日)高円寺堀の内妙法寺駐車場 水族館04225・62・2987



●作・演出▶東京愛情研究会
出演▶河合みなと 須郷純 武田美智子
9月14日~16日 Studio200
Interviewer▶桐ヶ谷直美
Photographs▶青木 司

東京愛情研究会

とんでもないベストセラー ハイライト

とっておきの名場面を
食べちゃう3人組の、
身体からのメッセージ

河合みなと
須郷 純
武田美智子



「身体にけっこう信頼を置いてるんだよね。正しい未来とか、正しい進化の方向を一番よくわかってるのは身体じゃないかっていうところから出発して。少なくとも現状っていうのが居心地悪いっていう身体の感じがあってね、そこから覚醒して、もっと満たされて、もっと深い眠りのようにウットリして...という内的快感を求めた時に、ニョキニョキ身体から芽がはえるような感じで探っていくんだよね」

彼女たちは声をたてて笑う。ケースを食べる(ニョモペロリ)。ダンス公演ではあるけれど、観客の前で素敵に正直者だ。いくつかに分かれていて、きれいだったり、不思議だったり、おかしかったり、カッコイイ...シークは踊り手三人の共同創作によって生まれる。東京愛情研究会の手にかかれば、再演だって思いっきり解体され、

再構築された「超」新作に变身！「今までの全部のシーンを紙の札に書いて、ザッとマジシャンパイルのようにやって笑、何回か交代でひいてみたり...」

「やりたいシーンを投票制にして、そう、最高三票(笑)」

「いろいろあったけど、その時うまくいったかはい別に、みんながこだわってるシーンがいくつかはばれてきて」

「気がつくのとわりと心地よい組合わせができた」

舞台美術は人の体のイメージ。ミラーボールに照らされてしまう観客たち。

「私たちがこの名場面についていうのは、舞台の表現として自分たちの過去の名場面を解体して見せること。そして、お節介でけいなお世話かも知れないけど、見にきての人それぞれに過去にはドラマチックな瞬間があって、その人が意識しているにすぎない拘らず、名場面はきつとあったんじゃないかって。ありとあらゆるどんな考え方をしている人たちでも、グッとその横顔にはハイライトが浮かびあがって、ずっとこの先も誰にも名場面は待ってるよーそういう願いもこめて...」

「今から先っていう現在進行形に三人はこだわっているんだけど、正しい未来をどう発見しようっていう時にどんな状況でも自分たちが自家発電していきけるもの、過去のとっておきの大事なものでさえ、今から未来のためには平気で食っちゃうわ、みたいな感覚だね」

ダンスの枠組みは、三人の自由な表現者たちによって破壊された。未来はどんどん明るい！

演劇ぶっくNo.29は1月6日全国主要書店で一斉発売!



「コンサートのチケット買うのに徹夜したことはあるけれど、お芝居ではまだありません。観られたいと思うって言うからだから、自分が好きだったバンド(あるいは劇団)がどんな売れてきて、チケット取れなくなってるのって、悲しいですね。でも、並べば必ず取れるという状況ならまだいい」

○コンサートのチケット買うのに徹夜したことはあるけれど、お芝居ではまだありません。観られたいと思うって言うからだから、自分が好きだったバンド(あるいは劇団)がどんな売れてきて、チケット取れなくなってるのって、悲しいですね。でも、並べば必ず取れるという状況ならまだいい

(小山市 相川裕子)

○読者のページに新感覚と栃木県民の因果について問われておたが、ここはひとつ映像のペン師とも呼ばれた栃木県自主映画の父である(？)オライの説明が必要なんだ。ちゅう訳で、栃木で青春時代を送った現在20代(主に前半)のオタッキーどもとって、ハイパルとも言える8ミリ映画がある。その名も「宇宙防衛軍ジエッタ」。赤垣青垣、黄垣(「スナノオ」の時、猪上座長登場の際に使用されたアニメ主題歌が判る人はピンとききたね)の3人が、最強ロボ・ジエッタマンに化身して悪と戦う(と書いても、ノリは新感覚と同じだよ)つまりデタラメでハワフル。このインディーズレクチャーは83年に製作され、88年封印されるまで人口たった1000人の栃木県で延べ1万人の観客(主に高校生)の前で公開された。兵庫県の伊丹グリーン劇場での特撮映画祭でのグランプリも取ったというので、関西の人にもなじみはあると思う。そういうところなので、なみにジエッタマンの主題歌もエンタンの「宇宙防衛軍」です。どうでもいいけど、自主映画と小劇場って二卵性双生児だと思っ

(栃木県塩谷郡 橋川恵介)

○高1の頃から5年間観続けていたネヴァーランドの解散公演は正直言ってたまらないものでした。自分にとって毎回観にくくても日常になっていたのに、それが無くなってしまった。なんとも言えないわなさがありません。初日、最前列で観た役者の皆さんのキンチョーでひきつった顔、舞台あいさつの時の泣きだしそうな女優さんたちの顔が、しっかりと焼きついてます。そして来日の最高の舞台、忘れることはできません。さすがに来日は、どんなにギャグがあっても笑うことができません。ただ涙ばかりポロポロとこぼれまわりました。解散については後ろ向きに考えるつもりは全くなく、むしろこれから一人一人旅立っていく皆さんに大きな夢をたくしな、と思っ

(相模原市 森洋子)

○「山の事情」の安田さんは偉いと思う。客に何を思われようか「これを観る」「これを試す」っていうのを正直に舞台に出して、それだから「PARTY」の後、何を思ったか知らないけど、端っから演り続ける姿勢は、それだけで注目されます。ただ、問題なのは、打ち出した各テーマに対して、安田さんが納得するほど理解していない自分の側にあると思います。そう思うからこそ、理解してしまい、安田さんに「勝つ」まで、足を運ぶことになると思います。

(保谷市 松田博行)

演劇ぶっく第29号第4巻通巻28号 1990年11月6日発行
編集人 坂口真人 発行所 (有)演劇ぶっく社
〒164東京都中野区中野5-67-6 406
TEL03-228-2545 FAX03-388-1494
印刷所 文化印刷

from READERS

●初めての本になりました。といううれしい葉書が、このところ増えているようだ。その反面、毎回のようによせてくれた人の名前を見かけなくなるのは、少しさびしい。もう、「演ぶ」を買って読んでないのだからあるいは葉書を出さないで済むのか? 私のことだと、今思ったあなた、もう、投稿する暇がない!なんて言わないで近況聞かせて下さいよ。

(小山市 相川裕子)

○思わず「もう一回観たい」と思ったので当日に並んだのですが、な、なにも私の入前整理券配り終わることないでしよーも少し...ってことだったのに。「あきらめて下さい」なんて言われたって...「私の二時間半はあった何だったの。第三舞台の「さくら」おーい」とか思ったけど、次の日に「やっぱり第三舞台が一番よ」と友達に言ってもらった。私は、第三舞台の大ファンです。

(浦和市 奥山久美子)

○読者のページに新感覚と栃木県民の因果について問われておたが、ここはひとつ映像のペン師とも呼ばれた栃木県自主映画の父である(？)オライの説明が必要なんだ。ちゅう訳で、栃木で青春時代を送った現在20代(主に前半)のオタッキーどもとって、ハイパルとも言える8ミリ映画がある。その名も「宇宙防衛軍ジエッタ」。赤垣青垣、黄垣(「スナノオ」の時、猪上座長登場の際に使用されたアニメ主題歌が判る人はピンとききたね)の3人が、最強ロボ・ジエッタマンに化身して悪と戦う(と書いても、ノリは新感覚と同じだよ)つまりデタラメでハワフル。このインディーズレクチャーは83年に製作され、88年封印されるまで人口たった1000人の栃木県で延べ1万人の観客(主に高校生)の前で公開された。兵庫県の伊丹グリーン劇場での特撮映画祭でのグランプリも取ったというので、関西の人にもなじみはあると思う。そういうところなので、なみにジエッタマンの主題歌もエンタンの「宇宙防衛軍」です。どうでもいいけど、自主映画と小劇場って二卵性双生児だと思っ

(栃木県塩谷郡 橋川恵介)

○「山の事情」の安田さんは偉いと思う。客に何を思われようか「これを観る」「これを試す」っていうのを正直に舞台に出して、それだから「PARTY」の後、何を思ったか知らないけど、端っから演り続ける姿勢は、それだけで注目されます。ただ、問題なのは、打ち出した各テーマに対して、安田さんが納得するほど理解していない自分の側にあると思います。そう思うからこそ、理解してしまい、安田さんに「勝つ」まで、足を運ぶことになると思います。

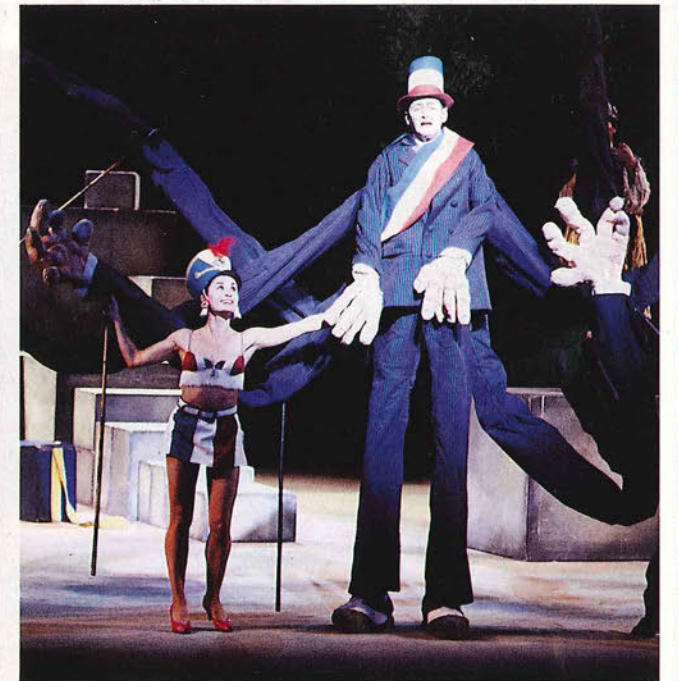
(保谷市 松田博行)

直接「演劇ぶっく」を買う。毎回確実に「演劇ぶっく」を入手するために定期購読をご利用下さい。購読料金は年間4,200円(送料含)です。ハガキや電話などで気軽にお申し込み下さい。本誌といっしょに郵便振替用紙を送ります。

書店で「演劇ぶっく」を買う。『演劇ぶっく』を置いていない書店からでも、注文によって入手することができます。東販、日販、栗田、大阪屋を経由して本を仕入れている書店ならば、全国どこでもOK!お近くの書店に問い合わせして下さい。

STAFF
Editor/落合星文 桐ヶ谷直美 桐原和子 佐々木秀隆 白鳥晴 庭橋穂子 橋本克彦 飯田孝男 日吉真仁 やぎひさえ
山口猛 森 万里子 Photographer/青木 司 伊東和則 神村光洋 八代田花恵 秋本電太
Art Direction/ 広瀬良二 Business Department/ 山河薫

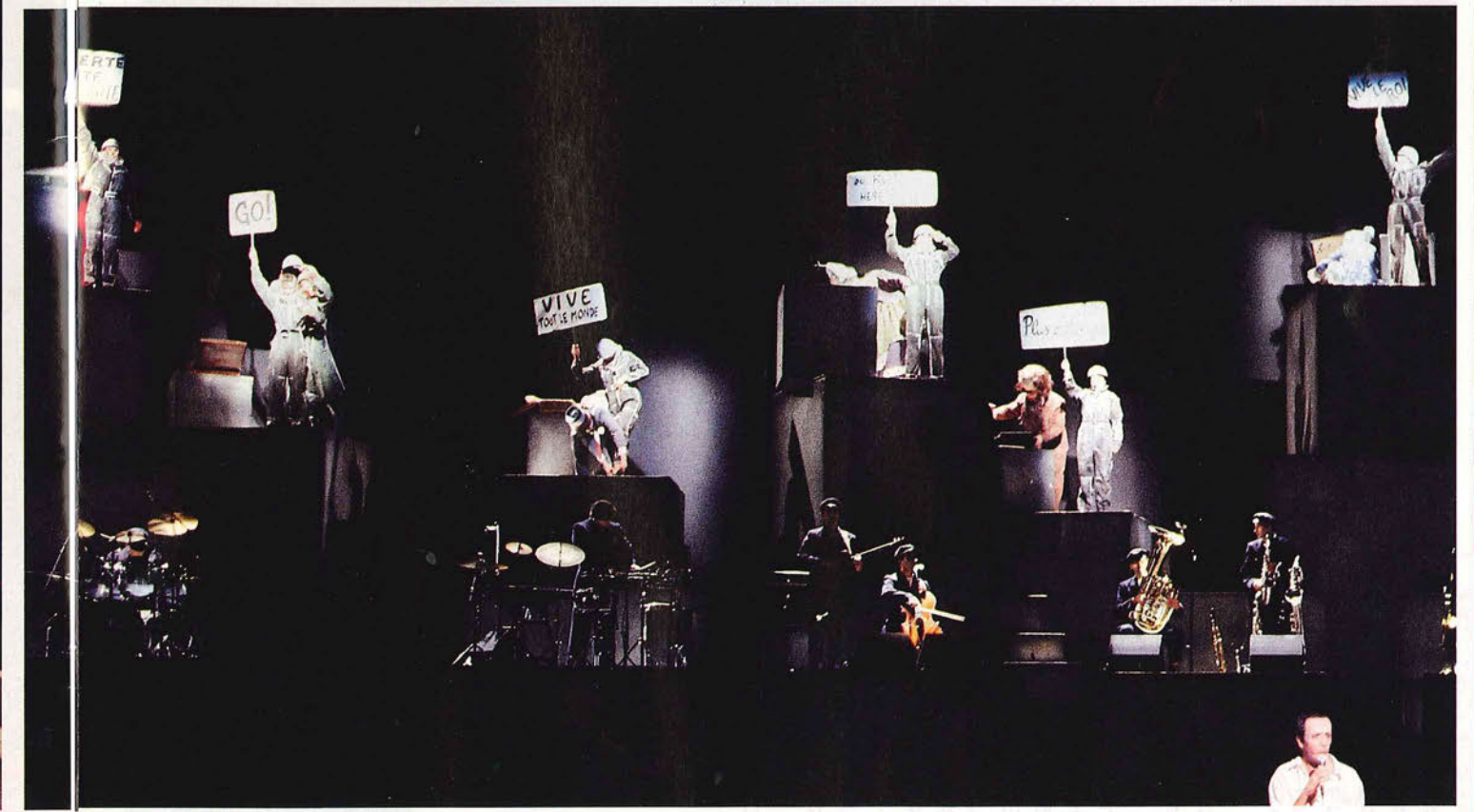
●構想・振付・演出▶マギー・マラン トゥニ・マリオ
ット 8月14日~19日 銀座セゾン劇場



カンパニー・マギー・マラン

レボリューション

それが私に何の関係があるのさ!?



というのは、果たしてこれをダンスと呼べるのかどうか。踊りのみならず、背後に八人のロック・バンドがせりあがって演奏し、果てはマギー・マラン自身を含めて、三人で歌を歌ったりと、演劇的側面の非常に強い舞台である。

しかも、全体が四部構成、つまり(納税者)(愛国者)(革命家)(市民たち)と分かれ、劇的効果を狙っていることも十分うかがわれるし、異質のミュージカルと見られないこともない。

しかし、グラン・ギニョールを演じる専制者が八本の手を持って、民衆を抑圧するというのが、まるで口口首ならぬ手が自在に伸びたり、最後の工場で働く狂人が、ベルト・コンベアに流れてくる人形の首を胴体から次々に切り落とし、バカバカしく踊るシーンは結構楽しめる。

とはいえ、ベジヤールがそうだったように、そこには、ストライクムのかけらもなく、俗な、大衆芸能風の舞台である。

「フランスは民主主義の国だといわれているが、果たして、本当にそうなのか。今、フランスでは愛国主義が台頭してきていて、外国人を排除する政治家が人気を集めている。といって、あたしは、『ウィ・アー・ザ・ワールド』のような、自己満足なやり方だけはしたくない。ミュージカル風にしたのは、アメリカのはくたらない作品が多いけど、その形式自体は素晴らしいからね。確かに、彼女のメッセージというのは、明瞭で、それこそ言葉を越えて、伝えたいものを感じることができる。だが、本当は、明瞭にならないもの、メッセージにならないものを感じさせてくれるのが、ダンスというのか、舞踊と思うのだが。

「フランス革命という、これまでは誰も英雄的な側面ばかり強調していた。もちろん、ロベスピエールの恐怖政治までじゃないけど、フランス人にとって、フランス革命自体は、絶対的な正義としてあるものではない。でも、必ずしもフランスの側面ばかりではない。私は、もう少し距離をおいて見てみたかった。そんな時に、ボリス・ヴィアンの曲があったのね。彼の歌には、国家への反発という、ちょっとシニカルになったり、からかったり、革命についてあたしが考えていたのと同じようなスタンスを持っていたのね。」

というのは、マギー・マラン。ベジヤールの20世紀バレエ団から出発して、ヌーベル・ダンスの旗手として人気が高い彼女が、フランス革命200年祭記念参加作品として発表されたものだが、なかなか人を喰ったダンスになっている。

人々の馬鹿げた、そして意味深い歴史を語るためのロック・ショー。

マギー・マラン

Text▶山口 猛
Photographs▶高橋 理





●作・演出▶右来左往 出演▶千種みねこ 剣崎するめ
湯通堂啓己 石川真士 塚原史郎 小笠原美樹 他
9月21日~24日◎扇町ミュージアムスクエア



劇団パノラマ☆アワー パノラマ☆アワー

—あの夜、ぼくらは理科教室で空を飛んだ—



「みんなが観終わった時に、よっしゃって風になつてくれればね。立入禁止のシートをくぐってまでも、みたいものはみたく、いいきれ人達でいてほしいなと思いますね」

「みんなが観終わった時に、よっしゃって風になつてくれればね。立入禁止のシートをくぐってまでも、みたいものはみたく、いいきれ人達でいてほしいなと思いますね」

生徒達との、星のとりつけ作業をして、いる空飛ぶ理科室だった。

「あの役者が立つて地面の下って、うのは、大地の底の方に広がって、その中に色々な化石っていうのが、自分達の歩んできた蓄積みたいなものがみえれば、すごく嬉しいんですけどね。そのためには、僕らが、本物じやなやだめなんです。日土の土を舞台に入れたんです。仕込みの時は、ほとんど土方をしていましたね(笑)」

トピオは、うそが現実になるフィクションホルの委員会、思い出の品々を守ってる怪人に出逢う。そして、彼と一緒に思い出が星になって地層に降り積もっていくのを、ラムネびんからのぞく。夏の終わり、とりこわして工事中の廃校の前で立ちつくしていたトピオは、立入禁止のシートをくぐった。

物語は、思い出の地層のアンモナイトが編入の証明であることを知ったトピオは、生徒になりすまし、第4次元の学校に入りこんでしまう。そこは、天幕のパノラマを管理する宮澤先生と

ラムネびんの望遠鏡、
思い出の星は、僕らの
心の地層に降り積もる。

みぎ さ おう
右来左往

Interviewer▶田中さゆり
Photographs▶渡辺雄馬





接待 乗り物待ちもあきさせません// とばかりに会場にくり出したOHOH商會。様々なコスチューム(全身性等)で観客たちを楽しませ、パンフを売りつける。



ファイアー・ダンス あぶないから良い子はまねしないように。例によってケツに花火はさすは、火はふくは、しかしハダカじゃ熱いにきまってるわな……。



パンツオークション 有名な(男性)のパンツをオークションで売っちゃおう// かのチェックーズ、鴻上尚史のパンツもあったソ/ 男がセリ落していたのがナリだ。使うのだからーか?



メイン・イベント 約一時間の乗り放題のあとは、メイン会場に集合。野外だというのに小劇場の気分が味わえて、とってもおトクだ。客づめには「さすが」と言わせるものがあるワハハだった。集まった観客は約800人(もっといたかもしれない)花やしきにこんなに若者が集まったのは初めてではないだろうか?



SMみこし マゾ男たちにまつられて女王様のお通りだ// (マゾ男の中には観客からつられた人も含まれている)「ジロジロ見るのはおやめ//」等と叫びながらチャツカマン(ガスライター)でマゾ男の頭のロウソクに火を点ける女王様は美しかった♡



正義の味方登場 メインイベントではメンバー全員が「デス・ゲスラー」という悪の怪人軍団となって登場、それぞれがくどい笑いをとっていた。最後は全員が正義の味方だったというありがちな大団円(笑)だった。



平成モンド兄弟 なんでも今回がファイナルだそうで、プレゼント・クラッシュ(野菜をバットで客席にプチまける)。消火器まき、ツバまき等、メーカーなネタを次々と披露してくれた。本気でイヤがる前列の観客が、しかし一番おかしかった…。

わい てんやわんや 極楽 カーニバル ヴァール

怪力 怪力で乗り物を押す/とは真赤なウソ。じつは引きずられているだけ。しかし、正に体をはった芸だな、ほめられたもんじゃないけど(苦笑)



「ふさげんのも、いいかげんにしろ//」と怒ってやって下さい。開園後の浅草花やしきを借りきった一大イベント、ワハハの極楽てんやわんやカーニバルは正に裏デイスニーランドと呼ぶにふさわしいゴージャスだった! 乗り放題の乗り物にならんでいると、接待役のOHOH商會の連中にパンフレット(一部八百円)を買わされたり、一緒に記念写真に入ってくれたり、まー過剰なサービス。おまけに園内では様々なアトラクションが行なわれていて、写真を撮らなきゃならない僕は全く遊ぶことが出来なかった。トホホ……。



券売り場

あ// こんな所に本誌「演劇おたく」のライター雲母多摩一が……! しかもキップ売り場の上から観劇しようとして場内放送で怒られてやんの。憤けない……。

公共ホールネットワーク第一回公演 上杉祥三プロデュースチーム 『BROKEN(暴君)西遊記』

西遊記応援隊員募集

あなたが最も効果があると思う場所5ヶ所に『西遊記』ポスターを貼って下さい。



〈出演者〉

上杉祥三(夢の遊眠社) 峰さを理 山崎清介(EDメタリックシアター) 渡辺いっけい
西山水木(EDメタリックシアター) 山下裕子(第三舞台) 篠崎はるく 他

- 応募条件 下記公演地近郊にお住まいの方で、ポスター5枚を効果的場所に貼る事が可能な方。
- 各館5名(応募多数の場合は抽選になります。)
- 当選者には、ご希望館S席1枚、出演者サイン入りポスター、パンフレットをさしあげます。
- 応募方法は往復ハガキに住所、氏名、年令、電話番号、希望館名、日時をご記入の上「演劇ぶっく社」までお送り下さい。
(送り先) 〒164 東京都中野区中野5-67-6-406 演劇ぶっく社
- 応募メ切り 11月30日。

〈公演スケジュール〉2月3日/東京都多摩市・パルテノン多摩 5日/大阪府吹田市・メイシアター 23日24日/東京都・府中市市民会館 25日26日/栃木県・宇都宮市文化会館 3月1日/神奈川県相模原市・グリーンホール相模大野 2日/茨城県・勝田市文化会館 5日6日/愛知県・名古屋市民会館 8日/東京都・板橋文化会館 9日/横浜市・神奈川県立青少年センター 21日~23日/東京都・大田区民プラザ 27日/静岡県・焼津市文化センター 30日/埼玉県川口市・川口総合文化センター

企画製作▶ 株式会社ジェントルアーツ ☎03-477-7625 企画運営▶ 株式会社フク企画 ☎03-226-7667 お問い合わせは株式会社フク企画へ